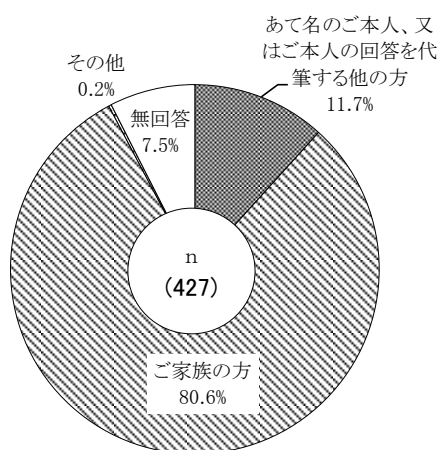


Ⅲ 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

「ご家族の方」が80.6%となっています。



●障害種別

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	その他	無回答
全 体	427	50	344	1	32
	100.0	11.7	80.6	0.2	7.5
身体障害	239	33	186	1	19
	100.0	13.8	77.8	0.4	7.9
知的障害	264	19	226	—	19
	100.0	7.2	85.6	—	7.2
精神障害	12	2	10	—	—
	100.0	16.7	83.3	—	—
難病	143	13	119	—	11
	100.0	9.1	83.2	—	7.7
無回答	3	1	—	—	2
	100.0	33.3	—	—	66.7

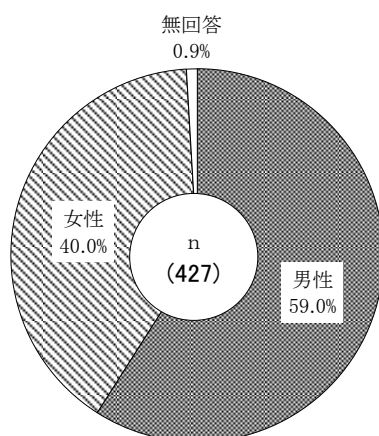
1. 本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」が59.0%、「女性」が40.0%となっています。

●全体



●障害種別

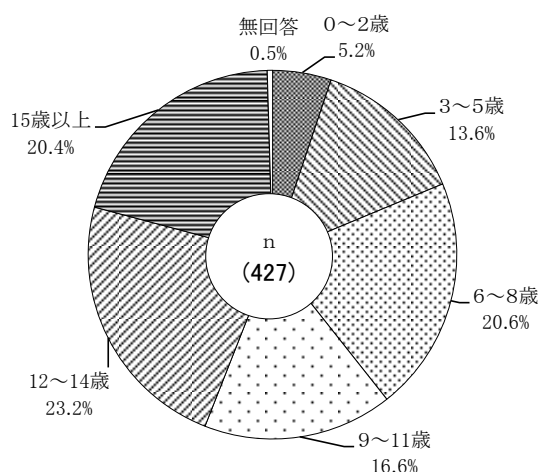
	調査数	男性	女性	無回答
全 体	427 100.0	252 59.0	171 40.0	4 0.9
身体障害	239 100.0	134 56.1	104 43.5	1 0.4
知的障害	264 100.0	167 63.3	95 36.0	2 0.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	5 41.7	— —
難病	143 100.0	72 50.3	70 49.0	1 0.7
無回答	3 100.0	— —	1 33.3	2 66.7

(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「12～14歳」が23.2%で最も多く、以下「6～8歳」が20.6%、「15歳以上」が20.4%となっています。

●全体



●障害種別

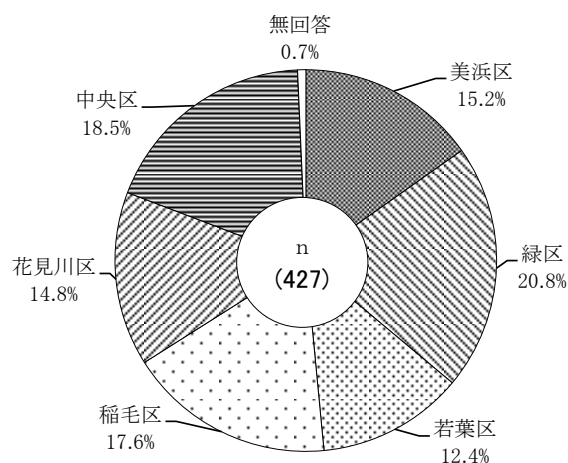
	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	427 100.0	22 5.2	58 13.6	88 20.6	71 16.6	99 23.2	87 20.4	2 0.5	10.1
身体障害	239 100.0	19 7.9	36 15.1	51 21.3	40 16.7	51 21.3	42 17.6	—	9.5
知的障害	264 100.0	5 1.9	32 12.1	51 19.3	49 18.6	68 25.8	59 22.3	—	10.6
精神障害	12 100.0	1 8.3	—	—	—	3 25.0	8 66.7	—	14.1
難病	143 100.0	12 8.4	26 18.2	31 21.7	22 15.4	30 21.0	22 15.4	—	9.1
無回答	3 100.0	—	—	—	—	—	1 33.3	2 66.7	16.0

(3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

「緑区」が20.8%で最も多く、以下「中央区」が18.5%、「稲毛区」が17.6%となっています。

●全体



●障害種別

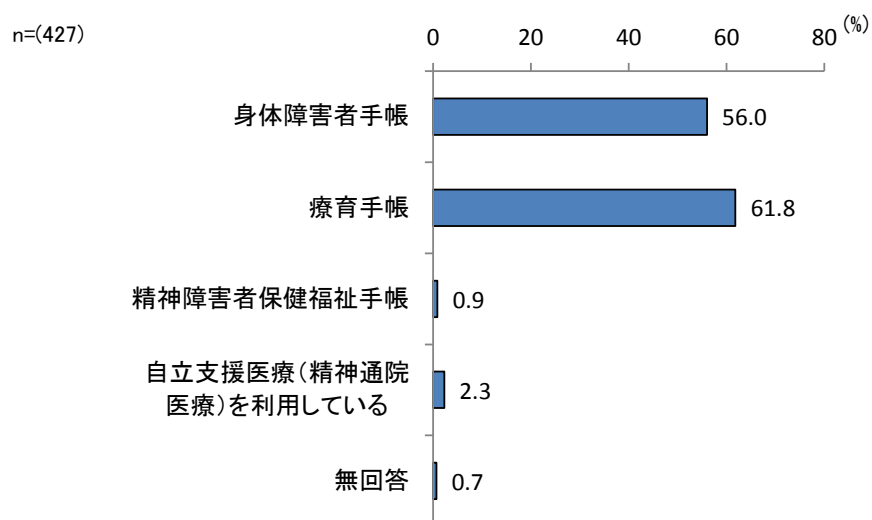
	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	427 100.0	79 18.5	63 14.8	75 17.6	53 12.4	89 20.8	65 15.2	3 0.7
身体障害	239 100.0	42 17.6	28 11.7	42 17.6	28 11.7	61 25.5	38 15.9	—
知的障害	264 100.0	48 18.2	49 18.6	43 16.3	33 12.5	45 17.0	45 17.0	1 0.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	6 50.0	2 16.7	1 8.3	—	1 8.3	—
難病	143 100.0	27 18.9	23 16.1	20 14.0	19 13.3	29 20.3	25 17.5	—
無回答	3 100.0	—	—	—	1 33.3	—	—	2 66.7

(4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

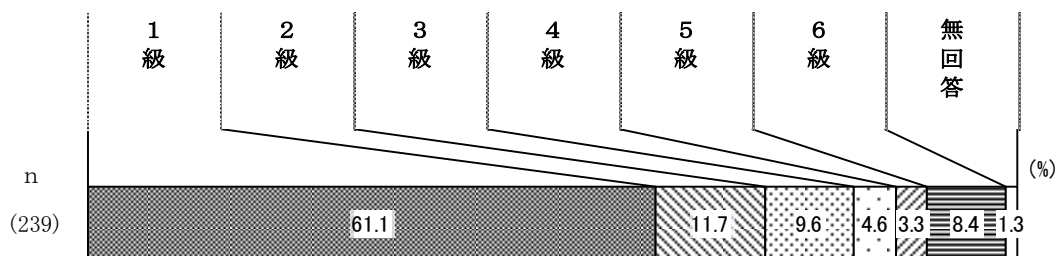
「療育手帳」が61.8%で最も多く、以下「身体障害者手帳」が56.0%、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が2.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が0.9%となっています。

●全体



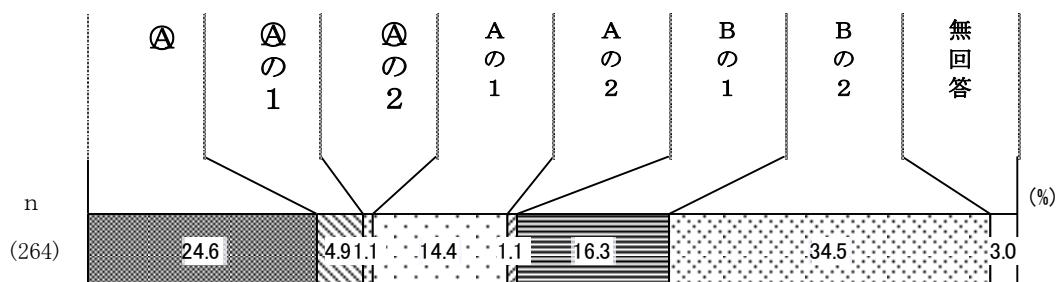
① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1 級」が 61.1%で最も多く、次いで「2 級」が 11.7%となっています。



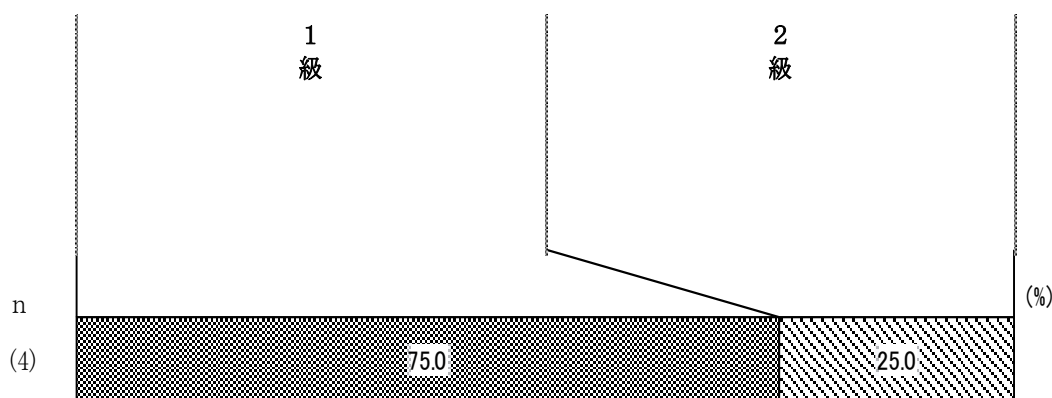
② 療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの2」が 34.5%で最も多く、次いで「A」が 24.6%となっています。



③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は4名で、そのうち3名が「1 級」となっています。

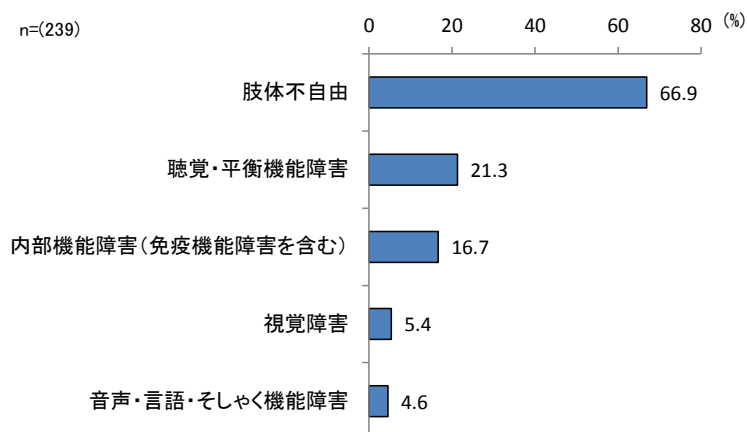


(5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が66.9%で最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」が21.3%となっています。

●全体



(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数
ダウン症候群	27	神経線維腫症	1
ウェスト症候群	8	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
筋ジストロフィー	7	正常圧水頭症	1
レット症候群	5	脊髄空洞症	1
左心低形成症候群	3	脊髄性筋萎縮症	1
脊髄髄膜瘤	3	全身型若年性特発性関節炎	1
多脾症候群	3	総排泄腔外反症	1
チャージ症候群	3	多発性硬化症／視神経脊髄炎	1
プラダー・ウィリ症候群	3	単心室症	1
先天性ミオパチー	2	胆道閉鎖症	1
総動脈幹遺残症	2	突発性難聴	1
ソース症候群	2	ドラベ症候群	1
特発性両側性感音難聴	2	尿素サイクル異常症	1
ファロー四徴症	2	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	2	表皮水疱症	1
ライソゾーム病	2	副腎白質ジストロフィー	1
両側性小耳症・外耳道閉鎖症	2	網膜色素変性症	1
両大血管右室起始症	2	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	1
アイカルディ症候群	1	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴	1
ウィリアムズ症候群	1	レノックス・ガストー症候群	1
CFC 症候群	1		
紫斑病性腎炎	1		

合計 104

2. 医療機関への受診状況について

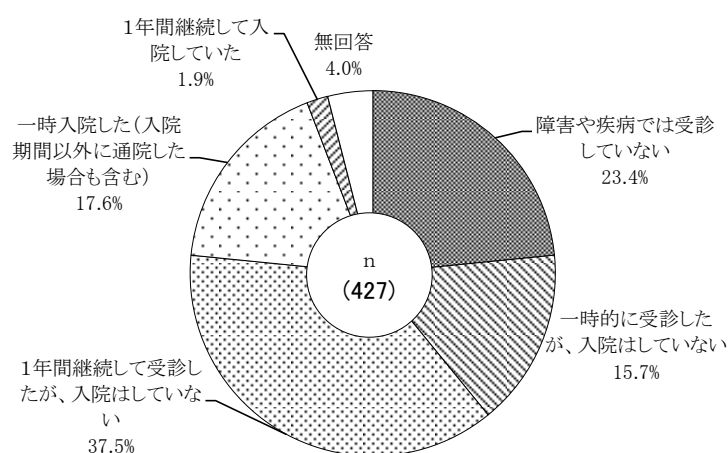
(1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が37.5%で最も多く、次いで「障害や疾病では受診していない」が23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が知的障害の方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「障害や疾病では受診していない」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

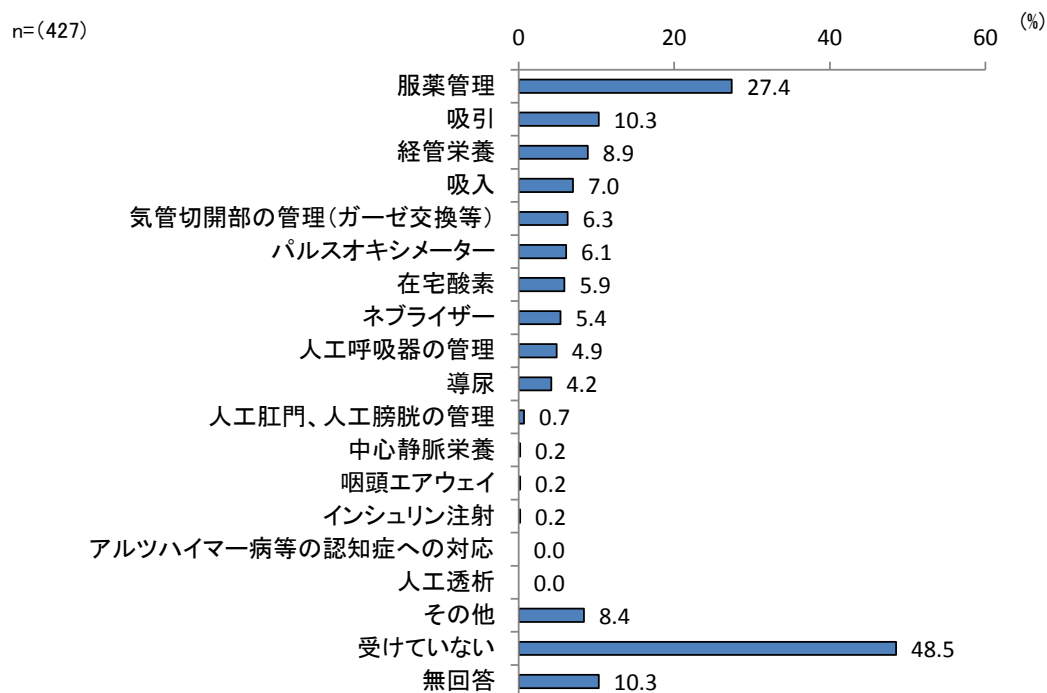
	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	427	100	67	160	75	8	17
	100.0	23.4	15.7	37.5	17.6	1.9	4.0
身体障害	239	19	28	112	66	8	6
	100.0	7.9	11.7	46.9	27.6	3.3	2.5
知的障害	264	87	52	88	24	3	10
	100.0	33.0	19.7	33.3	9.1	1.1	3.8
精神障害	12	2	2	4	2	-	2
	100.0	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7
難病	143	11	17	68	43	3	1
	100.0	7.7	11.9	47.6	30.1	2.1	0.7
無回答	3	-	-	1	-	-	2
	100.0	-	-	33.3	-	-	66.7

(2) 医療的ケアの種類

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

全体では、医療的ケアの種類について「服薬管理」が27.4%で最も多く、以下「吸引」が10.3%、「経管栄養」8.9%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)
全 体	427 100.0	44 10.3	30 7.0	38 8.9	1 0.2	18 4.2	25 5.9	23 5.4	1 0.2	26 6.1	27 6.3
身体障害	239 100.0	43 18.0	24 10.0	38 15.9	1 0.4	18 7.5	25 10.5	19 7.9	1 0.4	26 10.9	27 11.3
知的障害	264 100.0	13 4.9	11 4.2	11 4.2	-	7 2.7	5 1.9	12 4.5	-	7 2.7	6 2.3
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	143 100.0	25 17.5	13 9.1	21 14.7	-	11 7.7	15 10.5	12 8.4	-	12 8.4	16 11.2
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	427 100.0	21 4.9	3 0.7	-	1 0.2	-	117 27.4	36 8.4	207 48.5	44 10.3
身体障害	239 100.0	21 8.8	3 1.3	-	1 0.4	-	87 36.4	26 10.9	94 39.3	13 5.4
知的障害	264 100.0	5 1.9	2 0.8	-	1 0.4	-	62 23.5	15 5.7	146 55.3	31 11.7
精神障害	12 100.0	-	-	-	-	-	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	12 8.4	1 0.7	-	1 0.7	-	53 37.1	18 12.6	58 40.6	2 1.4
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

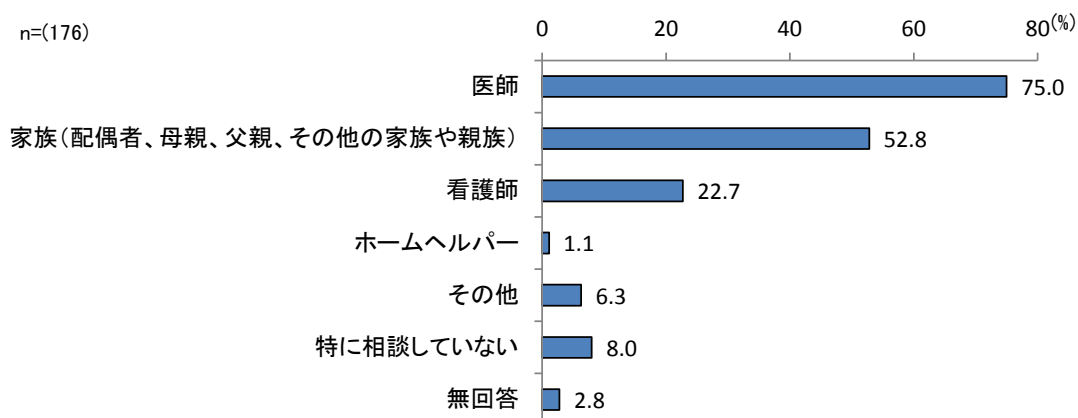
(3) 医療的ケアについての相談相手

問9 【問8で1～17番に○をつけた方におたずねします。】

医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

全体では、「医師」が75.0%で最も多く、以下「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が52.8%、「看護師」が22.7%となっています。

●全体



●障害種別

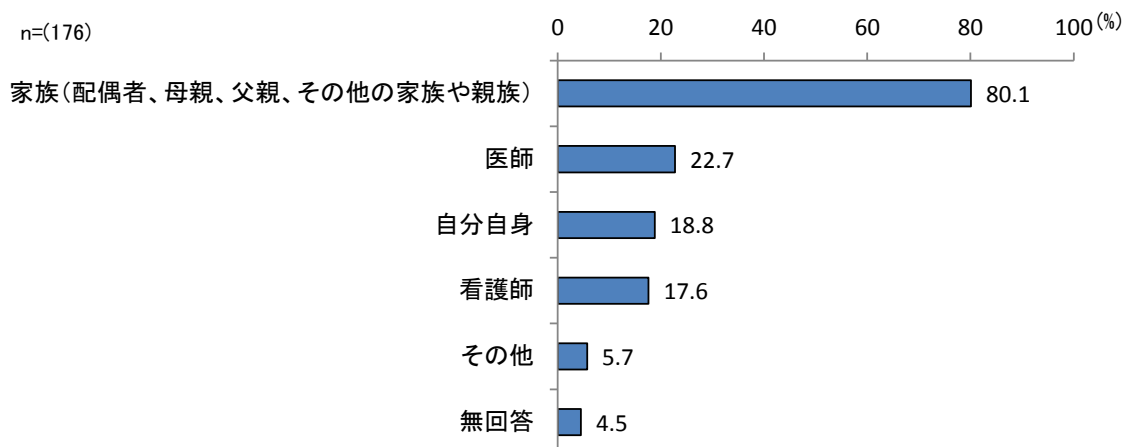
	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全 体	176 100.0	93 52.8	132 75.0	40 22.7	2 1.1	11 6.3	14 8.0	5 2.8
身体障害	132 100.0	67 50.8	98 74.2	34 25.8	1 0.8	10 7.6	11 8.3	3 2.3
知的障害	87 100.0	48 55.2	66 75.9	12 13.8	1 1.1	4 4.6	6 6.9	2 2.3
精神障害	8 100.0	6 75.0	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	-	-
難病	83 100.0	42 50.6	66 79.5	19 22.9	1 1.2	5 6.0	8 9.6	2 2.4
無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

(4) 医療的ケアを行っている人

問 10 現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。 (○はいくつでも)

全体では、「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が80.1%で最も多く、以下「医師」が22.7%、「自分自身」が18.8%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	176	33	141	40	31	10	8
	100.0	18.8	80.1	22.7	17.6	5.7	4.5
身体障害	132	20	107	25	26	10	6
	100.0	15.2	81.1	18.9	19.7	7.6	4.5
知的障害	87	15	74	18	12	3	3
	100.0	17.2	85.1	20.7	13.8	3.4	3.4
精神障害	8	—	6	3	1	1	—
	100.0	—	75.0	37.5	12.5	12.5	—
難病	83	12	69	18	14	5	5
	100.0	14.5	83.1	21.7	16.9	6.0	6.0
無回答	1	1	—	—	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—	—	—

（５）医療型短期入所の認知と必要性

問 11 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

（１）あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。（○は１つ）

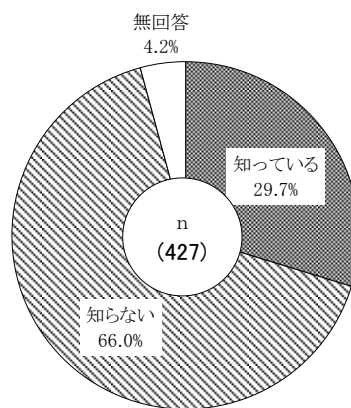
（２）あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。（○は１つ）

（１）認知

全体では、「知っている」が29.7%、「知らない」は66.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「知っている」が、他の障害の方より多くなっています。

●全体

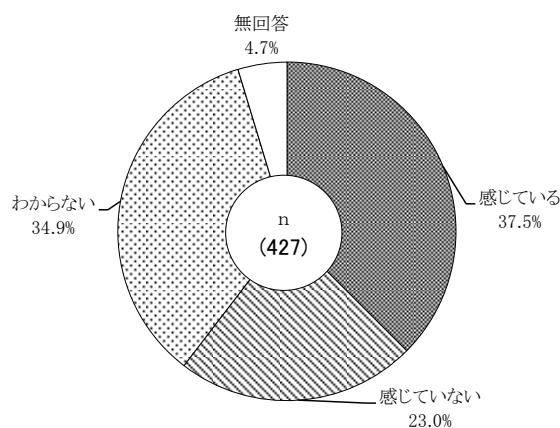


（２）必要性

全体では、「感じている」が37.5%、「感じていない」が23.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害の方と難病の方では、「感じている」が知的障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	427 100.0	127 29.7	282 66.0	18 4.2
身体障害	239 100.0	100 41.8	133 55.6	6 2.5
知的障害	264 100.0	65 24.6	186 70.5	13 4.9
精神障害	12 100.0	3 25.0	9 75.0	- -
難病	143 100.0	62 43.4	77 53.8	4 2.8
無回答	3 100.0	- -	3 100.0	- -

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
427 100.0	160 37.5	98 23.0	149 34.9	20 4.7
239 100.0	113 47.3	49 20.5	69 28.9	8 3.3
264 100.0	96 36.4	61 23.1	92 34.8	15 5.7
12 100.0	6 50.0	3 25.0	3 25.0	- -
143 100.0	63 44.1	32 22.4	43 30.1	5 3.5
3 100.0	1 33.3	- -	2 66.7	- -

●身体障害者手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
1 級	146 100.0	81 55.5	62 42.5	3 2.1
2 級	28 100.0	6 21.4	21 75.0	1 3.6
3 級	23 100.0	5 21.7	16 69.6	2 8.7
4 級	11 100.0	3 27.3	8 72.7	- -
5 級	8 100.0	1 12.5	7 87.5	- -
6 級	20 100.0	3 15.0	17 85.0	- -
無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
146 100.0	92 63.0	17 11.6	33 22.6	4 2.7
28 100.0	7 25.0	9 32.1	11 39.3	1 3.6
23 100.0	7 30.4	8 34.8	6 26.1	2 8.7
11 100.0	2 18.2	5 45.5	4 36.4	- -
8 100.0	1 12.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5
20 100.0	3 15.0	8 40.0	9 45.0	- -
3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -

●療養手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
マルA	65 100.0	26 40.0	38 58.5	1 1.5
マルAの1	13 100.0	3 23.1	9 69.2	1 7.7
マルAの2	3 100.0	- -	3 100.0	- -
Aの1	38 100.0	7 18.4	29 76.3	2 5.3
Aの2	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -
Bの1	43 100.0	10 23.3	29 67.4	4 9.3
Bの2	91 100.0	14 15.4	72 79.1	5 5.5
無回答	8 100.0	4 50.0	4 50.0	- -

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
65 100.0	42 64.6	7 10.8	14 21.5	2 3.1
13 100.0	3 23.1	5 38.5	4 30.8	1 7.7
3 100.0	- -	- -	3 100.0	- -
38 100.0	14 36.8	8 21.1	14 36.8	2 5.3
3 100.0	1 33.3	- -	2 66.7	- -
43 100.0	14 32.6	16 37.2	9 20.9	4 9.3
91 100.0	18 19.8	22 24.2	45 49.5	6 6.6
8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	- -

●障害の重複別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
身体のみ	159 100.0	61 38.4	93 58.5	5 3.1
知的のみ	179 100.0	27 15.1	140 78.2	12 6.7
精神のみ	- -	- -	- -	- -
身体+知的	74 100.0	36 48.6	37 50.0	1 1.4
身体+精神	1 100.0	1 100.0	- -	- -
知的+精神	6 100.0	- -	6 100.0	- -
身体+知的+精神	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -
無回答	3 100.0	- -	3 100.0	- -

(2) 「医療型短期入所」の必要性

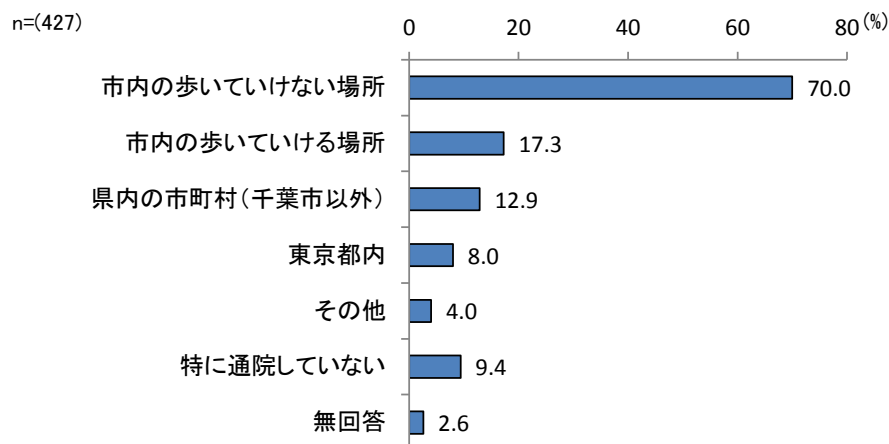
調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
159 100.0	63 39.6	36 22.6	55 34.6	5 3.1
179 100.0	45 25.1	47 26.3	75 41.9	12 6.7
- -	- -	- -	- -	- -
74 100.0	45 60.8	12 16.2	14 18.9	3 4.1
1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	- -
5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -
3 100.0	1 33.3	- -	2 66.7	- -

(6) 通院先の所在地

問 12 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院や診療所に通院していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「市内の歩いていけない場所」が70.0%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	市内の 歩いて いける場 所	市内の 歩いて いけない 場所	県内の 市町村 (千葉市 以外)	東京都 内	その他	特に通 院してい ない	無回答
全 体	427 100.0	74 17.3	299 70.0	55 12.9	34 8.0	17 4.0	40 9.4	11 2.6
身体障害	239 100.0	27 11.3	189 79.1	35 14.6	32 13.4	11 4.6	6 2.5	4 1.7
知的障害	264 100.0	52 19.7	176 66.7	33 12.5	6 2.3	9 3.4	35 13.3	8 3.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	10 83.3	5 41.7	1 8.3	- -	- -	- -
難病	143 100.0	13 9.1	111 77.6	19 13.3	17 11.9	14 9.8	3 2.1	3 2.1
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -

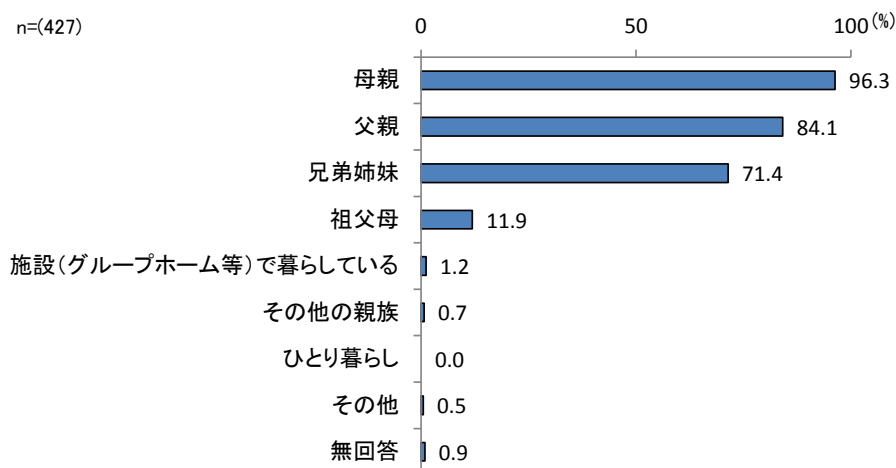
3. 家族や介助者について

(1) 同居者

問 13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「母親」が 96.3%で最も多く、以下「父親」が 84.1%、「兄弟姉妹」が 71.4%となっています。

●全体



●障害種別

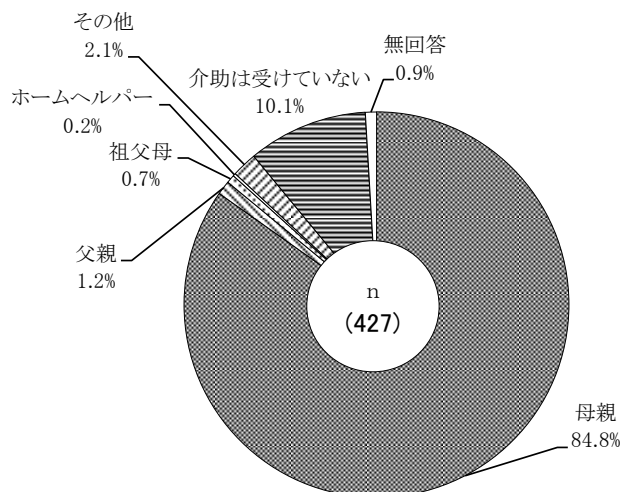
	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全 体	427	411	359	305	51	3	5	-	2	4
	100.0	96.3	84.1	71.4	11.9	0.7	1.2	-	0.5	0.9
身体障害	239	228	206	166	26	1	5	-	1	2
	100.0	95.4	86.2	69.5	10.9	0.4	2.1	-	0.4	0.8
知的障害	264	255	216	194	33	2	2	-	1	3
	100.0	96.6	81.8	73.5	12.5	0.8	0.8	-	0.4	1.1
精神障害	12	11	8	5	1	-	-	-	-	-
	100.0	91.7	66.7	41.7	8.3	-	-	-	-	-
難病	143	139	126	104	17	1	1	-	1	1
	100.0	97.2	88.1	72.7	11.9	0.7	0.7	-	0.7	0.7
無回答	3	3	3	3	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	33.3	-	-	-	-	-

(2) 主な介助者

問 14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は 1 つ)

全体では、「母親」が 84.8%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

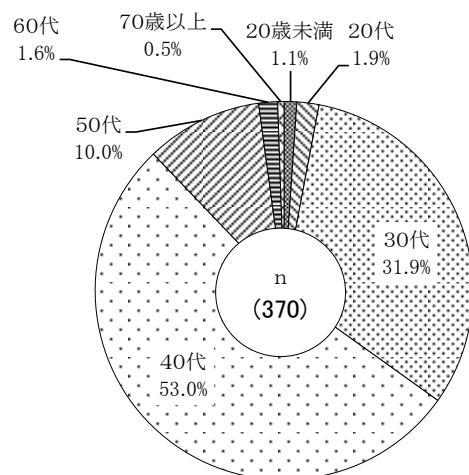
	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全 体	427	362	5	-	3	-	1	-	43	9	4
	100.0	84.8	1.2	-	0.7	-	0.2	-	10.1	2.1	0.9
身体障害	239	206	5	-	1	-	-	-	17	8	2
	100.0	86.2	2.1	-	0.4	-	-	-	7.1	3.3	0.8
知的障害	264	227	1	-	3	-	1	-	25	4	3
	100.0	86.0	0.4	-	1.1	-	0.4	-	9.5	1.5	1.1
精神障害	12	10	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	83.3	-	-	8.3	-	8.3	-	-	-	-
難病	143	130	1	-	-	-	-	-	9	2	1
	100.0	90.9	0.7	-	-	-	-	-	6.3	1.4	0.7
無回答	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-

(3) 主な介助者の年齢

問 15 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５番）に○をつけた方におたずねします。
主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）

全体では、「40代」が53.0%で最も多く、次いで「30代」が31.9%となっています。

●全体



●障害種別

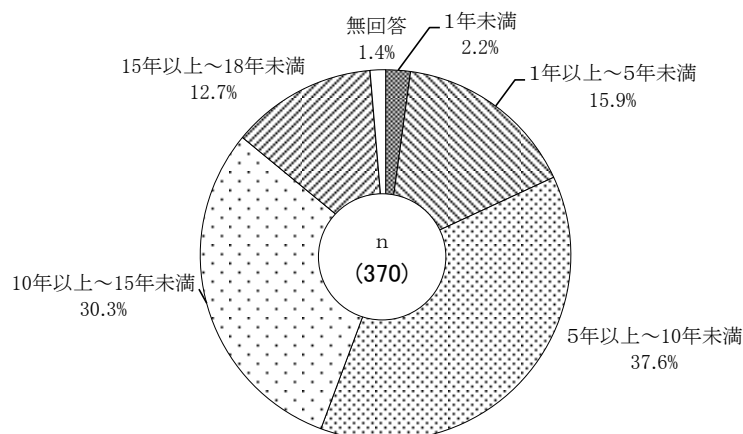
	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全 体	370 100.0	4 1.1	7 1.9	118 31.9	196 53.0	37 10.0	6 1.6	2 0.5
身体障害	212 100.0	3 1.4	5 2.4	71 33.5	108 50.9	20 9.4	4 1.9	1 0.5
知的障害	231 100.0	2 0.9	4 1.7	69 29.9	126 54.5	25 10.8	4 1.7	1 0.4
精神障害	11 100.0	— —	— —	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1	— —
難病	131 100.0	2 1.5	2 1.5	39 29.8	71 54.2	15 11.5	— —	2 1.5
無回答	2 100.0	— —	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —

(4) 主な介助者の介助継続年数

問 16 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

全体では、「５年以上～１０年未満」が 37.6%で最も多く、以下「１０年以上～１５年未満」が 30.3%、「１年以上～５年未満」が 15.9%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	１年未満	１年以上～５年未満	５年以上～１０年未満	１０年以上～１５年未満	１５年以上～１８年未満	無回答
全 体	370 100.0	8 2.2	59 15.9	139 37.6	112 30.3	47 12.7	5 1.4
身体障害	212 100.0	6 2.8	40 18.9	79 37.3	59 27.8	25 11.8	3 1.4
知的障害	231 100.0	2 0.9	32 13.9	84 36.4	77 33.3	34 14.7	2 0.9
精神障害	11 100.0	－ －	1 9.1	1 9.1	4 36.4	5 45.5	－ －
難病	131 100.0	2 1.5	29 22.1	54 41.2	31 23.7	14 10.7	1 0.8
無回答	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	1 50.0	－ －	－ －

(5) 主な介助者が困っていること

問 17 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

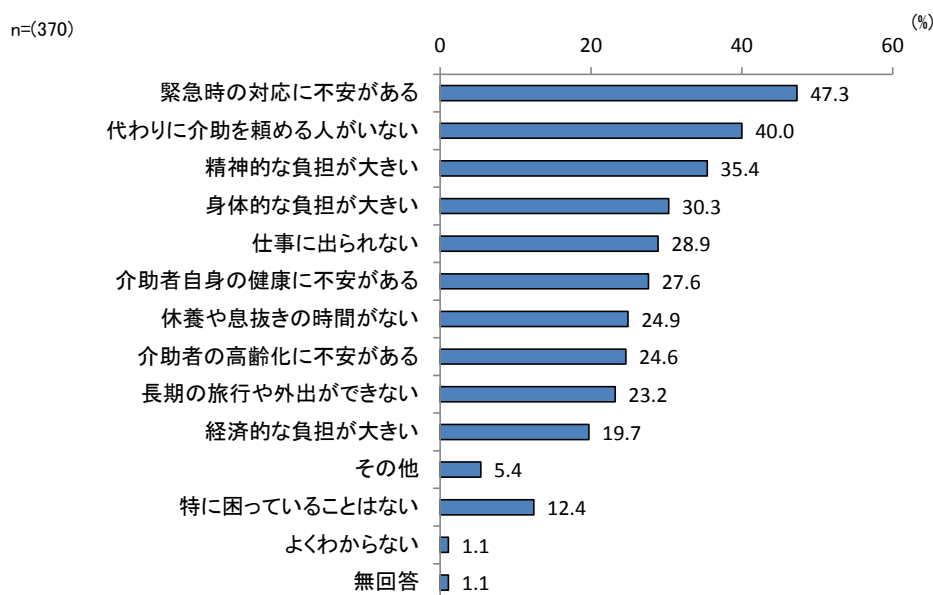
全体では、「緊急時の対応に不安がある」が 47.3%で最も多く、以下「代わりに介助を頼める人がいない」が 40.0%、「精神的な負担が大きい」が 35.4%、「身体的な負担が大きい」が 30.3%、「仕事に出られない」が 28.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「身体的な負担が大きい」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「精神的な負担が大きい」が多くなっています。

介助者の年齢別でみると、50 代では、「介助者自身の健康に不安がある」、「介助者の高齢化に不安がある」、「代わりに介助を頼める人がいない」「緊急時の対応に不安がある」が、他の年代より多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、「介助者の高齢化に不安がある」「代わりに介助を頼める人がいない」が、今回の調査では増加しています。

●全体



●障害種別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2	92 24.9
身体障害	212 100.0	64 30.2	48 22.6	93 43.9	105 49.5	91 42.9	73 34.4	44 20.8	71 33.5	53 25.0	53 25.0
知的障害	231 100.0	66 28.6	64 27.7	95 41.1	110 47.6	63 27.3	93 40.3	44 19.0	66 28.6	52 22.5	67 29.0
精神障害	11 100.0	6 54.5	6 54.5	6 54.5	7 63.6	7 63.6	10 90.9	4 36.4	2 18.2	1 9.1	5 45.5
難病	131 100.0	38 29.0	30 22.9	52 39.7	62 47.3	45 34.4	44 33.6	28 21.4	43 32.8	34 26.0	25 19.1
無回答	2 100.0	－ －	1 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
身体障害	212 100.0	19 9.0	2 0.9	10 4.7	3 1.4
知的障害	231 100.0	28 12.1	3 1.3	15 6.5	1 0.4
精神障害	11 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
難病	131 100.0	14 10.7	1 0.8	9 6.9	－ －
無回答	2 100.0	1 50.0	－ －	－ －	－ －

●介助者の年齢別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2	92 24.9
20歳未満	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
20代	7 100.0	1 14.3	－ －	1 14.3	3 42.9	－ －	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	－ －
30代	118 100.0	27 22.9	18 15.3	44 37.3	50 42.4	34 28.8	52 44.1	30 25.4	33 28.0	24 20.3	37 31.4
40代	196 100.0	56 28.6	46 23.5	80 40.8	97 49.5	65 33.2	69 35.2	33 16.8	64 32.7	50 25.5	45 23.0
50代	37 100.0	15 40.5	20 54.1	20 54.1	20 54.1	8 21.6	7 18.9	6 16.2	8 21.6	8 21.6	6 16.2
60代	6 100.0	2 33.3	4 66.7	2 33.3	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	－ －	2 33.3	3 50.0
70歳以上	2 100.0	－ －	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	特に困っていることは ない	よくわからない	その他	無回答
全 体	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
20歳未満	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -
20代	7 100.0	2 28.6	- -	- -	- -
30代	118 100.0	19 16.1	3 2.5	8 6.8	- -
40代	196 100.0	22 11.2	1 0.5	9 4.6	3 1.5
50代	37 100.0	1 2.7	- -	3 8.1	- -
60代	6 100.0	1 16.7	- -	- -	1 16.7
70歳以上	2 100.0	- -	- -	- -	- -

●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
今回 (平成28年度)	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2
増減		0.5	6.4	4.0	▲3.4	▲0.8	▲2.6	0.1	▲3.4	▲1.9
前回 (平成25年度)	347 100.0	94 27.1	63 18.2	125 36.0	176 50.7	108 31.1	132 38.0	68 19.6	112 32.3	87 25.1

	調査数	特に困っていることは ない	よくわからない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
増減		0.9	▲1.2	1.7	▲0.3
前回 (平成25年度)	347 100.0	40 11.5	8 2.3	13 3.7	5 1.4

4. 相談や情報入手について

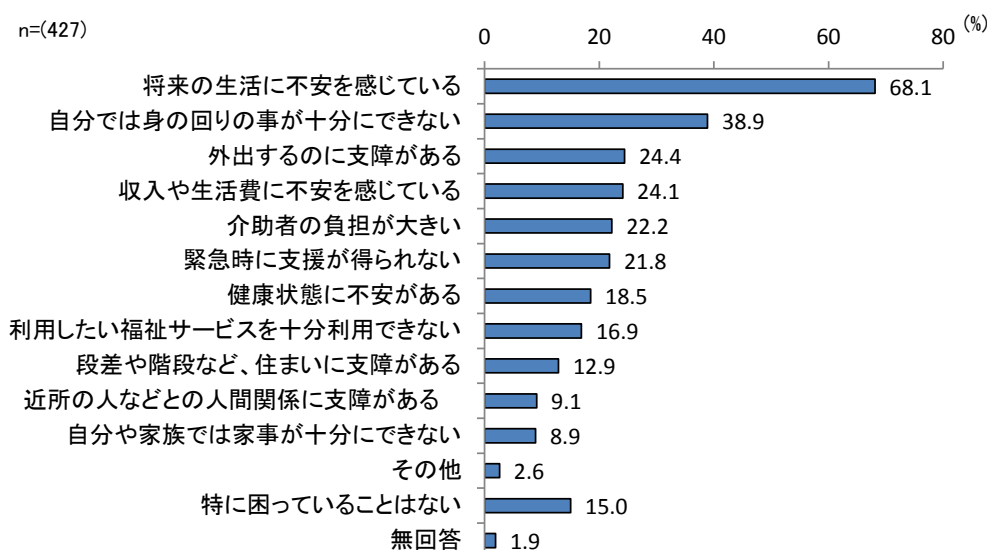
(1) 日常生活で困っていること

問 18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が 68.1%で最も多く、以下「自分では身の回りの事が十分にできない」が 38.9%、「外出するのに支障がある」が 24.4%、「収入や生活費に不安を感じている」が 24.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「外出するのに支障がある」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「自分では身の回りの事が十分にできない」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある
全 体	427 100.0	166 38.9	38 8.9	79 18.5	95 22.2	55 12.9	104 24.4	72 16.9	103 24.1	93 21.8	39 9.1
身体障害	239 100.0	92 38.5	19 7.9	58 24.3	68 28.5	54 22.6	70 29.3	43 18.0	60 25.1	53 22.2	17 7.1
知的障害	264 100.0	117 44.3	30 11.4	45 17.0	59 22.3	30 11.4	58 22.0	49 18.6	70 26.5	62 23.5	32 12.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	5 41.7	6 50.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0
難病	143 100.0	48 33.6	6 4.2	36 25.2	36 25.2	24 16.8	34 23.8	28 19.6	33 23.1	29 20.3	11 7.7
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	調査数	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	291 68.1	64 15.0	11 2.6	8 1.9
身体障害	239 100.0	155 64.9	34 14.2	7 2.9	7 2.9
知的障害	264 100.0	198 75.0	31 11.7	6 2.3	1 0.4
精神障害	12 100.0	9 75.0	1 8.3	- -	- -
難病	143 100.0	93 65.0	25 17.5	3 2.1	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -

(2) 困った時の相談先

問 19 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。

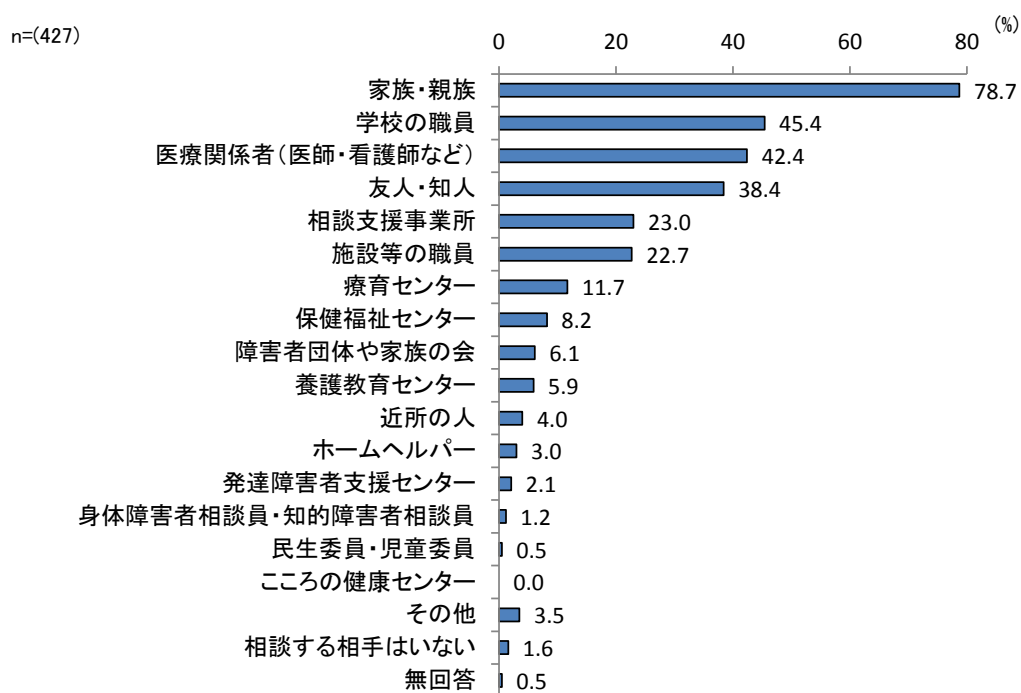
（〇はいくつでも）

全体では、「家族・親族」が78.7%で最も多く、以下「学校の職員」が45.4%、「医療関係者(医師・看護師など)」が42.4%、「友人・知人」が38.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療関係者(医師・看護師など)」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「学校の職員」が、他の障害のある方より多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、今回の調査では「医療関係者(医師・看護師など)」が増加しています。

●全体



●障害種別

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター
全 体	427 100.0	336 78.7	164 38.4	17 4.0	98 23.0	13 3.0	97 22.7	181 42.4	26 6.1	194 45.4	25 5.9
身体障害	239 100.0	194 81.2	96 40.2	9 3.8	47 19.7	11 4.6	44 18.4	131 54.8	15 6.3	85 35.6	7 2.9
知的障害	264 100.0	200 75.8	105 39.8	12 4.5	71 26.9	7 2.7	71 26.9	91 34.5	19 7.2	140 53.0	22 8.3
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	-	5 41.7	1 8.3	4 33.3	6 50.0	-	7 58.3	2 16.7
難病	143 100.0	118 82.5	52 36.4	3 2.1	21 14.7	5 3.5	23 16.1	75 52.4	10 7.0	47 32.9	7 4.9
無回答	3 100.0	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-

	調査数	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	427 100.0	2 0.5	5 1.2	35 8.2	50 11.7	9 2.1	-	7 1.6	15 3.5	2 0.5
身体障害	239 100.0	-	1 0.4	22 9.2	26 10.9	2 0.8	-	3 1.3	6 2.5	1 0.4
知的障害	264 100.0	2 0.8	4 1.5	22 8.3	35 13.3	8 3.0	-	5 1.9	12 4.5	2 0.8
精神障害	12 100.0	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	-	-	-	1 8.3	-
難病	143 100.0	-	1 0.7	14 9.8	15 10.5	1 0.7	-	3 2.1	2 1.4	1 0.7
無回答	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-

●経年比較

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター
今回 (平成28年度)	427 100.0	336 78.7	164 38.4	17 4.0	98 23.0	13 3.0	97 22.7	181 42.4	26 6.1	194 45.4	25 5.9
増減		▲2.0	▲3.2	▲0.3	18.2	▲0.5	1.4	11.4	▲2.4	2.2	
前回 (平成25年度)	461 100.0	372 80.7	192 41.6	20 4.3	22 4.8	16 3.5	98 21.3	143 31.0	39 8.5	199 43.2	

	調査数	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	427 100.0	2 0.5	5 1.2	35 8.2	50 11.7	9 2.1	-	7 1.6	15 3.5	2 0.5
増減		▲0.8	▲2.1	▲3.7		▲1.8	▲0.2	0.5	▲0.6	▲0.8
前回 (平成25年度)	461 100.0	6 1.3	15 3.3	55 11.9		18 3.9	1 0.2	1 0.2	19 4.1	6 1.3

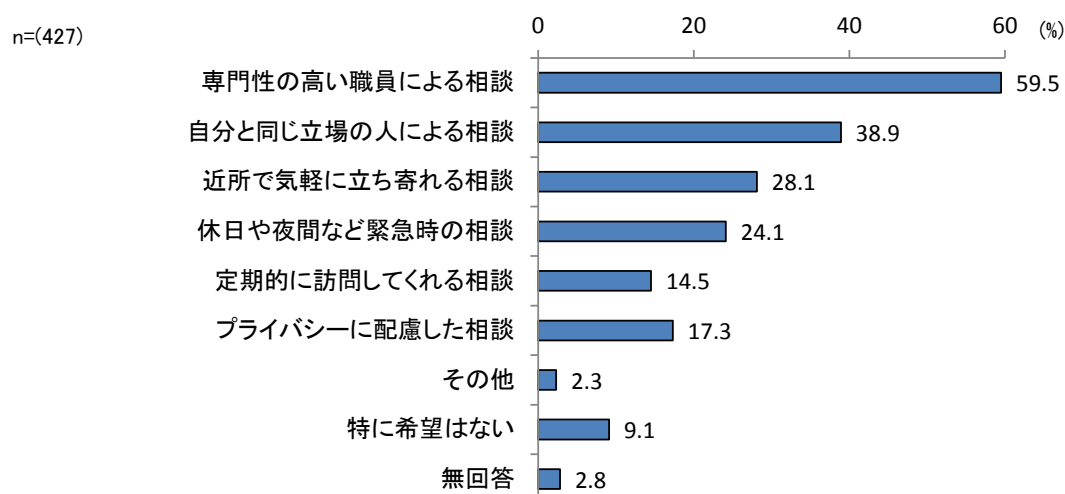
(3) 希望する相談制度

問 20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「専門性の高い職員による相談」が 59.5%で最も多く、以下「自分と同じ立場の人による相談」が 38.9%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 28.1%、「休日や夜間など緊急時の相談」が 24.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

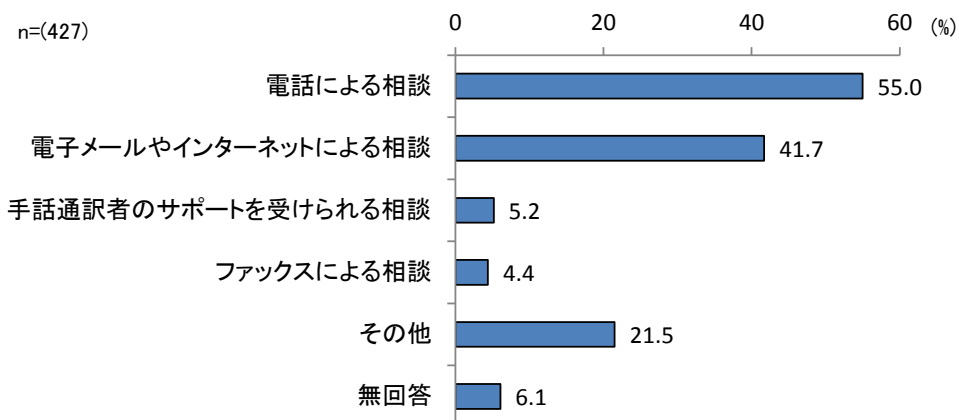
	調査数	近所で 気軽に 立ち寄 れる相 談	休日や 夜間な ど緊急 時の相 談	専門性 の高い 職員に よる相 談	自分と 同じ立 場の人 による相 談	定期的 に訪問 してく れる相 談	プライ バシー に配慮 した相 談	特に希 望はな い	その他	無回答
全 体	427	120	103	254	166	62	74	39	10	12
	100.0	28.1	24.1	59.5	38.9	14.5	17.3	9.1	2.3	2.8
身体障害	239	60	59	145	96	36	33	23	7	8
	100.0	25.1	24.7	60.7	40.2	15.1	13.8	9.6	2.9	3.3
知的障害	264	83	66	160	103	39	50	16	7	8
	100.0	31.4	25.0	60.6	39.0	14.8	18.9	6.1	2.7	3.0
精神障害	12	4	7	7	4	1	3	-	-	2
	100.0	33.3	58.3	58.3	33.3	8.3	25.0	-	-	16.7
難病	143	32	30	84	48	21	20	16	4	5
	100.0	22.4	21.0	58.7	33.6	14.7	14.0	11.2	2.8	3.5
無回答	3	2	1	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-

(4)相談しやすい方法

問 21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

全体では、「電話による相談」が 55.0%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が 41.7%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者のサポートを受けられる相談	その他	無回答
全 体	427 100.0	235 55.0	178 41.7	19 4.4	22 5.2	92 21.5	26 6.1
身体障害	239 100.0	120 50.2	101 42.3	14 5.9	22 9.2	47 19.7	15 6.3
知的障害	264 100.0	154 58.3	115 43.6	11 4.2	2 0.8	60 22.7	16 6.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	4 33.3	－ －	－ －	4 33.3	1 8.3
難病	143 100.0	69 48.3	62 43.4	5 3.5	10 7.0	30 21.0	8 5.6
無回答	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	－ －	2 66.7	－ －

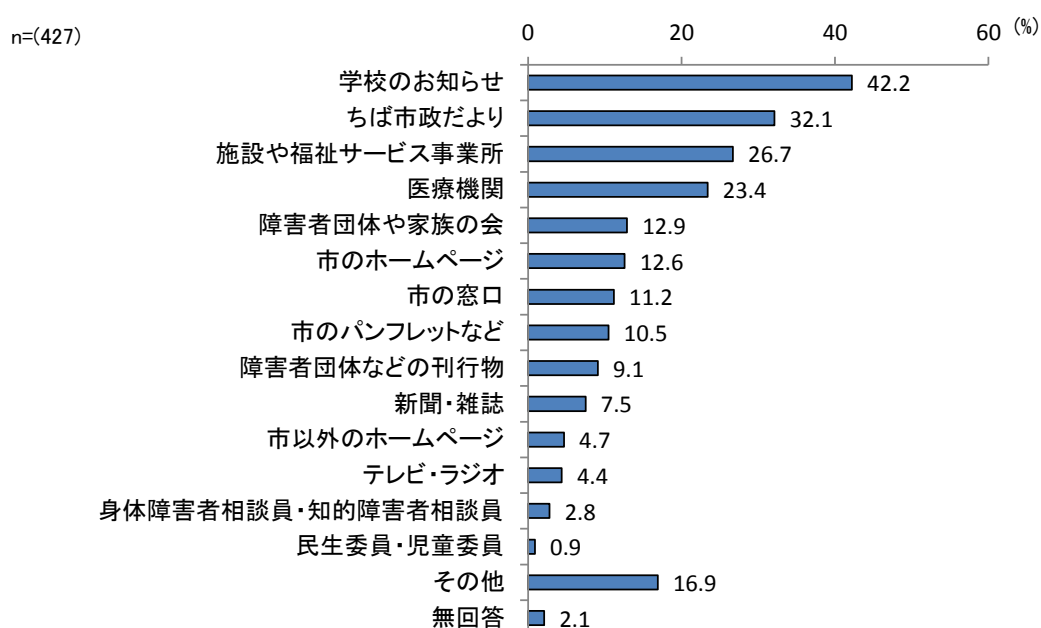
（５）福祉情報の入手先

問 22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

全体では、「学校のお知らせ」が 42.2%で最も多く、以下「ちば市政だより」が 32.1%、「施設や福祉サービス事業所」が 26.7%、「医療機関」が 23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療機関」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「学校のお知らせ」、「施設や福祉サービス事業所」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	ちば市 政だより	市のパ ンフレッ トなど	障害者 団体な どの刊 行物	学校 のお知 らせ	市の ホーム ページ	市以外 のホー ムペー ジ	新聞・雑 誌	テレビ・ ラジオ	施設や 福祉サ ービス 事業所	医療機 関
全 体	427 100.0	137 32.1	45 10.5	39 9.1	180 42.2	54 12.6	20 4.7	32 7.5	19 4.4	114 26.7	100 23.4
身体障害	239 100.0	63 26.4	21 8.8	21 8.8	81 33.9	28 11.7	6 2.5	12 5.0	5 2.1	47 19.7	75 31.4
知的障害	264 100.0	95 36.0	30 11.4	26 9.8	135 51.1	36 13.6	16 6.1	28 10.6	15 5.7	86 32.6	46 17.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	6 50.0	- -	- -	1 8.3	- -	5 41.7	2 16.7
難病	143 100.0	40 28.0	14 9.8	8 5.6	48 33.6	20 14.0	7 4.9	8 5.6	4 2.8	30 21.0	48 33.6
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -

	調査数	障害者 団体や 家族の 会	民生委 員・児童 委員	身体障 害者相 談員・知 的障害 者相談 員	市の窓 口	その他	無回答
全 体	427 100.0	55 12.9	4 0.9	12 2.8	48 11.2	72 16.9	9 2.1
身体障害	239 100.0	30 12.6	1 0.4	5 2.1	31 13.0	59 24.7	4 1.7
知的障害	264 100.0	38 14.4	3 1.1	9 3.4	24 9.1	37 14.0	7 2.7
精神障害	12 100.0	3 25.0	- -	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	24 16.8	1 0.7	4 2.8	13 9.1	22 15.4	1 0.7
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

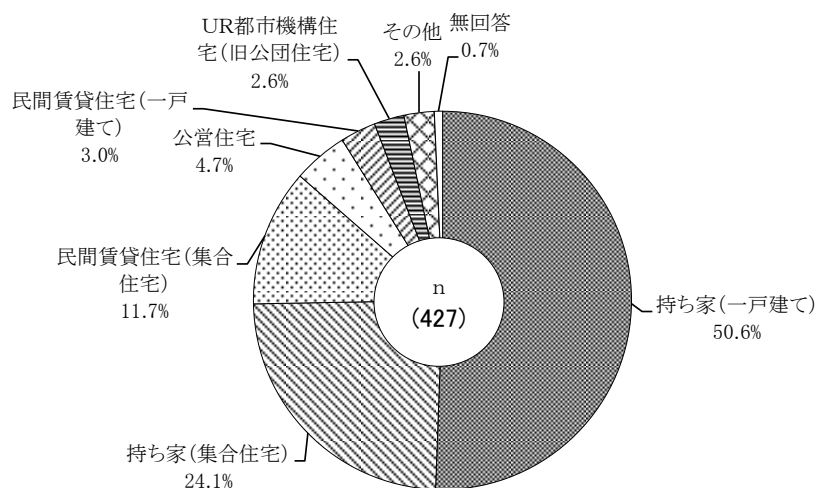
5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問 23 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

全体では、「持ち家(一戸建て)」が50.6%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が24.1% となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	民間賃貸 住宅 (一戸建て)	民間賃貸 住宅 (集合住宅)	公営住宅	UR都市 機構住宅 (旧公団住宅)	グループ ホーム	その他	無回答
全 体	427	216	103	13	50	20	11	-	11	3
	100.0	50.6	24.1	3.0	11.7	4.7	2.6	-	2.6	0.7
身体障害	239	118	56	7	28	14	5	-	8	3
	100.0	49.4	23.4	2.9	11.7	5.9	2.1	-	3.3	1.3
知的障害	264	130	69	9	30	12	6	-	7	1
	100.0	49.2	26.1	3.4	11.4	4.5	2.3	-	2.7	0.4
精神障害	12	6	1	1	2	1	1	-	-	-
	100.0	50.0	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	-	-	-
難病	143	73	36	4	17	5	4	-	3	1
	100.0	51.0	25.2	2.8	11.9	3.5	2.8	-	2.1	0.7
無回答	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-

(2) 住まいについて困っていること

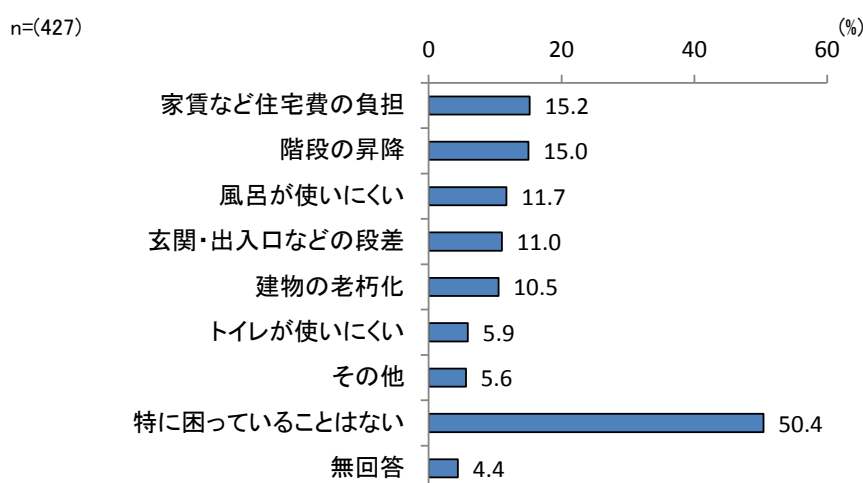
問 24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

全体では、住まいについて困っていることについて「家賃など住宅費の負担」が 15.2%で最も多く、次いで「階段の昇降」が 15.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では「階段の昇降」が、他の障害のある方より多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「階段の昇降」、「玄関・出入口などの段差」、「風呂が使いにくい」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427	64	47	50	25	45	65	215	24	19
	100.0	15.0	11.0	11.7	5.9	10.5	15.2	50.4	5.6	4.4
身体障害	239	55	46	45	21	22	41	94	15	13
	100.0	23.0	19.2	18.8	8.8	9.2	17.2	39.3	6.3	5.4
知的障害	264	36	17	25	12	34	39	139	16	12
	100.0	13.6	6.4	9.5	4.5	12.9	14.8	52.7	6.1	4.5
精神障害	12	-	1	2	1	5	1	4	-	1
	100.0	-	8.3	16.7	8.3	41.7	8.3	33.3	-	8.3
難病	143	30	19	24	9	8	20	67	8	5
	100.0	21.0	13.3	16.8	6.3	5.6	14.0	46.9	5.6	3.5
無回答	3	1	-	-	-	-	-	2	-	-
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	-

●身体障害の種類別

	調査数	階段の 昇降	玄関・出 入口な どの段 差	風呂が 使いにくい	トイレが 使いにくい	建物の 老朽化	家賃な ど住宅 費の負担	特に 困っている ことはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	64 15.0	47 11.0	50 11.7	25 5.9	45 10.5	65 15.2	215 50.4	24 5.6	19 4.4
肢体不自由	160 100.0	51 31.9	45 28.1	44 27.5	21 13.1	16 10.0	24 15.0	47 29.4	12 7.5	8 5.0
音声・言語・そしゃく 機能障害	11 100.0	5 45.5	2 18.2	2 18.2	－ －	－ －	3 27.3	4 36.4	1 9.1	－ －
視覚障害	13 100.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	5 38.5	5 38.5	－ －	－ －
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	7 13.7	2 3.9	2 3.9	－ －	5 9.8	12 23.5	20 39.2	5 9.8	6 11.8
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	4 10.0	4 10.0	3 7.5	－ －	－ －	8 20.0	27 67.5	1 2.5	1 2.5

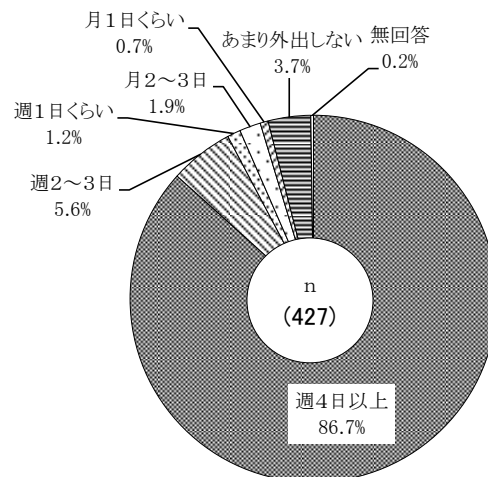
(3) 外出の頻度

問 25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

全体では、「週4日以上」が86.7%で最も多くなっています。

年齢別でみると、0～2歳では「週4日以上」が他の年齢に比べて低くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7	16 3.7	1 0.2
身体障害	239 100.0	195 81.6	20 8.4	5 2.1	7 2.9	3 1.3	8 3.3	1 0.4
知的障害	264 100.0	241 91.3	7 2.7	2 0.8	2 0.8	1 0.4	10 3.8	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	－ －	－ －	－ －	－ －	1 8.3	－ －
難病	143 100.0	118 82.5	12 8.4	5 3.5	4 2.8	－ －	4 2.8	－ －
無回答	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －

●年齢別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7	16 3.7	1 0.2
0～2歳	22 100.0	11 50.0	8 36.4	－ －	1 4.5	－ －	2 9.1	－ －
3～5歳	58 100.0	47 81.0	6 10.3	2 3.4	2 3.4	－ －	－ －	1 1.7
6～8歳	88 100.0	81 92.0	3 3.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	－ －
9～11歳	71 100.0	66 93.0	2 2.8	－ －	－ －	－ －	3 4.2	－ －
12～14歳	99 100.0	94 94.9	1 1.0	－ －	1 1.0	1 1.0	2 2.0	－ －
15歳以上	87 100.0	69 79.3	4 4.6	2 2.3	3 3.4	1 1.1	8 9.2	－ －

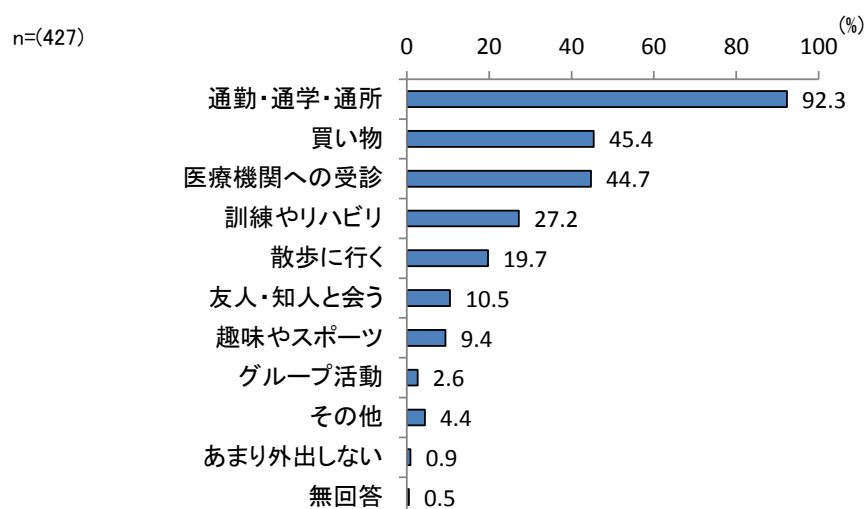
(4) 外出の目的

問 26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では、「通勤・通学・通所」が92.3%で最も多く、以下「買い物」が45.4%、「医療機関への受診」が44.7%、「訓練やリハビリ」が27.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「医療機関への受診」が、知的障害のある方より多くなっています。また、身体障害のある方では、「訓練やリハビリ」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	427	394	116	191	194	45	40	11	84	4	19	2
	100.0	92.3	27.2	44.7	45.4	10.5	9.4	2.6	19.7	0.9	4.4	0.5
身体障害	239	214	93	135	103	31	17	3	37	2	4	2
	100.0	89.5	38.9	56.5	43.1	13.0	7.1	1.3	15.5	0.8	1.7	0.8
知的障害	264	249	65	104	123	20	29	10	60	3	15	1
	100.0	94.3	24.6	39.4	46.6	7.6	11.0	3.8	22.7	1.1	5.7	0.4
精神障害	12	11	5	8	7	2	3	-	1	1	-	-
	100.0	91.7	41.7	66.7	58.3	16.7	25.0	-	8.3	8.3	-	-
難病	143	127	43	77	63	16	10	1	24	1	1	1
	100.0	88.8	30.1	53.8	44.1	11.2	7.0	0.7	16.8	0.7	0.7	0.7
無回答	3	3	1	3	3	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	100.0	33.3	100.0	100.0	-	-	-	33.3	-	-	-

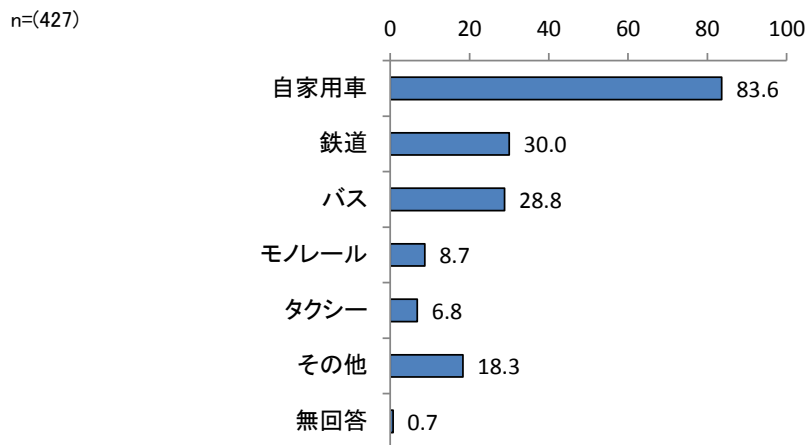
（５）外出時の移動手段

問 27 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（○はいくつでも）

全体では、「自家用車」が83.6%で最も多く、以下、「鉄道」が30.0%、「バス」が28.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「鉄道」、「バス」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	427	128	123	37	29	357	78	3
	100.0	30.0	28.8	8.7	6.8	83.6	18.3	0.7
身体障害	239	59	49	13	19	203	29	3
	100.0	24.7	20.5	5.4	7.9	84.9	12.1	1.3
知的障害	264	82	84	26	16	223	56	1
	100.0	31.1	31.8	9.8	6.1	84.5	21.2	0.4
精神障害	12	4	7	-	2	9	1	-
	100.0	33.3	58.3	-	16.7	75.0	8.3	-
難病	143	38	33	7	8	126	17	1
	100.0	26.6	23.1	4.9	5.6	88.1	11.9	0.7
無回答	3	2	2	1	-	3	-	-
	100.0	66.7	66.7	33.3	-	100.0	-	-

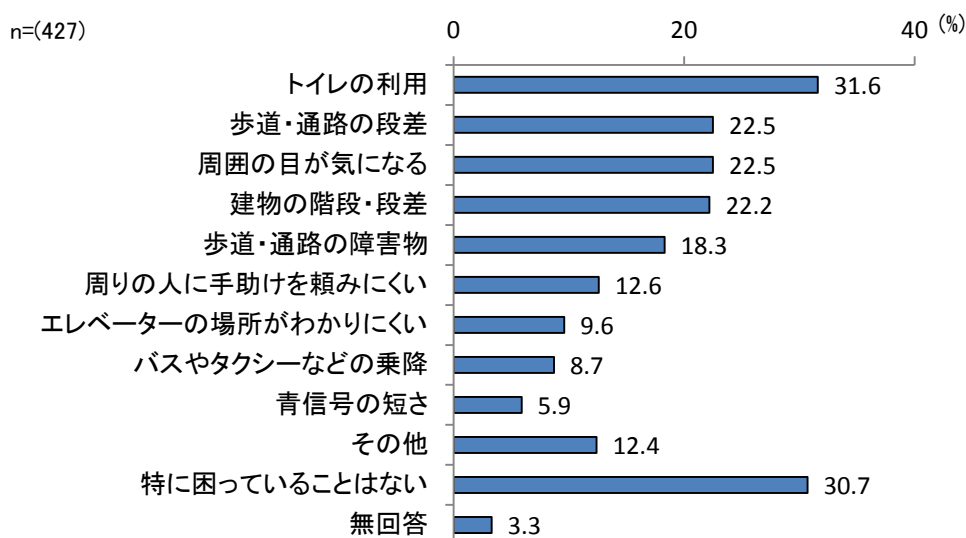
(6) 外出時に困っていること

問 28 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、外出するときに困っていることについて「トイレの利用」が31.6%で最も多く、以下「歩道・通路の段差」と「周囲の目が気になる」が22.5%、「建物の階段・段差」が22.2%、「歩道・道路の障害物」が18.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「トイレの利用」、「歩道・通路の段差」、「建物の階段・段差」、「歩道・道路の障害物」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427	96	25	78	37	95	41	135	54	96	131	53	14
	100.0	22.5	5.9	18.3	8.7	22.2	9.6	31.6	12.6	22.5	30.7	12.4	3.3
身体障害	239	89	19	70	30	81	32	93	27	50	56	30	8
	100.0	37.2	7.9	29.3	12.6	33.9	13.4	38.9	11.3	20.9	23.4	12.6	3.3
知的障害	264	46	15	36	24	50	23	80	38	66	79	31	8
	100.0	17.4	5.7	13.6	9.1	18.9	8.7	30.3	14.4	25.0	29.9	11.7	3.0
精神障害	12	3	2	3	4	3	2	4	3	3	1	2	1
	100.0	25.0	16.7	25.0	33.3	25.0	16.7	33.3	25.0	25.0	8.3	16.7	8.3
難病	143	44	6	32	16	36	20	53	12	25	40	16	3
	100.0	30.8	4.2	22.4	11.2	25.2	14.0	37.1	8.4	17.5	28.0	11.2	2.1
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

(7) 外出先のトイレに望むこと

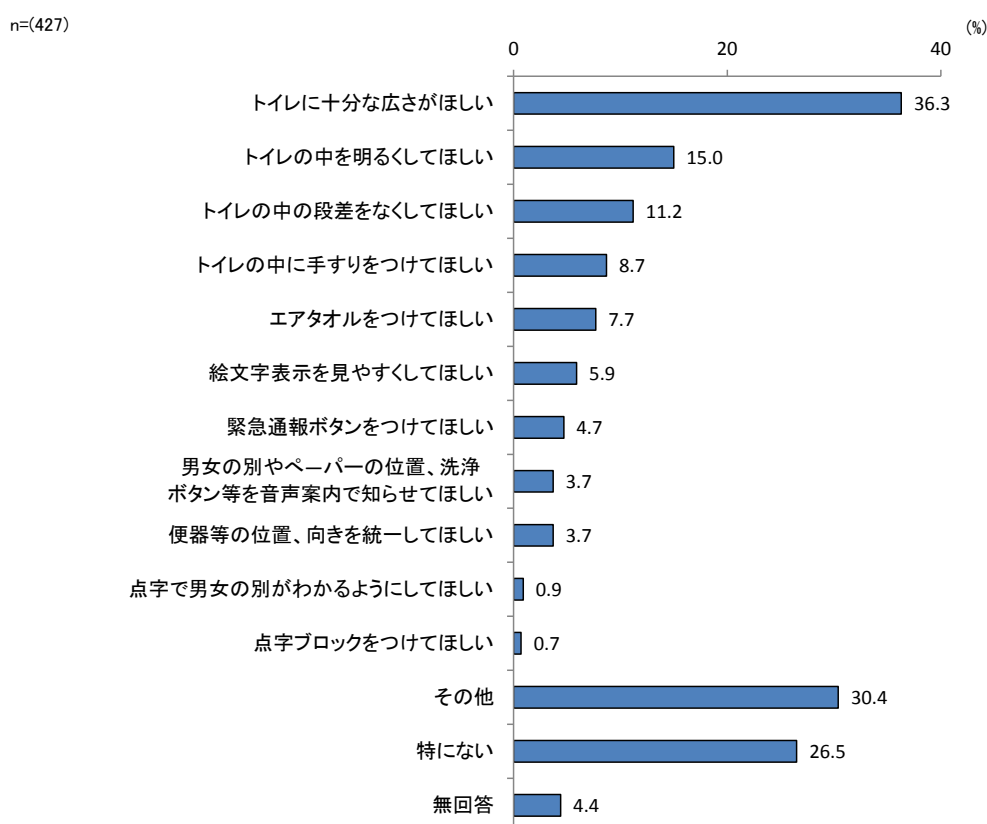
問 29 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「トイレに十分な広さがほしい」が 36.3%で最も多く、以下「トイレの中を明るくしてほしい」が 15.0%、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が 11.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「トイレに十分な広さがほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、知的障害のある方より多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「トイレに十分な広さがほしい」が他の障害のある方より多くなっています。また、肢体不自由の方、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、他より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	点字で 男女の 別がわ かるよ うにし てほし い	男女の 別やペ ーパー の位置 、洗淨 ボタン 等を音 声案内 で知ら せてほ しい	絵文字 表示を 見やす くして ほしい	トイレ の中を 明るく してほ しい	トイレ の中の 段差を なくし てほし い	点字ブ ロック をつけ てほし い	便器等 の位置 、向き を統一 してほ しい	トイレ の中に 手すり をつけ てほし い	エアタ オルを つけ てほし い	トイレ に十分 な広さ がほし い
全 体	427 100.0	4 0.9	16 3.7	25 5.9	64 15.0	48 11.2	3 0.7	16 3.7	37 8.7	33 7.7	155 36.3
身体障害	239 100.0	4 1.7	6 2.5	11 4.6	33 13.8	36 15.1	3 1.3	7 2.9	29 12.1	17 7.1	102 42.7
知的障害	264 100.0	- -	10 3.8	19 7.2	43 16.3	24 9.1	- -	11 4.2	15 5.7	22 8.3	92 34.8
精神障害	12 100.0	- -	- -	1 8.3	1 8.3	- -	- -	- -	1 8.3	1 8.3	5 41.7
難病	143 100.0	1 0.7	- -	7 4.9	17 11.9	20 14.0	- -	3 2.1	7 4.9	10 7.0	62 43.4
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -

	調査数	緊急通 報ボタ んをつけ てほし い	特にな い	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	113 26.5	130 30.4	19 4.4
身体障害	239 100.0	15 6.3	52 21.8	77 32.2	12 5.0
知的障害	264 100.0	8 3.0	66 25.0	91 34.5	10 3.8
精神障害	12 100.0	- -	3 25.0	4 33.3	2 16.7
難病	143 100.0	7 4.9	35 24.5	46 32.2	5 3.5
無回答	3 100.0	- -	2 66.7	- -	- -

●身体障害種別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さしてほしい
全 体	427 100.0	4 0.9	16 3.7	25 5.9	64 15.0	48 11.2	3 0.7	16 3.7	37 8.7	33 7.7	155 36.3
肢体不自由	160 100.0	- -	1 0.6	3 1.9	21 13.1	28 17.5	- -	2 1.3	25 15.6	11 6.9	93 58.1
音声・言語・そしゃく機能障害	11 100.0	- -	- -	1 9.1	3 27.3	1 9.1	- -	- -	- -	1 9.1	6 54.5
視覚障害	13 100.0	4 30.8	4 30.8	- -	2 15.4	4 30.8	3 23.1	4 30.8	3 23.1	- -	4 30.8
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	- -	1 2.0	9 17.6	6 11.8	3 5.9	- -	- -	- -	3 5.9	8 15.7
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	- -	- -	- -	4 10.0	6 15.0	- -	1 2.5	2 5.0	4 10.0	11 27.5

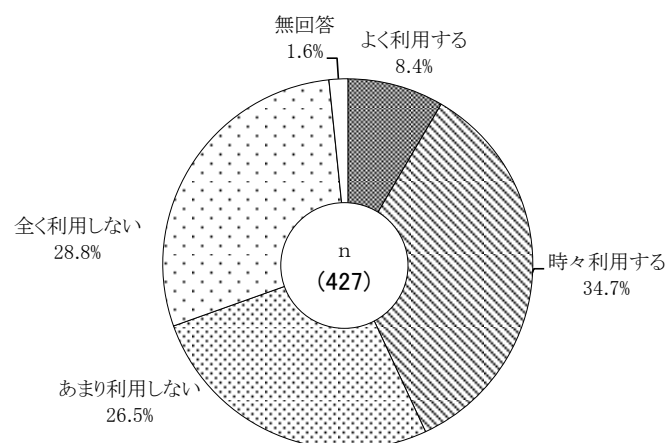
	調査数	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	113 26.5	130 30.4	19 4.4
肢体不自由	160 100.0	9 5.6	15 9.4	70 43.8	3 1.9
音声・言語・そしゃく機能障害	11 100.0	- -	2 18.2	4 36.4	- -
視覚障害	13 100.0	- -	- -	6 46.2	- -
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	3 5.9	20 39.2	9 17.6	8 15.7
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	3 7.5	17 42.5	5 12.5	2 5.0

(8) 公園の利用状況

問 30 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

全体では、「よく利用する」が8.4%、「時々利用する」が34.7%となっています。

●全体



●障害種別

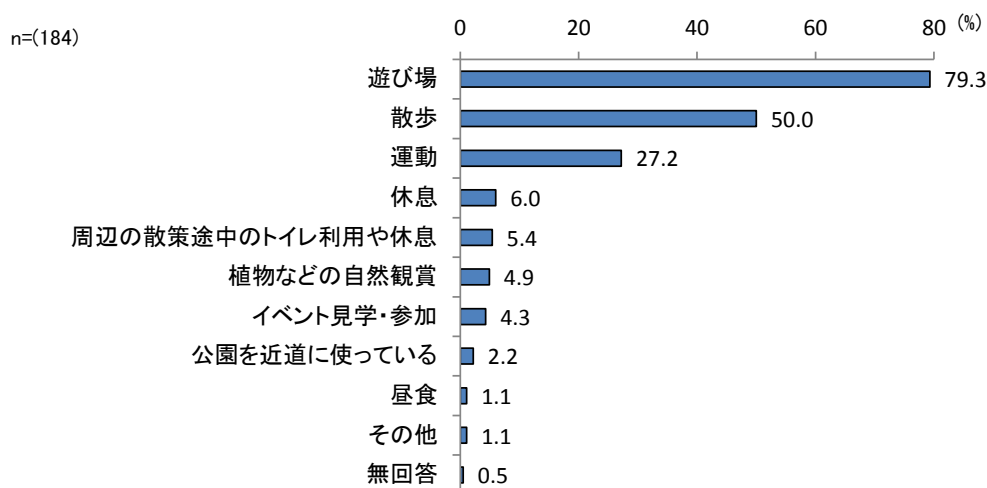
	調査数	よく利用 する	時々利 用する	あまり利 用しない	全く利用 しない	無回答
全 体	427 100.0	36 8.4	148 34.7	113 26.5	123 28.8	7 1.6
身体障害	239 100.0	15 6.3	80 33.5	60 25.1	80 33.5	4 1.7
知的障害	264 100.0	26 9.8	98 37.1	68 25.8	69 26.1	3 1.1
精神障害	12 100.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7	5 41.7	1 8.3
難病	143 100.0	15 10.5	43 30.1	39 27.3	44 30.8	2 1.4
無回答	3 100.0	— —	1 33.3	2 66.7	— —	— —

(9) 公園の利用目的

問31 【問30で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

全体では、「遊び場」が79.3%で最も多く、以下「散歩」が50.0%、「運動」が27.2%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	184	92	50	11	9	2	4	10	146	8	2	1
	100.0	50.0	27.2	6.0	4.9	1.1	2.2	5.4	79.3	4.3	1.1	0.5
身体障害	95	51	26	4	6	1	2	2	65	1	2	1
	100.0	53.7	27.4	4.2	6.3	1.1	2.1	2.1	68.4	1.1	2.1	1.1
知的障害	124	63	35	8	4	1	3	9	105	7	-	-
	100.0	50.8	28.2	6.5	3.2	0.8	2.4	7.3	84.7	5.6	-	-
精神障害	4	2	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	75.0	-	-	-
難病	58	28	11	3	2	-	2	1	45	2	2	-
	100.0	48.3	19.0	5.2	3.4	-	3.4	1.7	77.6	3.4	3.4	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

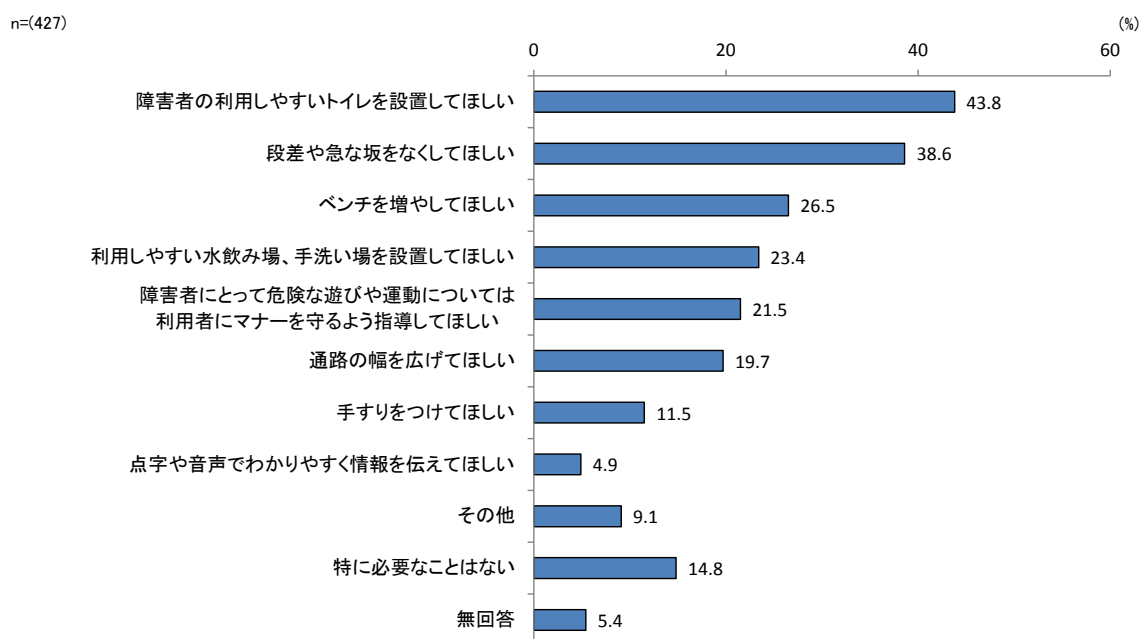
(10) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 32 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要)だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が 43.8%で最も多く、以下「段差や急な坂をなくしてほしい」が 38.6%、「ベンチを増やしてほしい」が 26.5%、「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」が 23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「段差や急な坂をなくしてほしい」が知的障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	84 19.7	49 11.5	165 38.6	21 4.9	187 43.8	92 21.5	113 26.5	100 23.4	63 14.8	39 9.1	23 5.4
身体障害	239 100.0	58 24.3	34 14.2	120 50.2	14 5.9	110 46.0	49 20.5	64 26.8	43 18.0	32 13.4	17 7.1	11 4.6
知的障害	264 100.0	46 17.4	25 9.5	92 34.8	8 3.0	123 46.6	55 20.8	71 26.9	63 23.9	35 13.3	29 11.0	13 4.9
精神障害	12 100.0	4 33.3	3 25.0	5 41.7	2 16.7	7 58.3	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	35 24.5	15 10.5	63 44.1	5 3.5	62 43.4	30 21.0	41 28.7	29 20.3	17 11.9	10 7.0	8 5.6
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	2 66.7	2 66.7	- -	- -	- -

6. 災害対策について

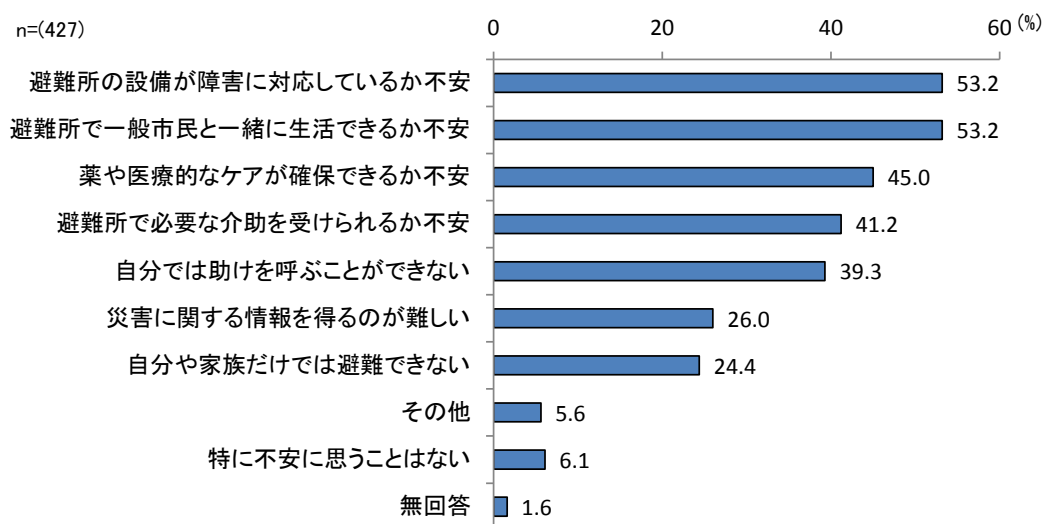
(1) 災害時に不安に思うこと

問 33 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」と「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」がいずれも 53.2%の同率で最も多く、以下「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 45.0%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が 41.2%、「自分では助けを呼ぶことができない」が 39.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病の方では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、「自分では助けを呼ぶことができない」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

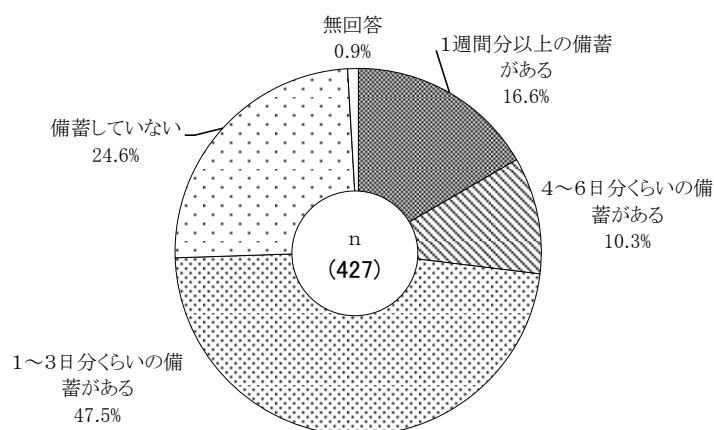
	調査数	自分や 家族だけでは 避難できない	自分では助け を呼ぶことが できない	災害に 関する 情報を 得るのが 難しい	避難所 の設備 が障害 に対応し ているか 不安	避難所 で必要 な介助 を受けら れるか 不安	避難所 で一般 市民と 一緒に 生活で きるか 不安	薬や医 療的な ケアが 確保で きるか 不安	特に不 安に思 うこと はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	104 24.4	168 39.3	111 26.0	227 53.2	176 41.2	227 53.2	192 45.0	26 6.1	24 5.6	7 1.6
身体障害	239 100.0	65 27.2	79 33.1	62 25.9	144 60.3	108 45.2	109 45.6	129 54.0	11 4.6	15 6.3	3 1.3
知的障害	264 100.0	65 24.6	122 46.2	71 26.9	143 54.2	112 42.4	169 64.0	105 39.8	15 5.7	16 6.1	4 1.5
精神障害	12 100.0	5 41.7	7 58.3	6 50.0	8 66.7	7 58.3	6 50.0	9 75.0	- -	2 16.7	- -
難病	143 100.0	35 24.5	49 34.3	30 21.0	82 57.3	64 44.8	67 46.9	85 59.4	9 6.3	5 3.5	2 1.4
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	2 66.7	- -	- -	- -

(2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 34 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（〇は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」が47.5%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が16.6%となっています。一方、「備蓄していない」は24.6%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	427	71	44	203	105	4
	100.0	16.6	10.3	47.5	24.6	0.9
身体障害	239	53	30	100	54	2
	100.0	22.2	12.6	41.8	22.6	0.8
知的障害	264	39	24	137	62	2
	100.0	14.8	9.1	51.9	23.5	0.8
精神障害	12	5	2	2	3	—
	100.0	41.7	16.7	16.7	25.0	—
難病	143	34	17	59	31	2
	100.0	23.8	11.9	41.3	21.7	1.4
無回答	3	—	2	—	1	—
	100.0	—	66.7	—	33.3	—

(3) 災害に対する備え

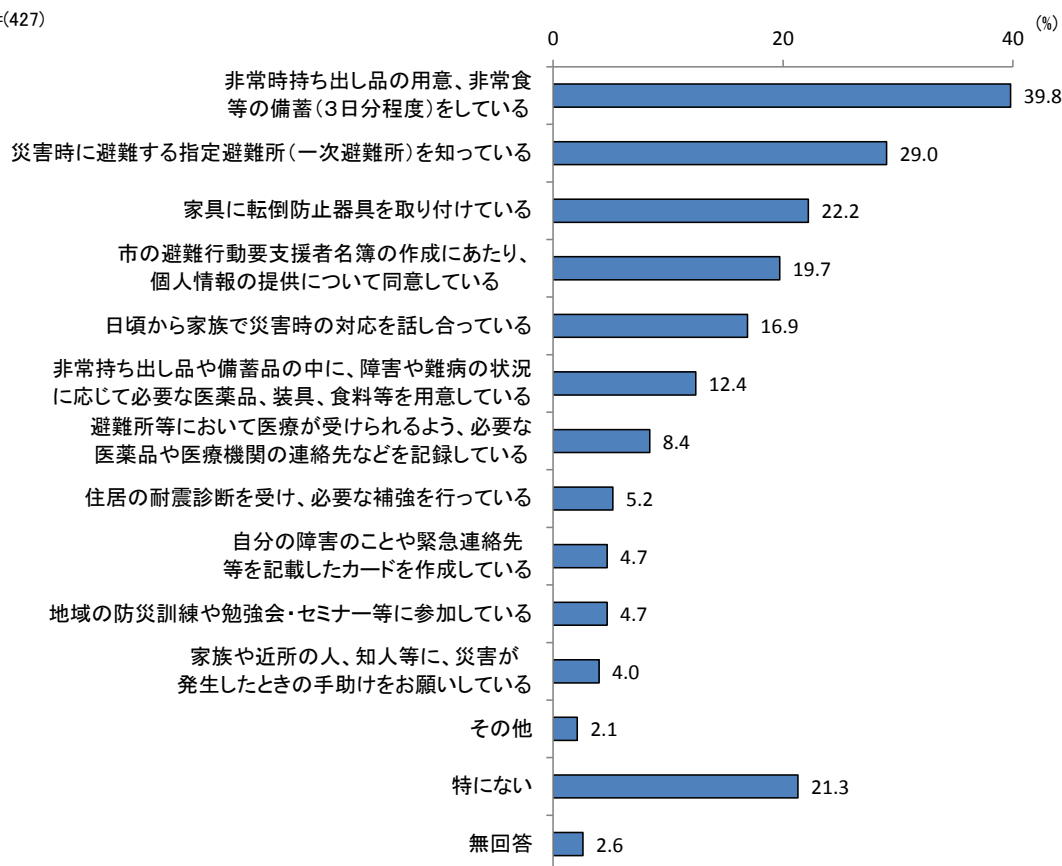
問 35 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が39.8%で最も多く、以下「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」が29.0%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が22.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」と「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体

n=(427)



●障害種別

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている
全 体	427 100.0	72 16.9	170 39.8	53 12.4	36 8.4	17 4.0	20 4.7	84 19.7	95 22.2	22 5.2	124 29.0
身体障害	239 100.0	42 17.6	86 36.0	41 17.2	24 10.0	12 5.0	11 4.6	59 24.7	53 22.2	10 4.2	61 25.5
知的障害	264 100.0	43 16.3	114 43.2	27 10.2	22 8.3	11 4.2	14 5.3	56 21.2	60 22.7	15 5.7	87 33.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	－ －	5 41.7
難病	143 100.0	19 13.3	53 37.1	21 14.7	11 7.7	6 4.2	5 3.5	33 23.1	33 23.1	8 5.6	31 21.7
無回答	3 100.0	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3

	調査数	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にな い	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	91 21.3	9 2.1	11 2.6
身体障害	239 100.0	8 3.3	47 19.7	6 2.5	7 2.9
知的障害	264 100.0	16 6.1	55 20.8	8 3.0	6 2.3
精神障害	12 100.0	－ －	2 16.7	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	6 4.2	32 22.4	1 0.7	5 3.5
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	－ －	－ －

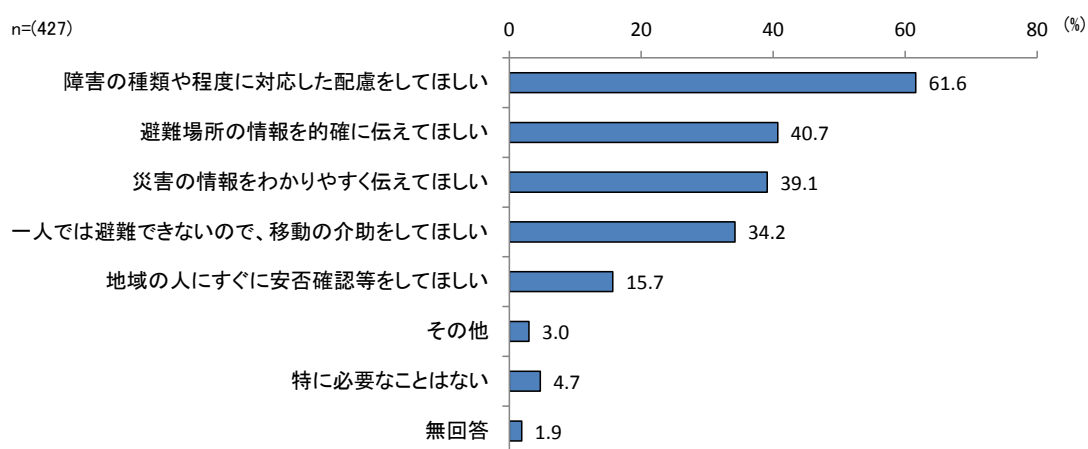
(4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 36 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が 61.6%で最も多く、以下「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 40.7%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が 39.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい」が、他の障害より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	427	146	167	263	67	174	20	13	8
	100.0	34.2	39.1	61.6	15.7	40.7	4.7	3.0	1.9
身体障害	239	97	92	144	31	88	9	6	6
	100.0	40.6	38.5	60.3	13.0	36.8	3.8	2.5	2.5
知的障害	264	88	96	174	50	117	11	8	6
	100.0	33.3	36.4	65.9	18.9	44.3	4.2	3.0	2.3
精神障害	12	7	4	9	1	5	-	1	-
	100.0	58.3	33.3	75.0	8.3	41.7	-	8.3	-
難病	143	50	46	83	21	48	13	6	1
	100.0	35.0	32.2	58.0	14.7	33.6	9.1	4.2	0.7
無回答	3	1	1	1	-	2	-	-	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-

7. 療育・保育について

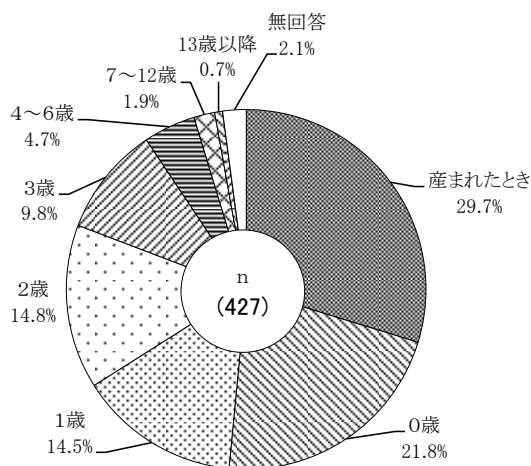
(1) 障害に気づいた時期

問 37 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(〇は1つ)

全体では、「産まれたとき」が29.7%で最も多く、次いで「0歳」が21.8%となっている。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「産まれたとき」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	産まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13歳以降	無回答
全 体	427	127	93	62	63	42	20	8	3	9
	100.0	29.7	21.8	14.5	14.8	9.8	4.7	1.9	0.7	2.1
身体障害	239	94	72	28	21	9	6	2	2	5
	100.0	39.3	30.1	11.7	8.8	3.8	2.5	0.8	0.8	2.1
知的障害	264	64	47	40	49	35	15	7	1	6
	100.0	24.2	17.8	15.2	18.6	13.3	5.7	2.7	0.4	2.3
精神障害	12	3	4	—	3	1	1	—	—	—
	100.0	25.0	33.3	—	25.0	8.3	8.3	—	—	—
難病	143	68	38	11	10	5	4	2	1	4
	100.0	47.6	26.6	7.7	7.0	3.5	2.8	1.4	0.7	2.8
無回答	3	1	—	—	—	1	—	—	—	1
	100.0	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—	33.3

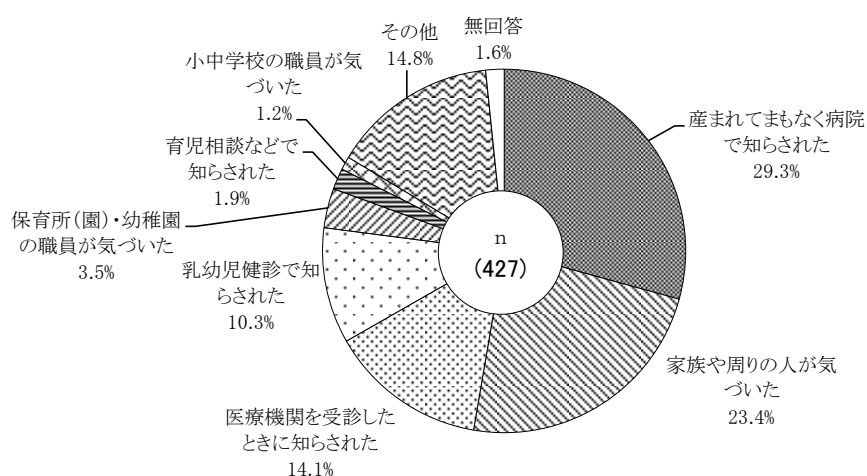
(2) 障害に気づいたきっかけ

問 38 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

全体では、「産まれてまもなく病院で知らされた」が 29.3%で最も多く、次いで「家族や周りの人が気づいた」が 23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「産まれてまもなく病院で知らされた」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「家族や周りの人が気づいた」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	産まれてまもなく病院で知らされた	家族や周りの人が気づいた	乳幼児健診で知らされた	医療機関を受診したときに知らされた	育児相談などで知らされた	保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた	小中学校の職員が気づいた	その他	無回答
全 体	427	125	100	44	60	8	15	5	63	7
	100.0	29.3	23.4	10.3	14.1	1.9	3.5	1.2	14.8	1.6
身体障害	239	89	42	14	46	1	1	—	42	4
	100.0	37.2	17.6	5.9	19.2	0.4	0.4	—	17.6	1.7
知的障害	264	71	69	35	22	7	15	5	34	6
	100.0	26.9	26.1	13.3	8.3	2.7	5.7	1.9	12.9	2.3
精神障害	12	4	2	3	1	—	—	—	2	—
	100.0	33.3	16.7	25.0	8.3	—	—	—	16.7	—
難病	143	68	22	5	24	—	1	—	20	3
	100.0	47.6	15.4	3.5	16.8	—	0.7	—	14.0	2.1
無回答	3	1	1	—	1	—	—	—	—	—
	100.0	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—

(3) 療育・保育について困っていること

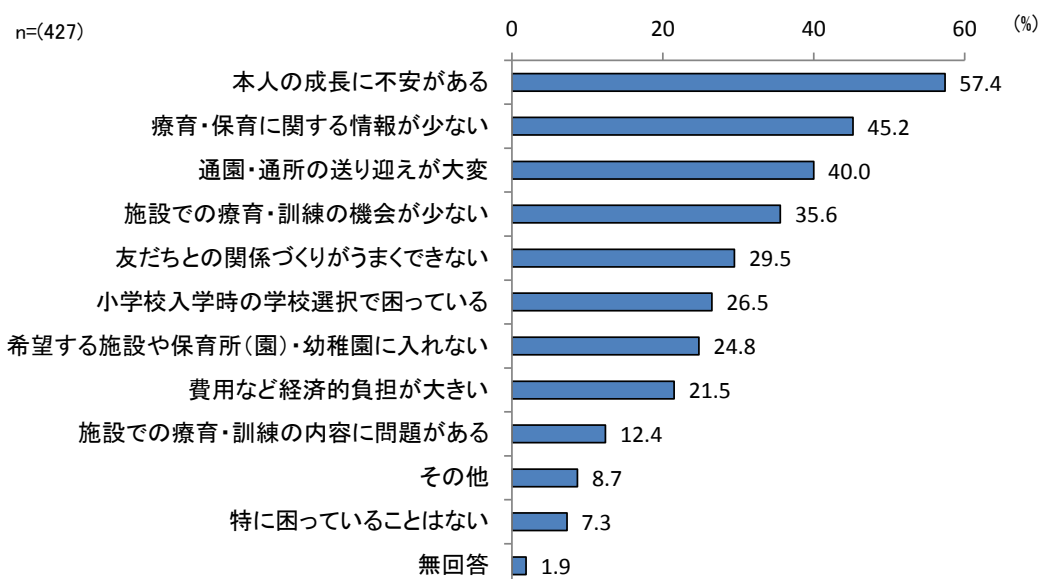
問 39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「本人の成長に不安がある」が 57.4%で最も多く、以下「療育・保育に関する情報が少ない」が 45.2%、「通園・通所の送り迎えが大変」が 40.0%、「施設での療育・訓練の機会が少ない」が 35.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「本人の成長に不安がある」、「療育・保育に関する情報が少ない」、「施設での療育・訓練の機会が少ない」が他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、0～2歳、3～5歳、6～8歳では、「療育・保育に関する情報が少ない」が他の年代より多くなっています。また、6～8歳、9～11歳では「施設での療育・訓練の機会が少ない」が他の年代より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
身体障害	239 100.0	92 38.5	57 23.8	69 28.9	25 10.5	127 53.1	38 15.9	94 39.3	51 21.3	54 22.6	21 8.8	22 9.2	5 2.1
知的障害	264 100.0	139 52.7	66 25.0	114 43.2	41 15.5	160 60.6	97 36.7	111 42.0	56 21.2	69 26.1	13 4.9	21 8.0	4 1.5
精神障害	12 100.0	7 58.3	2 16.7	4 33.3	3 25.0	8 66.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	- -	1 8.3	- -
難病	143 100.0	58 40.6	38 26.6	42 29.4	20 14.0	80 55.9	34 23.8	50 35.0	30 21.0	40 28.0	9 6.3	11 7.7	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -

●年齢別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
0～2歳	22 100.0	13 59.1	4 18.2	7 31.8	3 13.6	13 59.1	2 9.1	10 45.5	5 22.7	6 27.3	1 4.5	4 18.2	- -
3～5歳	58 100.0	30 51.7	20 34.5	21 36.2	8 13.8	35 60.3	14 24.1	24 41.4	14 24.1	33 56.9	1 1.7	6 10.3	- -
6～8歳	88 100.0	46 52.3	21 23.9	41 46.6	10 11.4	58 65.9	29 33.0	42 47.7	26 29.5	26 29.5	4 4.5	8 9.1	1 1.1
9～11歳	71 100.0	29 40.8	15 21.1	31 43.7	11 15.5	40 56.3	22 31.0	26 36.6	17 23.9	14 19.7	8 11.3	5 7.0	2 2.8
12～14歳	99 100.0	45 45.5	27 27.3	31 31.3	11 11.1	53 53.5	34 34.3	39 39.4	17 17.2	20 20.2	8 8.1	6 6.1	3 3.0
15歳以上	87 100.0	29 33.3	19 21.8	21 24.1	10 11.5	46 52.9	25 28.7	30 34.5	13 14.9	13 14.9	8 9.2	8 9.2	2 2.3

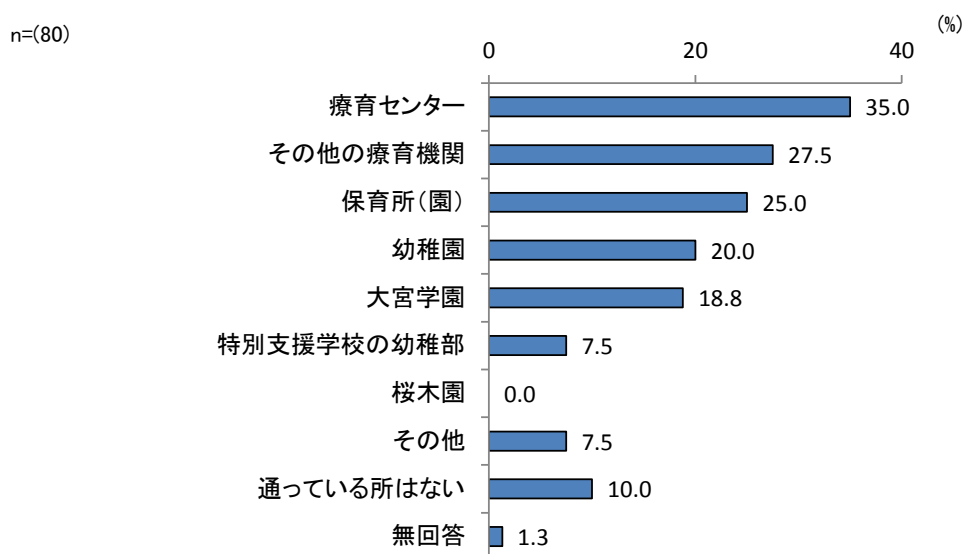
(4) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 40 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「療育センター」が35.0%で最も多く、以下「その他の療育機関」が27.5%、「保育所（園）」が25.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「保育所（園）」、「その他の療育機関」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	保育所 (園)	幼稚園	特別支 援学校 の幼稚 部	療育セ ンター	大宮学 園	桜木園	その他 の療育 機関	通ってい る所は ない	その他	無回答
全 体	80	20	16	6	28	15	-	22	8	6	1
	100.0	25.0	20.0	7.5	35.0	18.8	-	27.5	10.0	7.5	1.3
身体障害	55	8	10	6	20	7	-	9	8	3	1
	100.0	14.5	18.2	10.9	36.4	12.7	-	16.4	14.5	5.5	1.8
知的障害	37	16	7	-	14	10	-	15	1	4	-
	100.0	43.2	18.9	-	37.8	27.0	-	40.5	2.7	10.8	-
精神障害	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
難病	38	5	6	1	13	6	-	7	7	2	1
	100.0	13.2	15.8	2.6	34.2	15.8	-	18.4	18.4	5.3	2.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

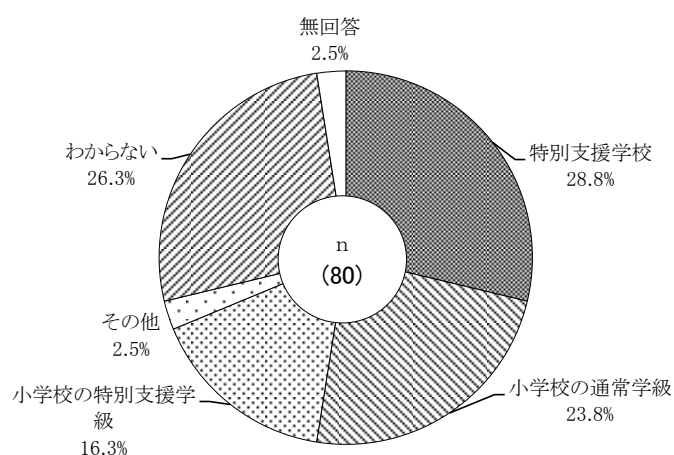
（５）小学校入学時の希望

問 41 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は１つ）

全体では、「特別支援学校」が28.8%で最も多く、以下「小学校の通常学級」が23.8%、「小学校の特別支援学級」が16.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「小学校の通常学級」、「小学校の特別支援学級」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

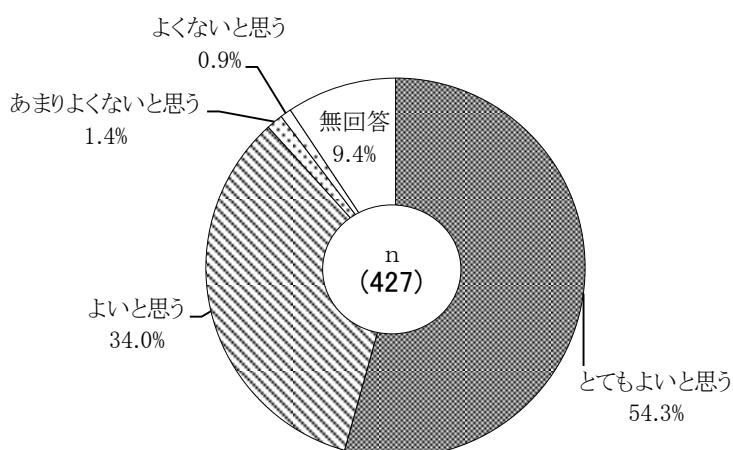
	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校	わからない	その他	無回答
全 体	80 100.0	19 23.8	13 16.3	23 28.8	21 26.3	2 2.5	2 2.5
身体障害	55 100.0	10 18.2	5 9.1	21 38.2	15 27.3	2 3.6	2 3.6
知的障害	37 100.0	9 24.3	9 24.3	9 24.3	10 27.0	—	—
精神障害	1 100.0	1 100.0	—	—	—	—	—
難病	38 100.0	6 15.8	6 15.8	14 36.8	9 23.7	2 5.3	1 2.6
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

(6) 子どもの支援に関する情報が小学校に提供されることについて

問 42 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

全体では、「とてもよいと思う」が54.3%、「よいと思う」が34.0%となっています。
障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	427 100.0	232 54.3	145 34.0	6 1.4	4 0.9	40 9.4
身体障害	239 100.0	132 55.2	79 33.1	3 1.3	2 0.8	23 9.6
知的障害	264 100.0	138 52.3	96 36.4	4 1.5	2 0.8	24 9.1
精神障害	12 100.0	7 58.3	2 16.7	— —	— —	3 25.0
難病	143 100.0	70 49.0	53 37.1	3 2.1	3 2.1	14 9.8
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	— —	— —	1 33.3

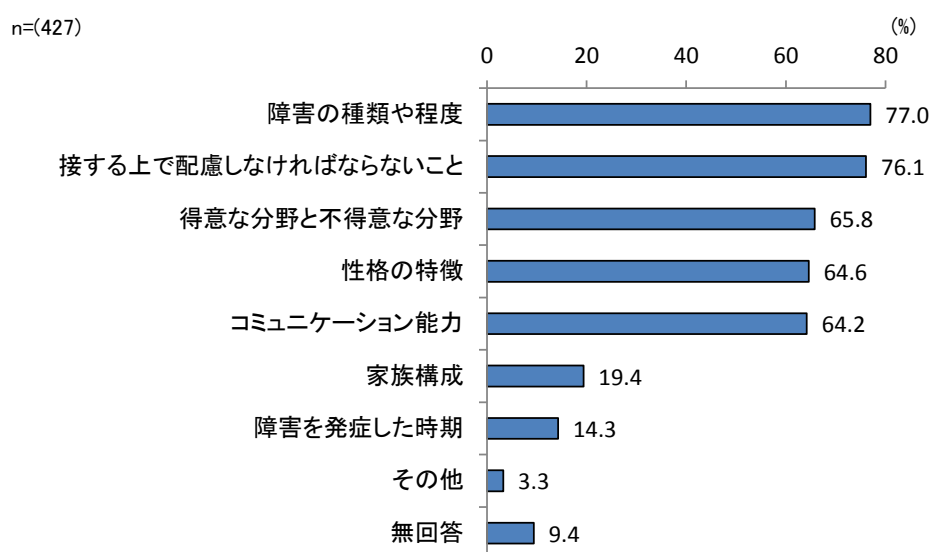
(7) 小学校に提供されるとよい情報

問 43 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の種類や程度」が 77.0%で最も多く、以下「接する上で配慮しなければならないこと」が 76.1%、「得意な分野と不得意な分野」が 65.8%、「性格の特徴」が 64.6%、「コミュニケーション能力」が 64.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	427	329	276	281	274	325	83	61	14	40
	100.0	77.0	64.6	65.8	64.2	76.1	19.4	14.3	3.3	9.4
身体障害	239	192	133	140	134	178	46	36	9	22
	100.0	80.3	55.6	58.6	56.1	74.5	19.2	15.1	3.8	9.2
知的障害	264	203	195	193	194	212	59	42	10	25
	100.0	76.9	73.9	73.1	73.5	80.3	22.3	15.9	3.8	9.5
精神障害	12	8	6	7	6	8	1	2	2	3
	100.0	66.7	50.0	58.3	50.0	66.7	8.3	16.7	16.7	25.0
難病	143	113	78	84	77	100	20	13	3	14
	100.0	79.0	54.5	58.7	53.8	69.9	14.0	9.1	2.1	9.8
無回答	3	1	1	1	1	-	-	-	-	1
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3

8. 学校・教育について

問 4 4 ～ 5 2 は、在学中の方のみ対象（小学校入学前・学校卒業後の場合は回答不要）

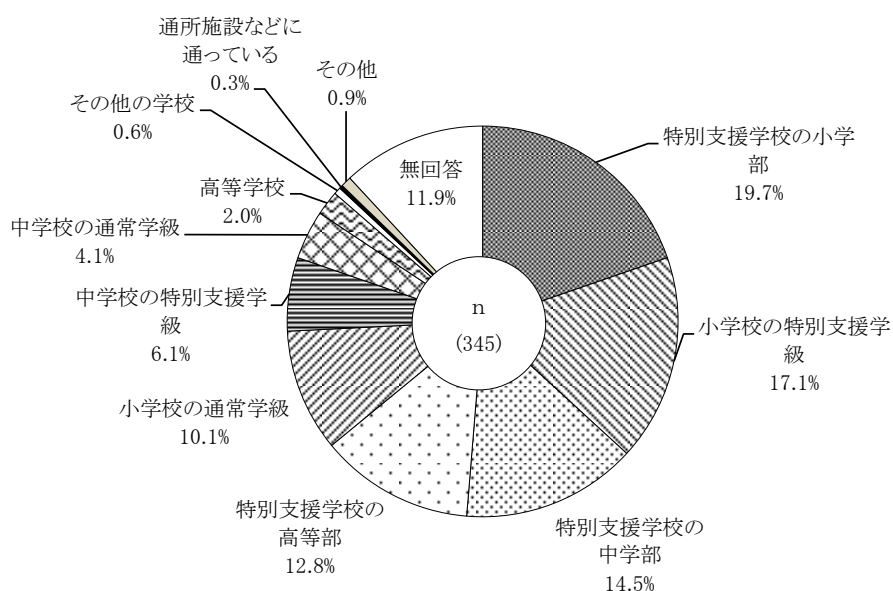
（１）現在通っているところ（在学中）

問 44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（○は１つ）

全体では、「特別支援学校の小学部」が 19.7%で最も多く、以下「小学校の特別支援学級」が 17.1%、「特別支援学校の中学部」が 14.5%、「特別支援学校の高等部」が 12.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「特別支援学校の小学部」が他の障害より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	小学校 の通常 学級	小学校 の特別 支援学 級	特別支 援学校 の小学 部	中学校 の通常 学級	中学校 の特別 支援学 級	特別支 援学校 の中学 部	高等学 校	特別支 援学校 の高等 部	その他 の学校	通所施 設など に通っ ている
全 体	345 100.0	35 10.1	59 17.1	68 19.7	14 4.1	21 6.1	50 14.5	7 2.0	44 12.8	2 0.6	1 0.3
身体障害	184 100.0	26 14.1	8 4.3	53 28.8	11 6.0	2 1.1	34 18.5	6 3.3	18 9.8	－ －	1 0.5
知的障害	227 100.0	12 5.3	56 24.7	42 18.5	4 1.8	21 9.3	34 15.0	－ －	31 13.7	2 0.9	1 0.4
精神障害	11 100.0	－ －	2 18.2	－ －	－ －	－ －	2 18.2	－ －	5 45.5	－ －	－ －
難病	105 100.0	13 12.4	17 16.2	22 21.0	8 7.6	2 1.9	14 13.3	1 1.0	13 12.4	－ －	1 1.0
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －

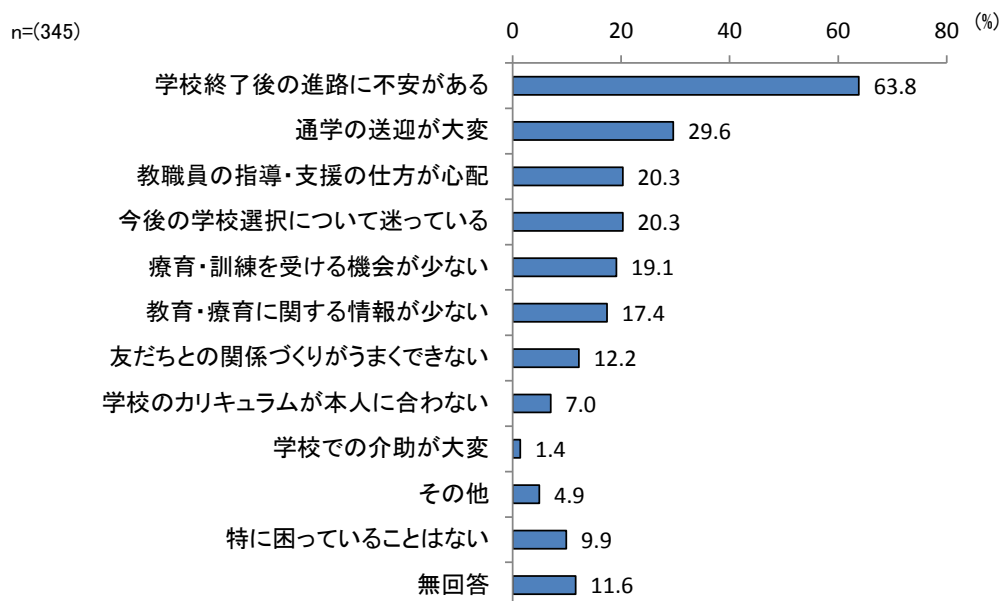
	調査数	どこにも 通って いない	その他	無回答
全 体	345 100.0	－ －	3 0.9	41 11.9
身体障害	184 100.0	－ －	2 1.1	23 12.5
知的障害	227 100.0	－ －	1 0.4	23 10.1
精神障害	11 100.0	－ －	－ －	2 18.2
難病	105 100.0	－ －	1 1.0	13 12.4
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －

(2) 学校・教育について困っていること

問 45 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

全体では、「学校終了後の進路に不安がある」が 63.8%で最も多く、次いで「通学の送迎が大変」が 29.6%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校終了後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	345	60	5	102	70	24	42	66	70	220	34	17	40
	100.0	17.4	1.4	29.6	20.3	7.0	12.2	19.1	20.3	63.8	9.9	4.9	11.6
身体障害	184	19	4	62	30	9	15	27	29	109	18	8	26
	100.0	10.3	2.2	33.7	16.3	4.9	8.2	14.7	15.8	59.2	9.8	4.3	14.1
知的障害	227	52	4	70	52	18	29	59	55	165	17	13	19
	100.0	22.9	1.8	30.8	22.9	7.9	12.8	26.0	24.2	72.7	7.5	5.7	8.4
精神障害	11	-	-	2	4	1	2	2	1	10	-	-	1
	100.0	-	-	18.2	36.4	9.1	18.2	18.2	9.1	90.9	-	-	9.1
難病	105	15	1	31	21	5	15	21	21	65	9	5	12
	100.0	14.3	1.0	29.5	20.0	4.8	14.3	20.0	20.0	61.9	8.6	4.8	11.4
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

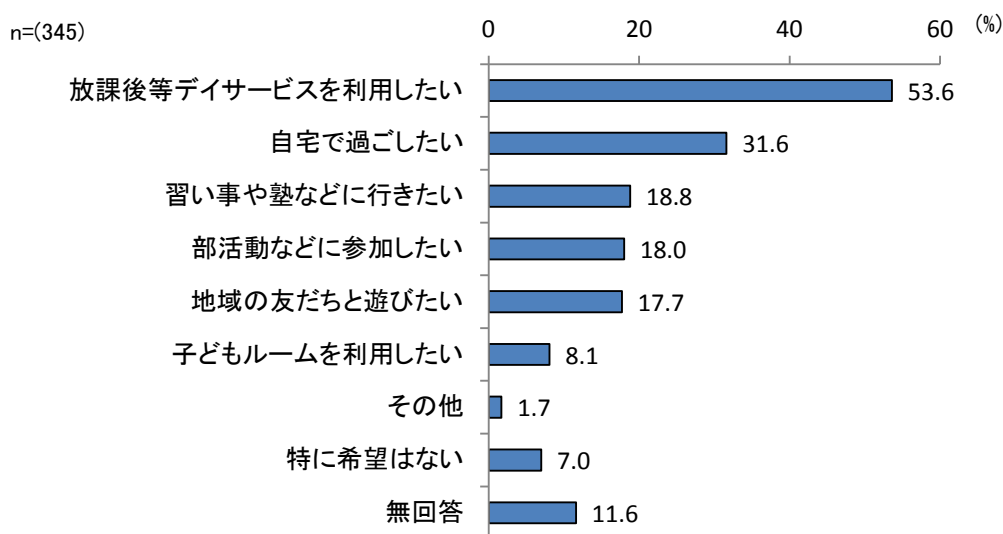
(3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 46 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

全体では「放課後等デイサービスを利用したい」が53.6%で最も多く、以下「自宅で過ごしたい」が31.6%、「習い事や塾などに行きたい」が18.8%、「部活動などに参加したい」が18.0%、「地域の友だちと遊びたい」が17.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「放課後等デイサービスを利用したい」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

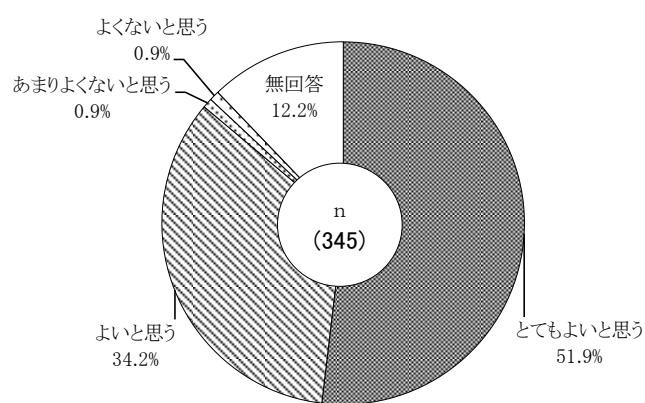
	調査数	自宅で 過ごした い	地域の 友だちと 遊びた い	放課後 等デイ サービ スを利用 したい	子ども ルーム を利用し たい	部活動 などに 参加した い	習い事 や塾な どに行き たい	特に希 望はな い	その他	無回答
全 体	345	109	61	185	28	62	65	24	6	40
	100.0	31.6	17.7	53.6	8.1	18.0	18.8	7.0	1.7	11.6
身体障害	184	63	27	85	9	31	28	19	4	24
	100.0	34.2	14.7	46.2	4.9	16.8	15.2	10.3	2.2	13.0
知的障害	227	71	40	150	22	39	44	7	4	21
	100.0	31.3	17.6	66.1	9.7	17.2	19.4	3.1	1.8	9.3
精神障害	11	4	-	6	-	1	-	1	-	1
	100.0	36.4	-	54.5	-	9.1	-	9.1	-	9.1
難病	105	37	16	49	9	14	18	12	2	12
	100.0	35.2	15.2	46.7	8.6	13.3	17.1	11.4	1.9	11.4
無回答	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 子どもの支援に関する情報が中学校に提供されることについて

問 47 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

全体では、「とてもよいと思う」が51.9%、「よいと思う」が34.2%となっています。
障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」、「よいと思う」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	345	179	118	3	3	42
	100.0	51.9	34.2	0.9	0.9	12.2
身体障害	184	96	60	3	1	24
	100.0	52.2	32.6	1.6	0.5	13.0
知的障害	227	120	82	1	2	22
	100.0	52.9	36.1	0.4	0.9	9.7
精神障害	11	8	2	—	—	1
	100.0	72.7	18.2	—	—	9.1
難病	105	45	41	3	2	14
	100.0	42.9	39.0	2.9	1.9	13.3
無回答	1	—	—	—	—	1
	100.0	—	—	—	—	100.0

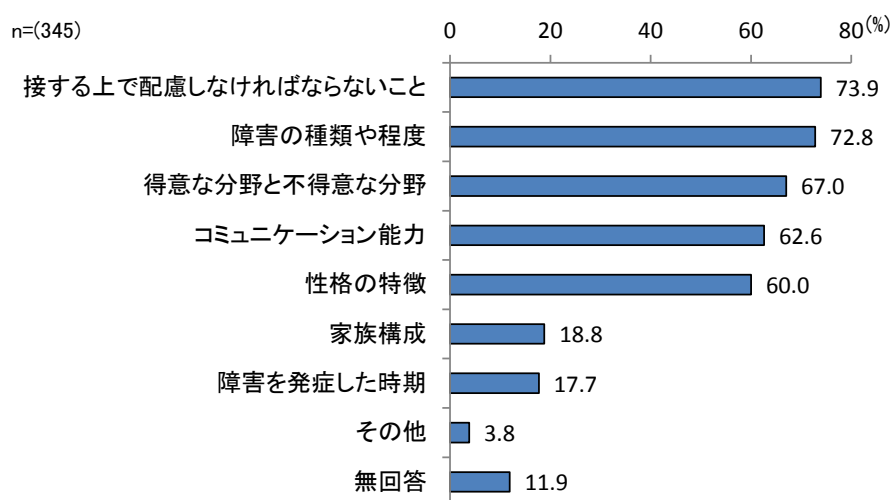
(5) 中学校に提供されるとよい情報

問 48 【保護者の方におたずねします。】 小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「接する上で配慮しなければならないこと」が 73.9%で最も多く、以下「障害の種類や程度」が 72.8%、「得意な分野と不得意な分野」が 67.0%となっている。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

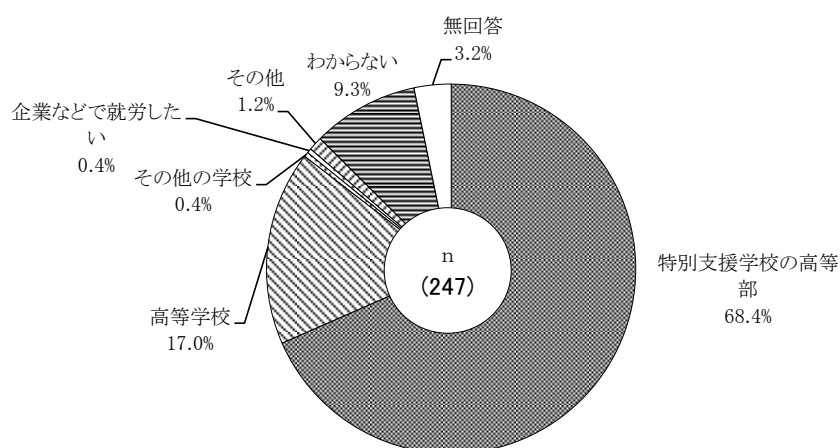
	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	345	251	207	231	216	255	65	61	13	41
	100.0	72.8	60.0	67.0	62.6	73.9	18.8	17.7	3.8	11.9
身体障害	184	138	92	103	95	129	39	32	9	24
	100.0	75.0	50.0	56.0	51.6	70.1	21.2	17.4	4.9	13.0
知的障害	227	171	159	178	169	180	47	46	9	21
	100.0	75.3	70.0	78.4	74.4	79.3	20.7	20.3	4.0	9.3
精神障害	11	9	7	7	6	7	1	2	2	1
	100.0	81.8	63.6	63.6	54.5	63.6	9.1	18.2	18.2	9.1
難病	105	74	55	62	60	76	17	15	3	14
	100.0	70.5	52.4	59.0	57.1	72.4	16.2	14.3	2.9	13.3
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(6) 中学校卒業後の希望進路

問 49 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

全体では、「特別支援学校の高等部」が68.4%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	247 100.0	42 17.0	169 68.4	1 0.4	- -	1 0.4	23 9.3	3 1.2	8 3.2
身体障害	134 100.0	30 22.4	93 69.4	- -	- -	1 0.7	8 6.0	1 0.7	1 0.7
知的障害	169 100.0	14 8.3	126 74.6	1 0.6	- -	- -	18 10.7	3 1.8	7 4.1
精神障害	4 100.0	- -	3 75.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -
難病	76 100.0	20 26.3	49 64.5	- -	- -	- -	4 5.3	- -	3 3.9
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

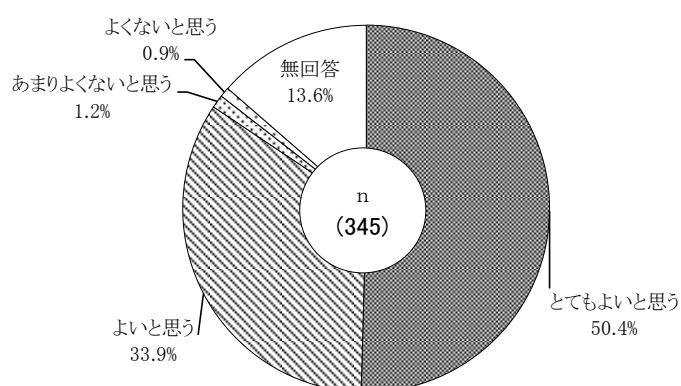
(7)子どもの支援に関する情報が高等学校に提供されることについて

問 50 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

全体では、「とてもよいと思う」が50.4%、「よいと思う」が33.9%となっています。

障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」、「よいと思う」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	345	174	117	4	3	47
	100.0	50.4	33.9	1.2	0.9	13.6
身体障害	184	99	57	3	1	24
	100.0	53.8	31.0	1.6	0.5	13.0
知的障害	227	114	83	2	3	25
	100.0	50.2	36.6	0.9	1.3	11.0
精神障害	11	8	2	—	—	1
	100.0	72.7	18.2	—	—	9.1
難病	105	46	36	3	3	17
	100.0	43.8	34.3	2.9	2.9	16.2
無回答	1	—	—	—	—	1
	100.0	—	—	—	—	100.0

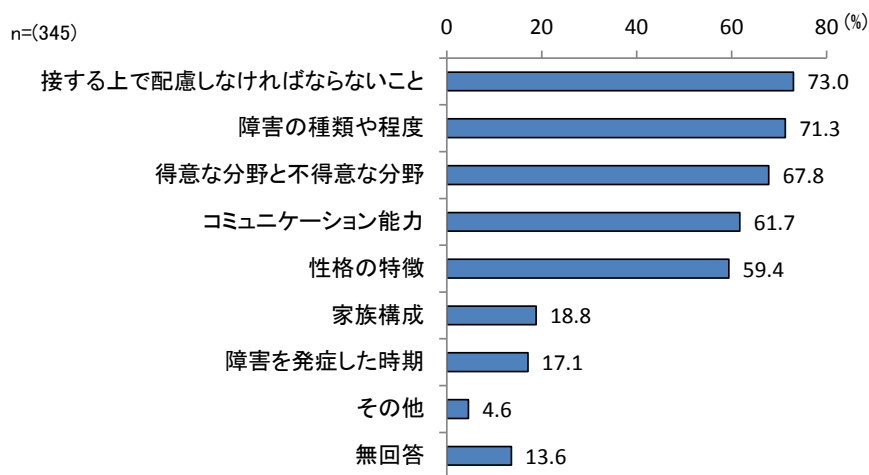
(8) 高等学校に提供されるとよい情報

問51 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「接する上で配慮しなければならないこと」が73.0%で最も多く、以下「障害の種類や程度」が71.3%、「得意な分野と不得意な分野」が67.8%となっている。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

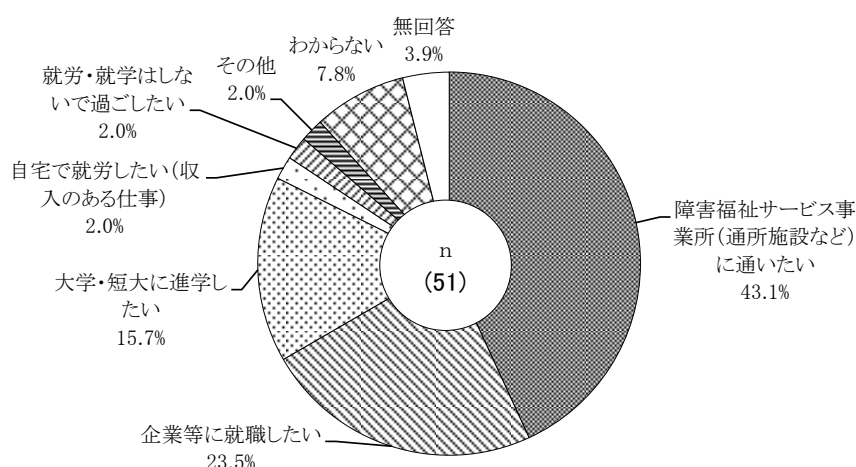
	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	345	246	205	234	213	252	65	59	16	47
	100.0	71.3	59.4	67.8	61.7	73.0	18.8	17.1	4.6	13.6
身体障害	184	138	93	106	93	131	38	32	12	25
	100.0	75.0	50.5	57.6	50.5	71.2	20.7	17.4	6.5	13.6
知的障害	227	168	158	178	167	178	48	45	11	24
	100.0	74.0	69.6	78.4	73.6	78.4	21.1	19.8	4.8	10.6
精神障害	11	9	7	7	5	8	1	2	2	1
	100.0	81.8	63.6	63.6	45.5	72.7	9.1	18.2	18.2	9.1
難病	105	72	57	63	59	74	18	15	5	17
	100.0	68.6	54.3	60.0	56.2	70.5	17.1	14.3	4.8	16.2
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(9) 学校卒業後の進路希望

問 52 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

全体では「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が43.1%で最も多く、以下「企業等に就職したい」が23.5%、「大学・短大に進学したい」が15.7%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	企業等に就職したい	大学・短大に進学したい	専門学校などに通いたい	障害者高等技術専門学校などに通いたい	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	自宅で就労したい(収入のある仕事)	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
全 体	51 100.0	12 23.5	8 15.7	-	-	22 43.1	1 2.0	1 2.0	4 7.8	1 2.0	2 3.9
身体障害	24 100.0	1 4.2	8 33.3	-	-	10 41.7	1 4.2	1 4.2	2 8.3	1 4.2	-
知的障害	31 100.0	11 35.5	-	-	-	16 51.6	-	-	2 6.5	-	2 6.5
精神障害	5 100.0	2 40.0	-	-	-	3 60.0	-	-	-	-	-
難病	14 100.0	3 21.4	2 14.3	-	-	6 42.9	1 7.1	1 7.1	-	1 7.1	-
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-

9. 日中活動・就労について

問53、54は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

（1）日中の過ごし方

問53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

（2）一般就労のために必要な支援

問54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

（1）日中の過ごし方、（2）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

10. 運動やスポーツについて

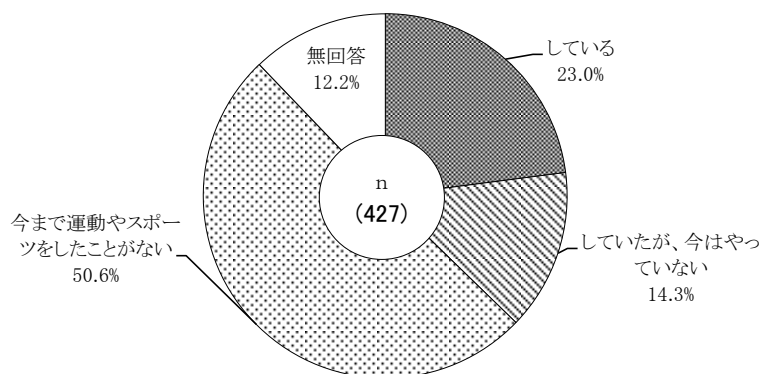
(1) 運動やスポーツの実施状況

問 55 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

全体では、「している」が23.0%、「していたが、今はやっていない」が14.3%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は50.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「している」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	427	98	61	216	52
	100.0	23.0	14.3	50.6	12.2
身体障害	239	50	28	130	31
	100.0	20.9	11.7	54.4	13.0
知的障害	264	66	40	133	25
	100.0	25.0	15.2	50.4	9.5
精神障害	12	1	4	5	2
	100.0	8.3	33.3	41.7	16.7
難病	143	25	13	79	26
	100.0	17.5	9.1	55.2	18.2
無回答	3	2	-	1	-
	100.0	66.7	-	33.3	-

(2) 運動やスポーツの実施頻度

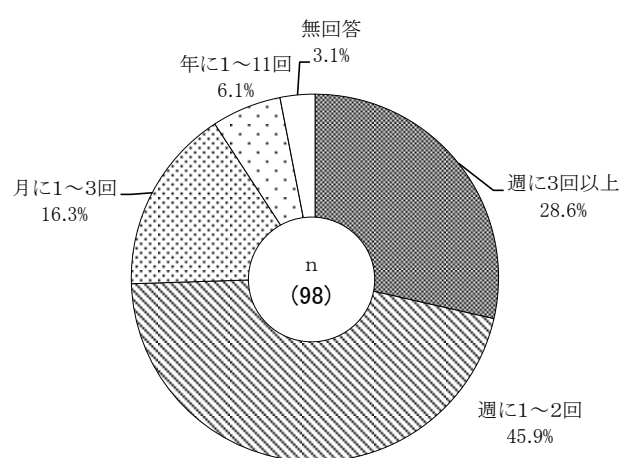
問 56 【問 55 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

全体では、「週に 1～2 回」が 45.9%で最も多く、次いで「週に 3 回以上」が 28.6%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「週に 3 回以上」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「週に 1～2 回」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	98	28	45	16	6	3
	100.0	28.6	45.9	16.3	6.1	3.1
身体障害	50	17	19	8	5	1
	100.0	34.0	38.0	16.0	10.0	2.0
知的障害	66	13	33	15	2	3
	100.0	19.7	50.0	22.7	3.0	4.5
精神障害	1	—	—	1	—	—
	100.0	—	—	100.0	—	—
難病	25	9	10	6	—	—
	100.0	36.0	40.0	24.0	—	—
無回答	2	2	—	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—	—

(3)実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 57 【問 55 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

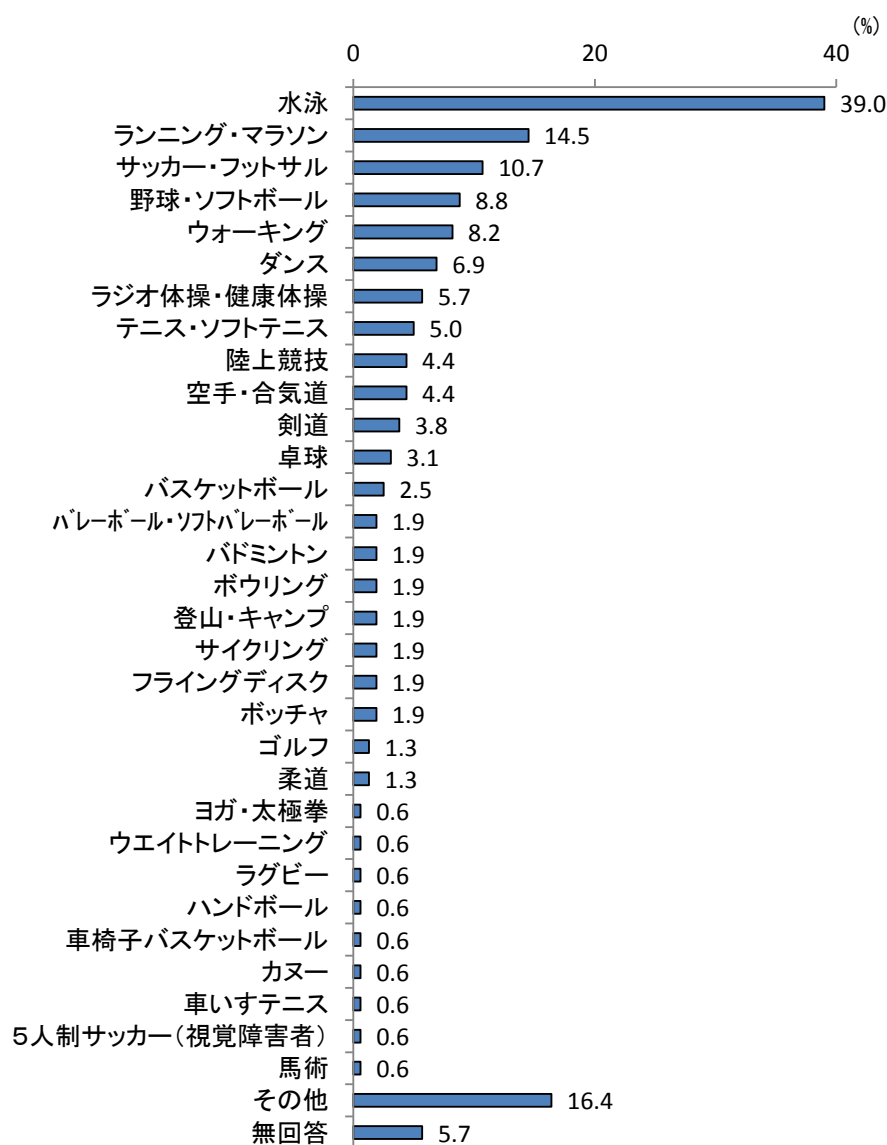
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「水泳」が39.0%で最も多く、以下「ランニング・マラソン」が14.5%、「サッカー・フットサル」が10.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「水泳」、「ランニング・マラソン」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体

n=(159)



●障害種別

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー
全 体	159 100.0	13 8.2	23 14.5	9 5.7	1 0.6	1 0.6	11 6.9	62 39.0	2 1.3	14 8.8	17 10.7	1 0.6
身体障害	78 100.0	7 9.0	5 6.4	3 3.8	-	1 1.3	3 3.8	26 33.3	-	9 11.5	9 11.5	1 1.3
知的障害	106 100.0	11 10.4	19 17.9	8 7.5	1 0.9	-	11 10.4	43 40.6	2 1.9	6 5.7	12 11.3	-
精神障害	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-	-	2 40.0	-
難病	38 100.0	3 7.9	3 7.9	2 5.3	-	-	5 13.2	16 42.1	1 2.6	6 15.8	4 10.5	-
無回答	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-

	調査数	バスケットボール	陸上競技	ハレーボール・ソフトボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	柔道	剣道	空手・合気道	ボウリング
全 体	159 100.0	4 2.5	7 4.4	3 1.9	1 0.6	8 5.0	3 1.9	5 3.1	2 1.3	6 3.8	7 4.4	3 1.9
身体障害	78 100.0	-	4 5.1	2 2.6	1 1.3	4 5.1	2 2.6	4 5.1	1 1.3	2 2.6	3 3.8	1 1.3
知的障害	106 100.0	4 3.8	4 3.8	1 0.9	-	4 3.8	2 1.9	1 0.9	1 0.9	4 3.8	5 4.7	2 1.9
精神障害	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-
難病	38 100.0	1 2.6	2 5.3	1 2.6	-	4 10.5	1 2.6	2 5.3	1 2.6	2 5.3	2 5.3	1 2.6
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	登山・キャンプ	サイクリング	車椅子バスケットボール	フライングディスク	カヌー	車いすテニス	5人制サッカー(視覚障害者)	馬術	ボッチャ	その他	無回答
全 体	159 100.0	3 1.9	3 1.9	1 0.6	3 1.9	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	3 1.9	26 16.4	9 5.7
身体障害	78 100.0	1 1.3	-	1 1.3	1 1.3	-	1 1.3	1 1.3	1 1.3	2 2.6	14 17.9	6 7.7
知的障害	106 100.0	2 1.9	3 2.8	1 0.9	3 2.8	1 0.9	-	-	-	2 1.9	16 15.1	4 3.8
精神障害	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	38 100.0	1 2.6	1 2.6	-	2 5.3	1 2.6	-	-	-	1 2.6	4 10.5	1 2.6
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0

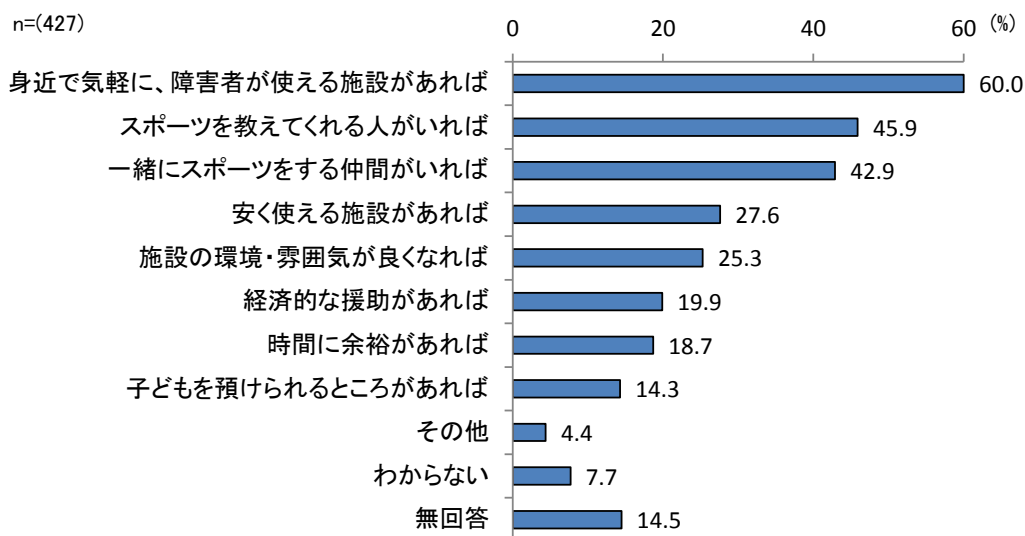
(4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 58 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が 60.0%で最も多く、以下「スポーツを教えてくれる人がいれば」が 45.9%、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が 42.9%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「スポーツを教えてくれる人がいれば」、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	身近で 気軽に、 障害者 が使える 施設が あれば	安く使え る施設 があれ ば	一緒に スポーツ をする仲 間がい れば	子どもを 預けら れるところ があれば	スポーツ を教え てくれる 人がい れば	施設の 環境・雰 囲気が 良くな れば	時間 に余裕 があれ ば	経済 的な 援助 があれ ば	わか らな い	その他	無回 答
全 体	427 100.0	256 60.0	118 27.6	183 42.9	61 14.3	196 45.9	108 25.3	80 18.7	85 19.9	33 7.7	19 4.4	62 14.5
身体障害	239 100.0	139 58.2	64 26.8	94 39.3	28 11.7	94 39.3	54 22.6	35 14.6	35 14.6	27 11.3	10 4.2	36 15.1
知的障害	264 100.0	168 63.6	72 27.3	123 46.6	46 17.4	140 53.0	72 27.3	59 22.3	66 25.0	12 4.5	15 5.7	33 12.5
精神障害	12 100.0	3 25.0	1 8.3	4 33.3	2 16.7	3 25.0	- -	2 16.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3	4 33.3
難病	143 100.0	83 58.0	35 24.5	48 33.6	14 9.8	52 36.4	30 21.0	24 16.8	21 14.7	15 10.5	3 2.1	29 20.3
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -

(5) スポーツをしない理由

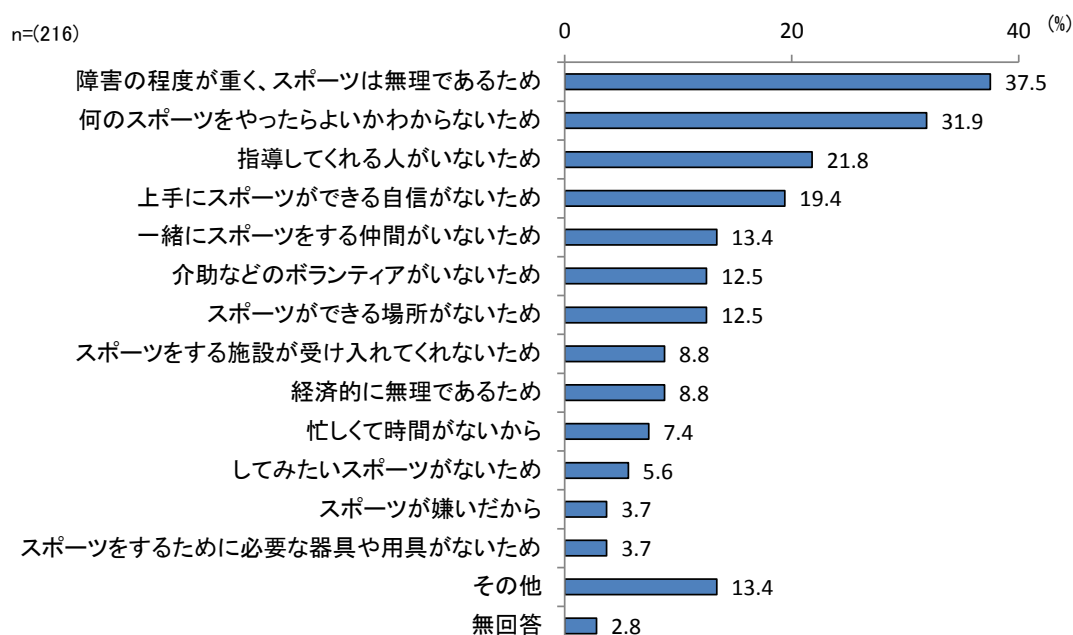
問 59 【問 55 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が 37.5%で最も多く、以下「何のスポーツをやったらよいかわからないため」が 31.9%、「指導してくれる人がいないため」が 21.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「指導してくれる人がいないため」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	スポーツ ができる 場所が ないた め	スポーツ をする施 設が受 け入れ てくれ ないた め	指導し てくれ る人が いない ため	上手に スポーツ ができ る自信 がない ため	スポーツ をする ために 必要の 器具や 用具が ないた め	経済的 に無理 である ため	一緒に スポーツ をする 仲間が いない ため	介助な どのボ ランティア がない ため	障害の 程度が 重く、 スポーツ は無理 である ため	何のス ポーツ をやっ たら よいか わから ないた め
全 体	216 100.0	27 12.5	19 8.8	47 21.8	42 19.4	8 3.7	19 8.8	29 13.4	27 12.5	81 37.5	69 31.9
身体障害	130 100.0	11 8.5	8 6.2	18 13.8	13 10.0	3 2.3	4 3.1	11 8.5	13 10.0	69 53.1	37 28.5
知的障害	133 100.0	19 14.3	14 10.5	35 26.3	32 24.1	5 3.8	16 12.0	20 15.0	19 14.3	44 33.1	43 32.3
精神障害	5 100.0	- -	- -	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
難病	79 100.0	6 7.6	4 5.1	7 8.9	8 10.1	1 1.3	1 1.3	5 6.3	8 10.1	40 50.6	26 32.9
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

	調査数	してみ たいス ポーツ がない ため	スポーツ が嫌い だから	忙しくて 時間が ないから	その他	無回答
全 体	216 100.0	12 5.6	8 3.7	16 7.4	29 13.4	6 2.8
身体障害	130 100.0	4 3.1	2 1.5	4 3.1	15 11.5	3 2.3
知的障害	133 100.0	8 6.0	7 5.3	12 9.0	18 13.5	3 2.3
精神障害	5 100.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0	- -
難病	79 100.0	- -	2 2.5	4 5.1	10 12.7	3 3.8
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

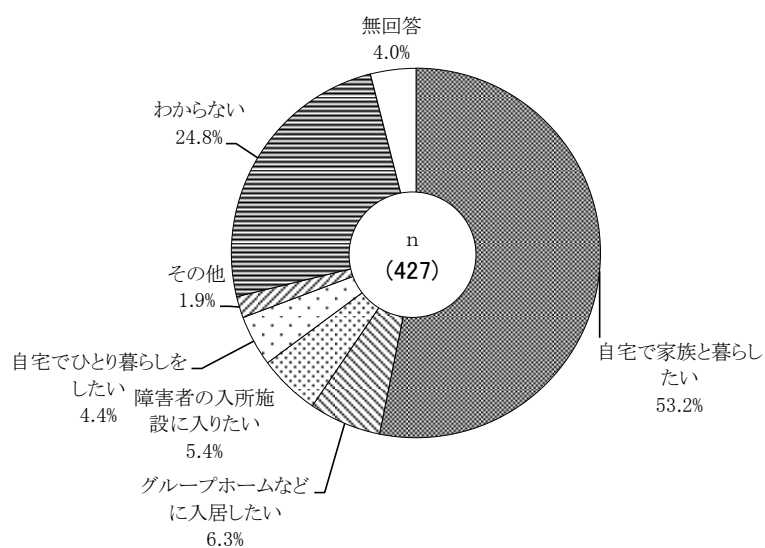
1 1. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 60 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が53.2%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全 体	427 100.0	227 53.2	19 4.4	27 6.3	23 5.4	106 24.8	8 1.9	17 4.0
身体障害	239 100.0	129 54.0	15 6.3	7 2.9	13 5.4	59 24.7	5 2.1	11 4.6
知的障害	264 100.0	134 50.8	7 2.7	26 9.8	17 6.4	64 24.2	6 2.3	10 3.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	- -	1 8.3	1 8.3	2 16.7	- -	1 8.3
難病	143 100.0	79 55.2	7 4.9	4 2.8	4 2.8	45 31.5	- -	4 2.8
無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -

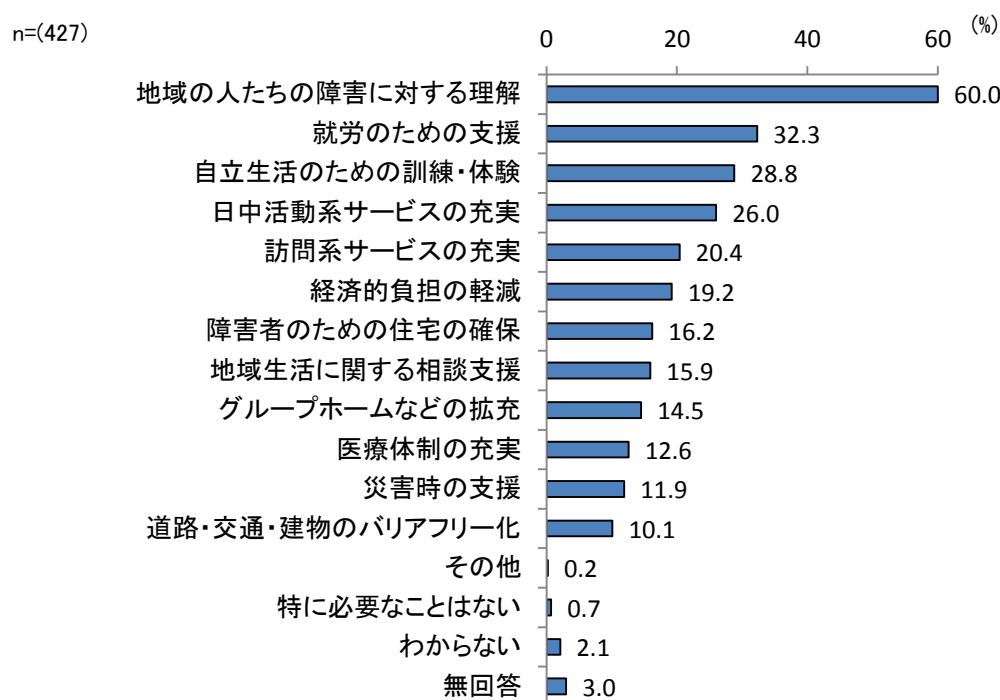
(2) 地域で生活するために必要なこと

問 61 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が 60.0%で最も多く、以下「就労のための支援」が 32.3%、「自立生活のための訓練・体験」が 28.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療体制の充実」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「自立生活のための訓練・体験」、「グループホームなどの拡充」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	地域の 人たちの 障害に 対する 理解	地域生 活に関 する相 談支援	訪問系 サービ スの充 実	日中活 動系サ ービス の充 実	自立生 活のた めの訓 練・体 験	グルー プホー ムなど の拡充	障害者 のため の住宅 の確保	医療体 制の充 実	就労の ための 支援	災害時 の支援	道路・交 通・建物 のバリア フリー化
全 体	100.0	256 60.0	68 15.9	87 20.4	111 26.0	123 28.8	62 14.5	69 16.2	54 12.6	138 32.3	51 11.9	43 10.1
身体障害	239 100.0	133 55.6	31 13.0	64 26.8	67 28.0	45 18.8	27 11.3	34 14.2	45 18.8	59 24.7	33 13.8	42 17.6
知的障害	264 100.0	169 64.0	49 18.6	44 16.7	82 31.1	92 34.8	55 20.8	45 17.0	24 9.1	89 33.7	25 9.5	9 3.4
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	3 25.0	- -	1 8.3
難病	143 100.0	81 56.6	18 12.6	35 24.5	38 26.6	39 27.3	18 12.6	20 14.0	28 19.6	49 34.3	17 11.9	18 12.6
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -

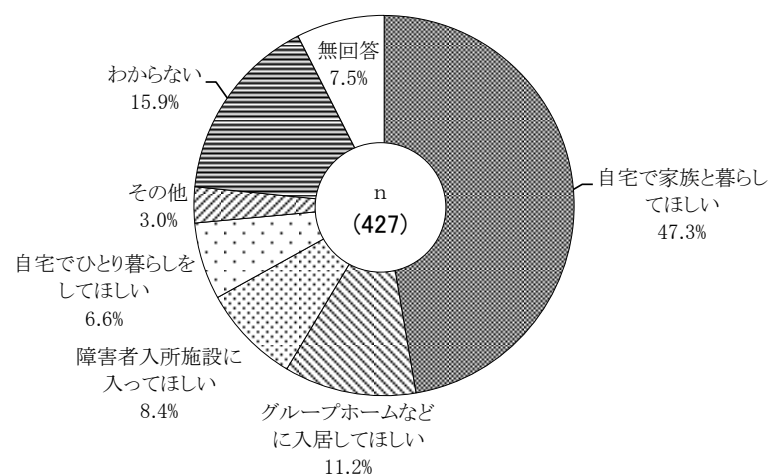
	調査数	経済的 負担の 軽減	特に必 要なこと はない	わから ない	その他	無回答
全 体	100.0	82 19.2	3 0.7	9 2.1	1 0.2	13 3.0
身体障害	239 100.0	53 22.2	2 0.8	6 2.5	- -	8 3.3
知的障害	264 100.0	43 16.3	1 0.4	3 1.1	1 0.4	8 3.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	- -	- -	- -	1 8.3
難病	143 100.0	28 19.6	2 1.4	4 2.8	- -	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -

(3) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 62 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

全体では「自宅で家族と暮らしてほしい」が47.3%で最も多く、以下「グループホームなどに入居してほしい」が11.2%、「障害者入所施設に入してほしい」が8.4%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者入所施設に入してほしい	わからない	その他	無回答
全 体	427	202	28	48	36	68	13	32
	100.0	47.3	6.6	11.2	8.4	15.9	3.0	7.5
身体障害	239	125	20	14	21	34	9	16
	100.0	52.3	8.4	5.9	8.8	14.2	3.8	6.7
知的障害	264	110	13	45	26	46	8	16
	100.0	41.7	4.9	17.0	9.8	17.4	3.0	6.1
精神障害	12	4	1	2	3	2	-	-
	100.0	33.3	8.3	16.7	25.0	16.7	-	-
難病	143	79	13	9	10	21	6	5
	100.0	55.2	9.1	6.3	7.0	14.7	4.2	3.5
無回答	3	2	-	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	33.3

●年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者入所 施設に入っ てほしい	わからない	その他	無回答
0～2歳	22 100.0	15 68.2	1 4.5	－ －	1 4.5	4 18.2	－ －	1 4.5
3～5歳	58 100.0	31 53.4	4 6.9	1 1.7	3 5.2	16 27.6	－ －	3 5.2
6～8歳	88 100.0	43 48.9	6 6.8	8 9.1	3 3.4	19 21.6	4 4.5	5 5.7
9～11歳	71 100.0	34 47.9	2 2.8	7 9.9	3 4.2	14 19.7	3 4.2	8 11.3
12～14歳	99 100.0	42 42.4	11 11.1	12 12.1	12 12.1	13 13.1	3 3.0	6 6.1
15歳以上	87 100.0	35 40.2	4 4.6	20 23.0	14 16.1	2 2.3	3 3.4	9 10.3
無回答	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

●主な介助者のうち家族・親族の年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者入所 施設に入っ てほしい	わからない	その他	無回答
20歳未満	4 100.0	2 50.0	－ －	－ －	－ －	1 25.0	1 25.0	－ －
20代	7 100.0	5 71.4	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 28.6
30代	118 100.0	63 53.4	9 7.6	6 5.1	8 6.8	23 19.5	5 4.2	4 3.4
40代	196 100.0	97 49.5	13 6.6	28 14.3	14 7.1	33 16.8	6 3.1	5 2.6
50代	37 100.0	12 32.4	5 13.5	10 27.0	7 18.9	1 2.7	－ －	2 5.4
60代	6 100.0	3 50.0	－ －	1 16.7	2 33.3	－ －	－ －	－ －
70歳以上	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

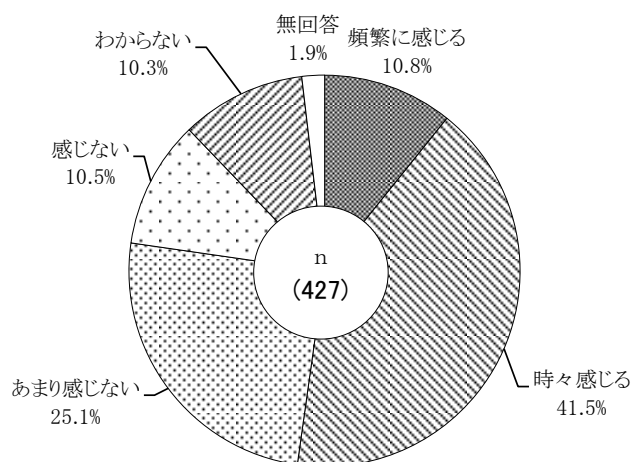
1 2. 障害のある人に対する理解度について

(1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 63 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありませんか。(○は 1 つ)

全体では、「頻繁に感じる」が 10.8%、「時々感じる」が 41.5%となっています。一方、「あまり感じない」は 25.1%、「感じない」は 10.5%となっています。

●全体



●障害種別

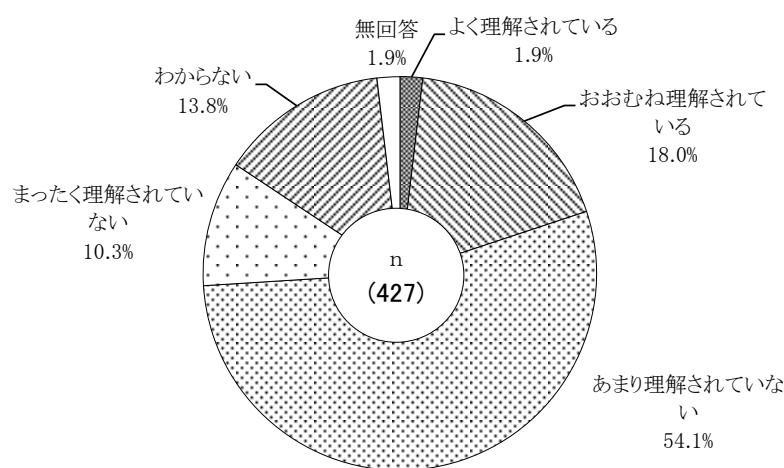
	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	427	46	177	107	45	44	8
	100.0	10.8	41.5	25.1	10.5	10.3	1.9
身体障害	239	27	97	60	27	23	5
	100.0	11.3	40.6	25.1	11.3	9.6	2.1
知的障害	264	29	115	67	19	30	4
	100.0	11.0	43.6	25.4	7.2	11.4	1.5
精神障害	12	2	5	1	1	3	-
	100.0	16.7	41.7	8.3	8.3	25.0	-
難病	143	16	50	46	17	12	2
	100.0	11.2	35.0	32.2	11.9	8.4	1.4
無回答	3	-	2	-	1	-	-
	100.0	-	66.7	-	33.3	-	-

(2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 64 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

全体では、「よく理解されている」が1.9%、「おおむね理解されている」が18.0%となっています。一方、「あまり理解されていない」は54.1%、「まったく理解されていない」は10.3%となっています。

●全体



●障害種別

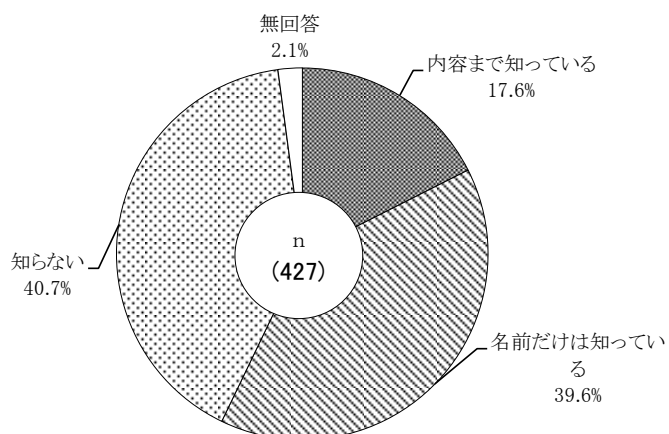
	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	427	8	77	231	44	59	8
	100.0	1.9	18.0	54.1	10.3	13.8	1.9
身体障害	239	4	41	130	22	38	4
	100.0	1.7	17.2	54.4	9.2	15.9	1.7
知的障害	264	4	49	146	31	29	5
	100.0	1.5	18.6	55.3	11.7	11.0	1.9
精神障害	12	1	3	3	2	3	-
	100.0	8.3	25.0	25.0	16.7	25.0	-
難病	143	4	24	77	14	23	1
	100.0	2.8	16.8	53.8	9.8	16.1	0.7
無回答	3	1	1	1	-	-	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-

(3) 障害者差別解消法の認知

問 65 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「内容まで知っている」が 17.6%、「名前だけは知っている」が 39.6%となっています。一方、「知らない」が 40.7%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	427	75	169	174	9
	100.0	17.6	39.6	40.7	2.1
身体障害	239	44	90	101	4
	100.0	18.4	37.7	42.3	1.7
知的障害	264	52	106	100	6
	100.0	19.7	40.2	37.9	2.3
精神障害	12	3	4	5	-
	100.0	25.0	33.3	41.7	-
難病	143	22	58	61	2
	100.0	15.4	40.6	42.7	1.4
無回答	3	1	-	2	-
	100.0	33.3	-	66.7	-

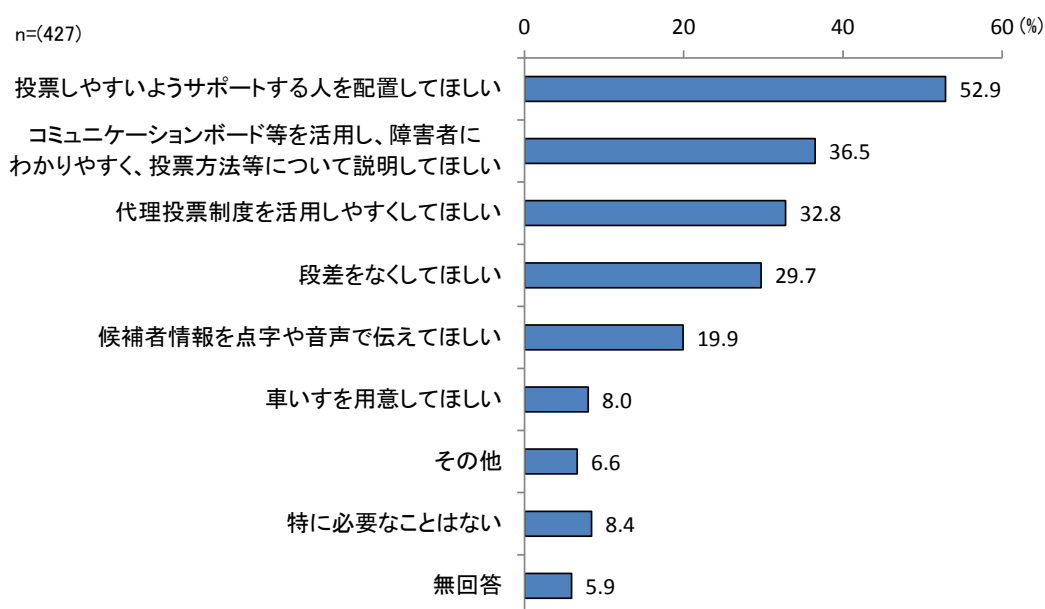
(4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 66 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 52.9%で最も多く、以下「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が 36.5%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 32.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「段差をなくしてほしい」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」、「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	候補者 情報を 点字や 音声で 伝えて ほしい	段差を なくして ほしい	車いす を用意し てほしい	投票し やすい ようサ ポートす る人を配 置してほ しい	代理投 票制度 を活用し やすくし てほしい	コミュニ ケーショ ンボード 等を活 用し、障 害者に わかり やすく、 投票方 法等に ついて 説明して ほしい	特に必 要なこと はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	85 19.9	127 29.7	34 8.0	226 52.9	140 32.8	156 36.5	36 8.4	28 6.6	25 5.9
身体障害	239 100.0	47 19.7	94 39.3	19 7.9	113 47.3	77 32.2	69 28.9	22 9.2	17 7.1	14 5.9
知的障害	264 100.0	52 19.7	62 23.5	20 7.6	152 57.6	95 36.0	108 40.9	17 6.4	17 6.4	17 6.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	7 58.3	7 58.3	6 50.0	－ －	－ －	1 8.3
難病	143 100.0	28 19.6	52 36.4	7 4.9	72 50.3	46 32.2	42 29.4	20 14.0	8 5.6	5 3.5
無回答	3 100.0	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	－ －

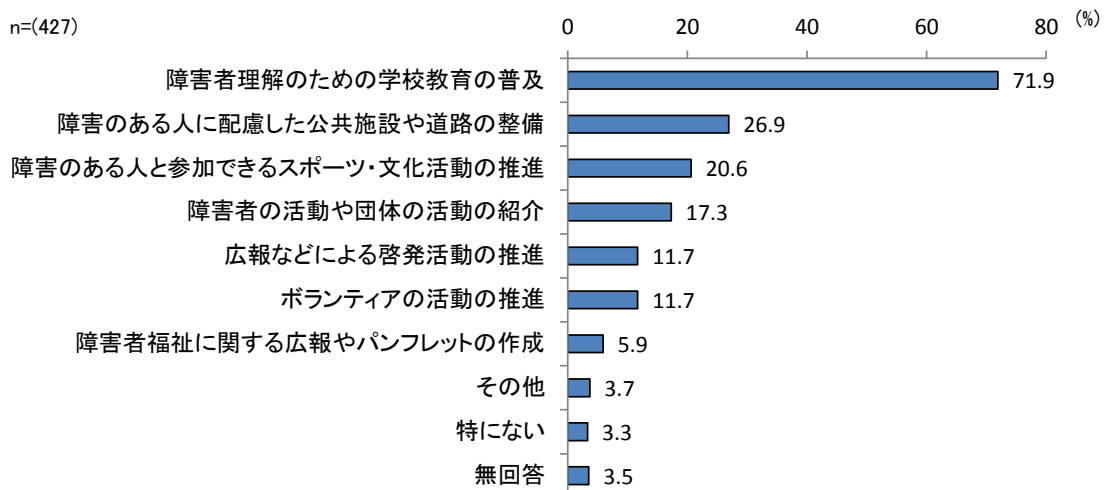
(5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 67 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「障害者理解のための学校教育の普及」が 71.9%で最も多く、次いで「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が 26.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	307 71.9	50 11.7	74 17.3	50 11.7	88 20.6	115 26.9	25 5.9	14 3.3	16 3.7	15 3.5
身体障害	239 100.0	164 68.6	20 8.4	32 13.4	31 13.0	54 22.6	83 34.7	15 6.3	7 2.9	8 3.3	7 2.9
知的障害	264 100.0	206 78.0	40 15.2	55 20.8	27 10.2	51 19.3	53 20.1	18 6.8	7 2.7	11 4.2	9 3.4
精神障害	12 100.0	8 66.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	－	1 8.3	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	101 70.6	10 7.0	25 17.5	16 11.2	20 14.0	57 39.9	7 4.9	7 4.9	6 4.2	3 2.1
無回答	3 100.0	1 33.3	－	1 33.3	－	1 33.3	－	1 33.3	－	－	－

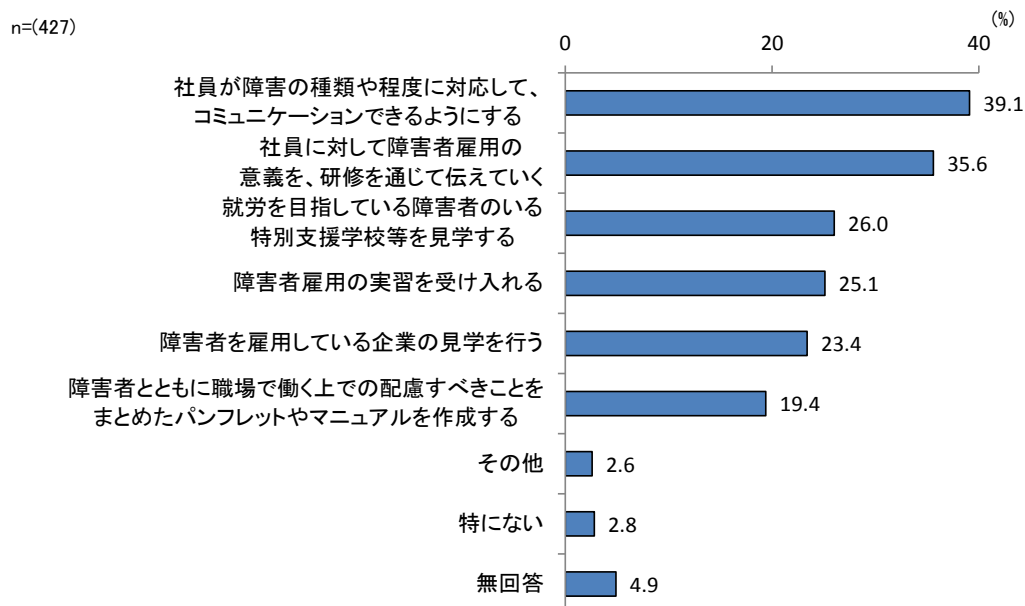
(6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 68 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が39.1%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が35.6%、「就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する」が26.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

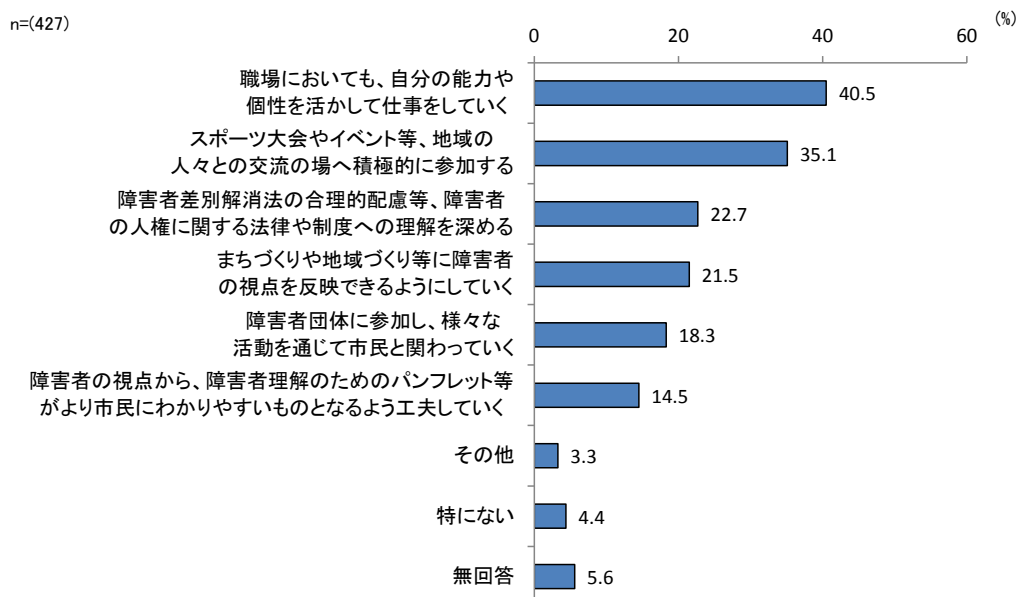
	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	152 35.6	111 26.0	100 23.4	107 25.1	167 39.1	83 19.4	12 2.8	11 2.6	21 4.9
身体障害	239 100.0	82 34.3	66 27.6	55 23.0	61 25.5	83 34.7	38 15.9	11 4.6	6 2.5	12 5.0
知的障害	264 100.0	93 35.2	72 27.3	57 21.6	69 26.1	116 43.9	57 21.6	2 0.8	8 3.0	14 5.3
精神障害	12 100.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	— —	2 16.7	2 16.7
難病	143 100.0	51 35.7	39 27.3	36 25.2	38 26.6	56 39.2	19 13.3	8 5.6	2 1.4	5 3.5
無回答	3 100.0	— —	— —	2 66.7	— —	2 66.7	1 33.3	— —	— —	— —

(7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 69 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

全体では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が 40.5%で最も多く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」が 35.1%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくりに障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	97 22.7	150 35.1	92 21.5	78 18.3	62 14.5	173 40.5	19 4.4	14 3.3	24 5.6
身体障害	239 100.0	51 21.3	85 35.6	60 25.1	43 18.0	33 13.8	81 33.9	14 5.9	7 2.9	16 6.7
知的障害	264 100.0	66 25.0	99 37.5	55 20.8	57 21.6	39 14.8	101 38.3	7 2.7	9 3.4	14 5.3
精神障害	12 100.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7	4 33.3	－ －	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	31 21.7	54 37.8	33 23.1	25 17.5	17 11.9	54 37.8	11 7.7	1 0.7	8 5.6
無回答	3 100.0	－ －	3 100.0	－ －	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －

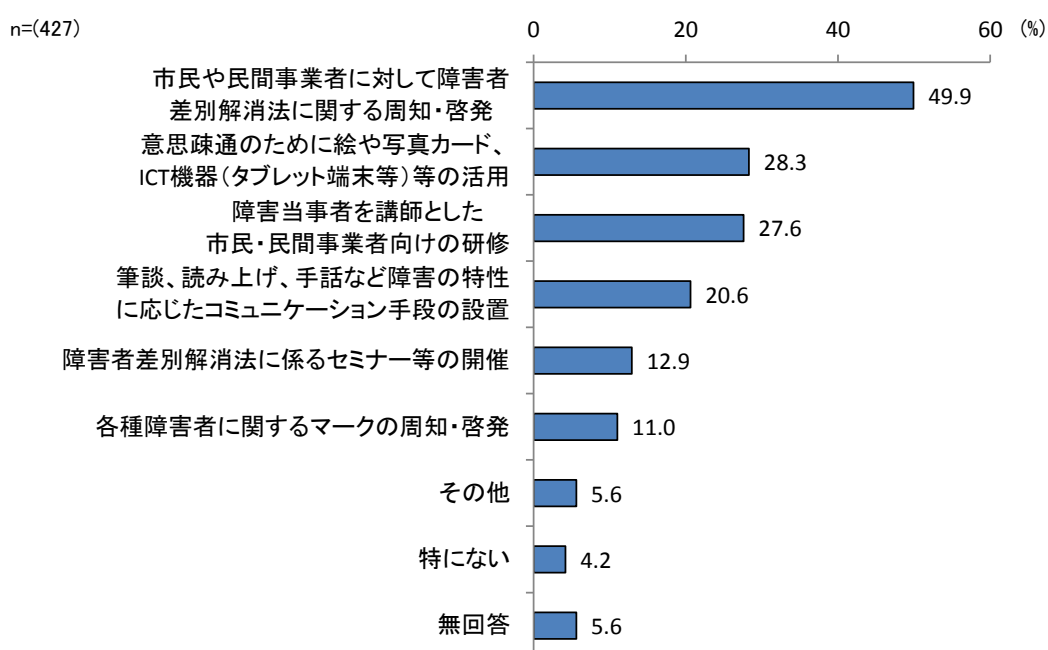
(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 70 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 49.9%で最も多く、以下「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が 28.3%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が 27.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用	各種障害者に関するマークの周知・啓発	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	213 49.9	55 12.9	118 27.6	88 20.6	121 28.3	47 11.0	18 4.2	24 5.6	24 5.6
身体障害	239 100.0	116 48.5	27 11.3	63 26.4	55 23.0	54 22.6	27 11.3	15 6.3	13 5.4	16 6.7
知的障害	264 100.0	141 53.4	39 14.8	81 30.7	41 15.5	86 32.6	25 9.5	4 1.5	17 6.4	13 4.9
精神障害	12 100.0	8 66.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	－ －	－ －	－ －	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	76 53.1	17 11.9	35 24.5	29 20.3	35 24.5	18 12.6	10 7.0	5 3.5	8 5.6
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	－ －	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －

1 3. サービス利用について

(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

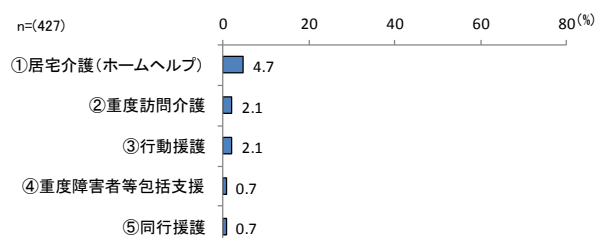
問 71 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 4.7%で最も多くなっています。

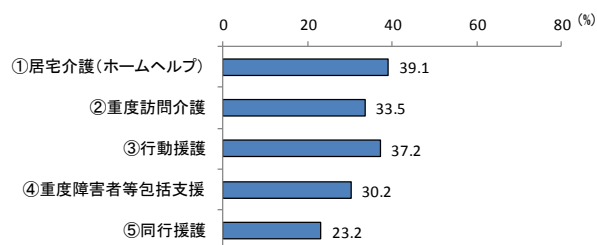
利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 39.1%で最も多く、以下「行動援護」が 37.2%、「重度訪問介護」が 33.5%となっています。

●全体

A. 利用している割合



B. 利用したい割合



●障害種別

A. 利用している割合

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問介護	③行動援護	④重度障害者等包括支援	⑤同行援護
全 体	427	20	9	9	3	3
	100.0	4.7	2.1	2.1	0.7	0.7
身体障害	239	18	8	2	3	3
	100.0	7.5	3.3	0.8	1.3	1.3
知的障害	264	10	4	8	-	1
	100.0	3.8	1.5	3.0	-	0.4
精神障害	12	1	-	1	-	-
	100.0	8.3	-	8.3	-	-
難病	143	9	5	1	2	1
	100.0	6.3	3.5	0.7	1.4	0.7
無回答	3	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-

B. 利用したい割合

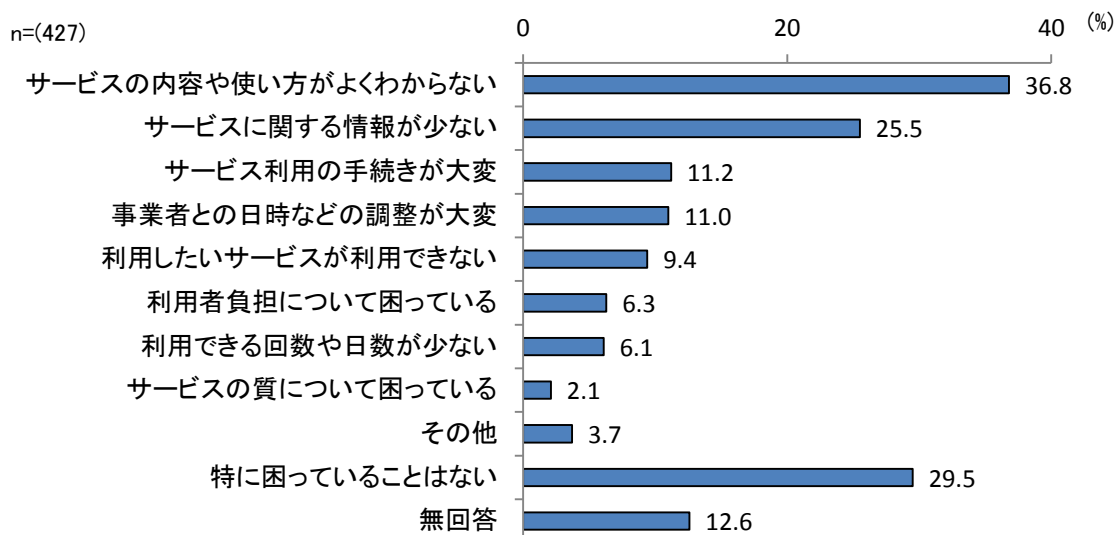
	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問介護	③行動援護	④重度障害者等包括支援	⑤同行援護
全 体	427	167	143	159	129	99
	100.0	39.1	33.5	37.2	30.2	23.2
身体障害	239	104	104	72	89	58
	100.0	43.5	43.5	30.1	37.2	24.3
知的障害	264	111	89	127	79	64
	100.0	42.0	33.7	48.1	29.9	24.2
精神障害	12	4	8	6	6	3
	100.0	33.3	66.7	50.0	50.0	25.0
難病	143	58	56	46	53	36
	100.0	40.6	39.2	32.2	37.1	25.2
無回答	3	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-

(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 72 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 36.8%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 25.5%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使 い方が よくわか らない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサー ビスが 利用で きない	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業者 との日 時など の調整 が大変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 につい て困っ ている	利用者 負担に ついて 困っ ている	特に 困っ てい るこ とは ない	その他	無回答
全 体	427 100.0	157 36.8	109 25.5	40 9.4	48 11.2	47 11.0	26 6.1	9 2.1	27 6.3	126 29.5	16 3.7	54 12.6
身体障害	239 100.0	87 36.4	70 29.3	24 10.0	29 12.1	31 13.0	18 7.5	8 3.3	16 6.7	60 25.1	10 4.2	31 13.0
知的障害	264 100.0	108 40.9	69 26.1	23 8.7	32 12.1	32 12.1	14 5.3	6 2.3	21 8.0	73 27.7	7 2.7	28 10.6
精神障害	12 100.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	-	4 33.3
難病	143 100.0	48 33.6	40 28.0	12 8.4	15 10.5	17 11.9	8 5.6	4 2.8	10 7.0	46 32.2	5 3.5	16 11.2
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

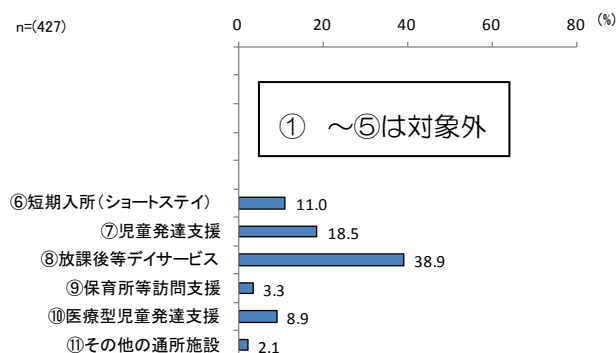
問 73 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「放課後等デイサービス」が 38.9%で最も多く、以下「児童発達支援」が 18.5%、「短期入所（ショートステイ）」が 11.0%となっています。

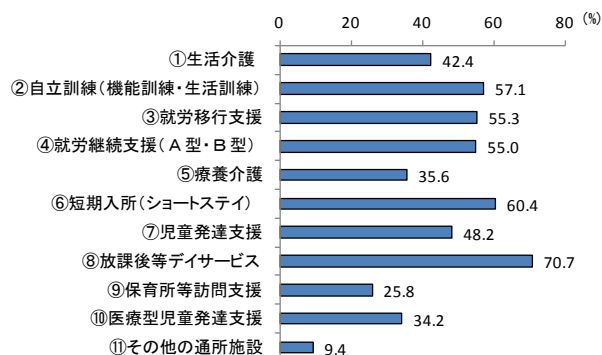
利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」が 70.7%で最も多く、以下「短期入所（ショートステイ）」が 60.4%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 57.1%となっています。

●全体

A. 利用している割合



B. 利用したい割合



●障害種別

A. 利用している割合

	調査数	⑥短期入所（ショートステイ）	⑦児童発達支援	⑧放課後等デイサービス	⑨保育所等訪問支援	⑩医療型児童発達支援	⑪その他の通所施設
全 体	427	47	79	166	14	38	9
	100.0	11.0	18.5	38.9	3.3	8.9	2.1
身体障害	239	34	32	75	7	32	5
	100.0	14.2	13.4	31.4	2.9	13.4	2.1
知的障害	264	26	56	132	10	16	5
	100.0	9.8	21.2	50.0	3.8	6.1	1.9
精神障害	12	2	2	7	—	1	1
	100.0	16.7	16.7	58.3	—	8.3	8.3
難病	143	19	20	46	3	16	3
	100.0	13.3	14.0	32.2	2.1	11.2	2.1
無回答	3	—	1	—	—	—	—
	100.0	—	33.3	—	—	—	—

B. 利用したい割合

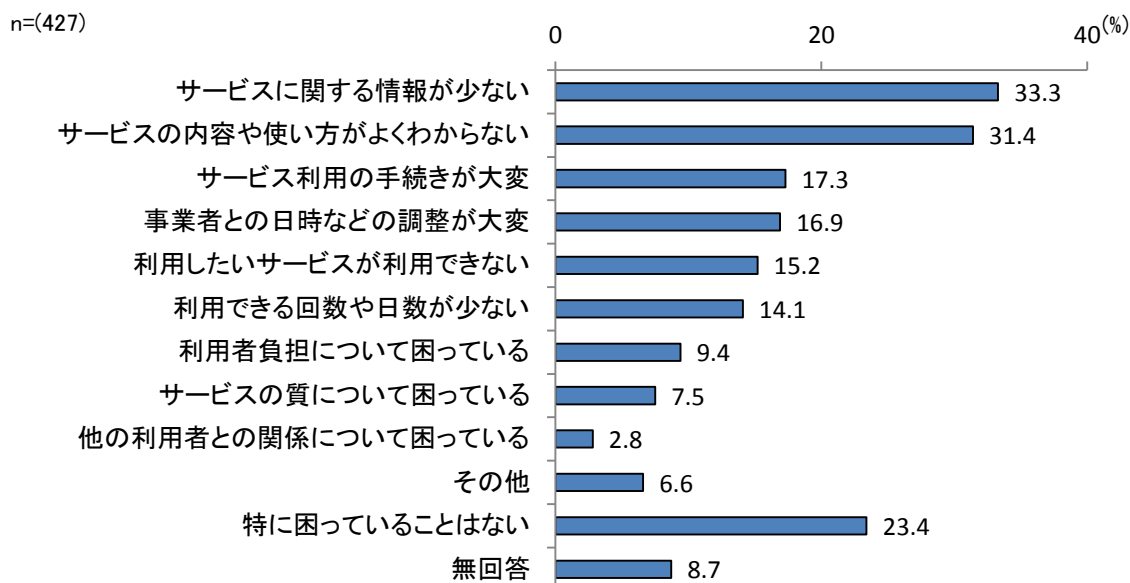
	調査数	①生活 介護	②自立 訓練(機 能訓練・ 生活訓 練)	③就労 移行支 援	④就労 継続支 援(A 型・B 型)	⑤療養 介護	⑥短期 入所 (ショー トステ イ)	⑦児童 発達支 援	⑧放課 後等デ イサービ ス	⑨保育 所等訪 問支援	⑩医療 型児童 発達支 援	⑪その 他の通 所施設
全 体	427 100.0	181 42.4	244 57.1	236 55.3	235 55.0	152 35.6	258 60.4	206 48.2	302 70.7	110 25.8	146 34.2	40 9.4
身体障害	239 100.0	107 44.8	121 50.6	108 45.2	103 43.1	99 41.4	145 60.7	108 45.2	154 64.4	61 25.5	92 38.5	26 10.9
知的障害	264 100.0	124 47.0	173 65.5	160 60.6	174 65.9	92 34.8	171 64.8	141 53.4	214 81.1	66 25.0	91 34.5	20 7.6
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	2 16.7	6 50.0	5 41.7	10 83.3	5 41.7	9 75.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	66 46.2	79 55.2	70 49.0	74 51.7	68 47.6	89 62.2	68 47.6	93 65.0	41 28.7	61 42.7	17 11.9
無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	- -

(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 74 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「サービスに関する情報が少ない」が33.3%、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が31.4%と、いずれも3割を超えています。

●全体



●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使 い方が よくわ からない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサ ービス が利用 できな い	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業 者との 日時な どの調 整が大 変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 について 困って いる	他の利 用者と の関係 について 困って いる	利用者 負担に ついて 困って いる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全 体	427	134	142	65	74	72	60	32	12	40	100	28	37
	100.0	31.4	33.3	15.2	17.3	16.9	14.1	7.5	2.8	9.4	23.4	6.6	8.7
身体障害	239	67	78	28	37	42	33	21	6	22	56	17	24
	100.0	28.0	32.6	11.7	15.5	17.6	13.8	8.8	2.5	9.2	23.4	7.1	10.0
知的障害	264	90	100	48	51	49	42	20	10	27	53	17	19
	100.0	34.1	37.9	18.2	19.3	18.6	15.9	7.6	3.8	10.2	20.1	6.4	7.2
精神障害	12	1	3	3	3	5	1	1	-	2	1	-	2
	100.0	8.3	25.0	25.0	25.0	41.7	8.3	8.3	-	16.7	8.3	-	16.7
難病	143	43	45	21	19	21	19	13	2	14	37	7	13
	100.0	30.1	31.5	14.7	13.3	14.7	13.3	9.1	1.4	9.8	25.9	4.9	9.1
無回答	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

(5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

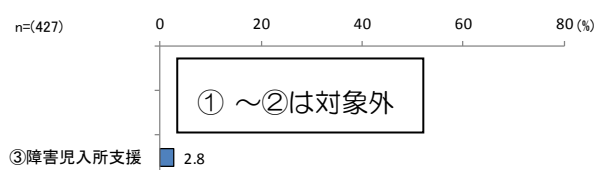
問 75 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「障害児入所支援」が 2.8%となっています。

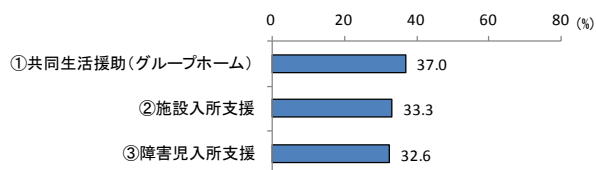
利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 37.0%で最も多く、以下「施設入所支援」が 33.3%、「障害児入所支援」が 32.6% となっています。

●全体

A. 利用している割合



B. 利用したい割合



●障害種別

A. 利用している割合

	調査数	③障害児入所支援
全 体	427	12
	100.0	2.8
身体障害	239	9
	100.0	3.8
知的障害	264	7
	100.0	2.7
精神障害	12	1
	100.0	8.3
難病	143	6
	100.0	4.2
無回答	3	—
	100.0	—

B. 利用したい割合

	調査数	①共同生活援助（グループホーム）	②施設入所支援	③障害児入所支援
全 体	427	158	142	139
	100.0	37.0	33.3	32.6
身体障害	239	77	77	79
	100.0	32.2	32.2	33.1
知的障害	264	120	103	99
	100.0	45.5	39.0	37.5
精神障害	12	8	7	8
	100.0	66.7	58.3	66.7
難病	143	49	46	51
	100.0	34.3	32.2	35.7
無回答	3	1	1	1
	100.0	33.3	33.3	33.3

(6) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

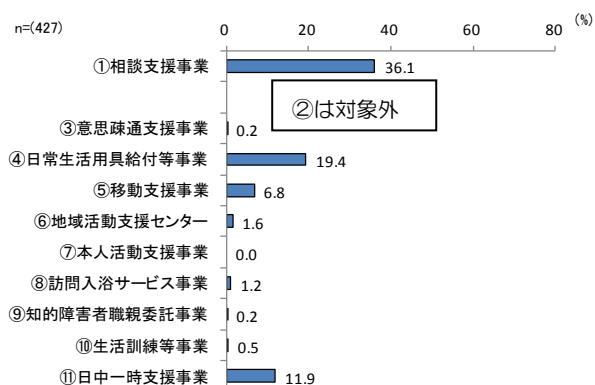
問 76 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が 36.1%で最も多く、以下「日常生活用具給付等事業」が 19.4%、「日中一時支援事業」が 11.9% となっています。

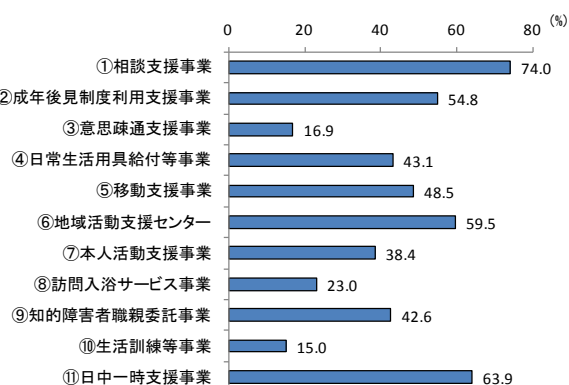
利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が 74.0%で最も多く、以下「日中一時支援事業」が 63.9%、「地域活動支援センター」が 59.5%となっています。

●全体

A. 利用している割合



B. 利用したい割合



●障害種別

A. 利用している割合

	調査数	①相談支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤移動支援事業	⑥地域活動支援センター	⑦本人活動支援事業	⑧訪問入浴サービス事業	⑨知的障害者職親委託事業	⑩生活訓練等事業	⑪日中一時支援事業
全 体	427	154	1	83	29	7	-	5	1	2	51
	100.0	36.1	0.2	19.4	6.8	1.6	-	1.2	0.2	0.5	11.9
身体障害	239	89	1	83	19	3	-	5	-	2	24
	100.0	37.2	0.4	34.7	7.9	1.3	-	2.1	-	0.8	10.0
知的障害	264	101	-	35	22	7	-	4	1	1	39
	100.0	38.3	-	13.3	8.3	2.7	-	1.5	0.4	0.4	14.8
精神障害	12	4	-	1	3	-	-	1	-	-	4
	100.0	33.3	-	8.3	25.0	-	-	8.3	-	-	33.3
難病	143	45	1	32	8	-	-	3	-	1	11
	100.0	31.5	0.7	22.4	5.6	-	-	2.1	-	0.7	7.7
無回答	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

B. 利用したい割合

	調査数	①相談 支援事 業	②成年 後見制 度利用 支援事 業	③意思 疎通支 援事業	④日常 生活用 具給付 等事業	⑤移動 支援事 業	⑥地域 活動支 援セン ター	⑦本人 活動支 援事業	⑧訪問 入浴 サービ ス事業	⑨知的 障害者 職親委 託事業	⑩生活 訓練等 事業	⑪日中 一時支 援事業
全 体	427 100.0	316 74.0	234 54.8	72 16.9	184 43.1	207 48.5	254 59.5	164 38.4	98 23.0	182 42.6	64 15.0	273 63.9
身体障害	239 100.0	167 69.9	108 45.2	52 21.8	142 59.4	132 55.2	129 54.0	58 24.3	80 33.5	49 20.5	38 15.9	149 62.3
知的障害	264 100.0	214 81.1	171 64.8	31 11.7	98 37.1	134 50.8	174 65.9	139 52.7	55 20.8	160 60.6	42 15.9	190 72.0
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	8 66.7	8 66.7	4 33.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3	9 75.0
難病	143 100.0	105 73.4	72 50.3	28 19.6	72 50.3	69 48.3	76 53.1	45 31.5	41 28.7	48 33.6	19 13.3	89 62.2
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3

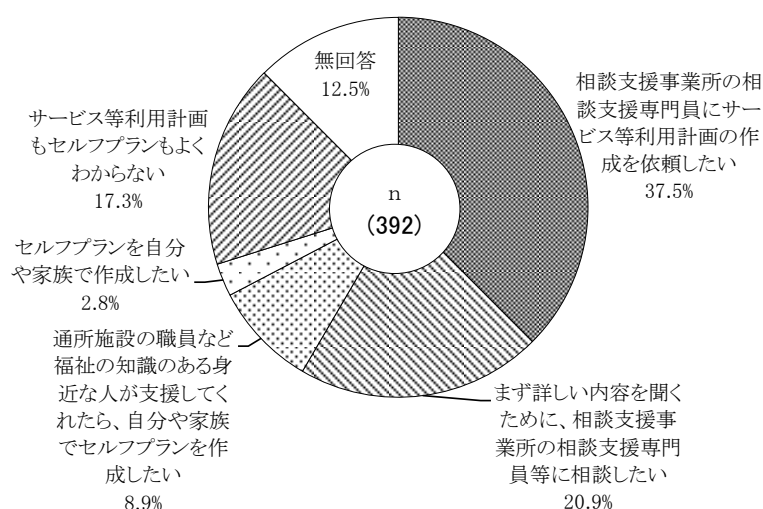
(7) サービス等利用計画の作成についての意向

問 77 【問 71、73、75、76 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

全体では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 37.5%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 20.9%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 17.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	392 100.0	147 37.5	11 2.8	35 8.9	82 20.9	68 17.3	49 12.5
身体障害	216 100.0	78 36.1	4 1.9	21 9.7	44 20.4	41 19.0	28 13.0
知的障害	252 100.0	106 42.1	7 2.8	24 9.5	53 21.0	33 13.1	29 11.5
精神障害	10 100.0	6 60.0	—	1 10.0	1 10.0	—	2 20.0
難病	129 100.0	42 32.6	5 3.9	8 6.2	28 21.7	32 24.8	14 10.9
無回答	2 100.0	—	—	—	1 50.0	1 50.0	—

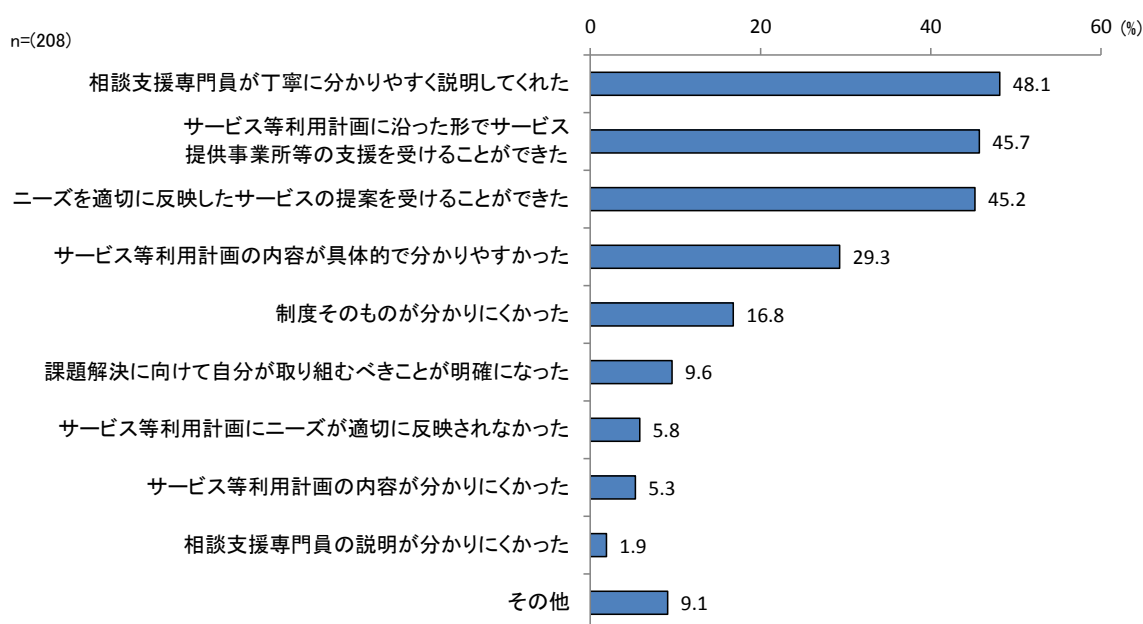
(8) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 78 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

全体では、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が 48.1%で最も多く、以下、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が 45.7%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が 45.2%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は 16.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

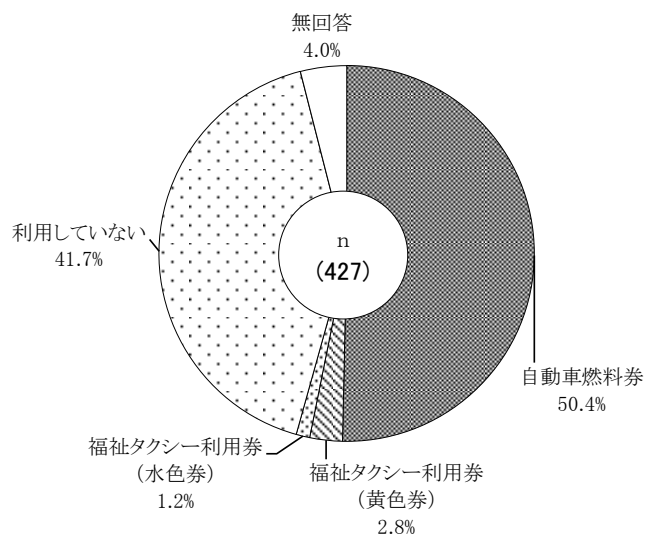
	調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分に取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他
全 体	208 100.0	94 45.2	95 45.7	61 29.3	100 48.1	20 9.6	12 5.8	11 5.3	4 1.9	35 16.8	19 9.1
身体障害	114 100.0	48 42.1	51 44.7	28 24.6	49 43.0	9 7.9	6 5.3	9 7.9	3 2.6	24 21.1	10 8.8
知的障害	145 100.0	70 48.3	67 46.2	52 35.9	82 56.6	19 13.1	8 5.5	5 3.4	4 2.8	18 12.4	11 7.6
精神障害	4 100.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	2 50.0	1 25.0
難病	62 100.0	20 32.3	26 41.9	18 29.0	28 45.2	4 6.5	1 1.6	5 8.1	1 1.6	14 22.6	3 4.8
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(9) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 79 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

全体では、「自動車燃料券」が50.4%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	427 100.0	12 2.8	5 1.2	215 50.4	178 41.7	17 4.0
身体障害	239 100.0	7 2.9	5 2.1	162 67.8	58 24.3	7 2.9
知的障害	264 100.0	8 3.0	1 0.4	114 43.2	130 49.2	11 4.2
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	6 50.0	4 33.3	— —
難病	143 100.0	3 2.1	1 0.7	91 63.6	43 30.1	5 3.5
無回答	3 100.0	— —	— —	1 33.3	2 66.7	— —

(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 80 【問 79 でいずれかの券を利用している（1～3 番）と回答した方にお聞きします】

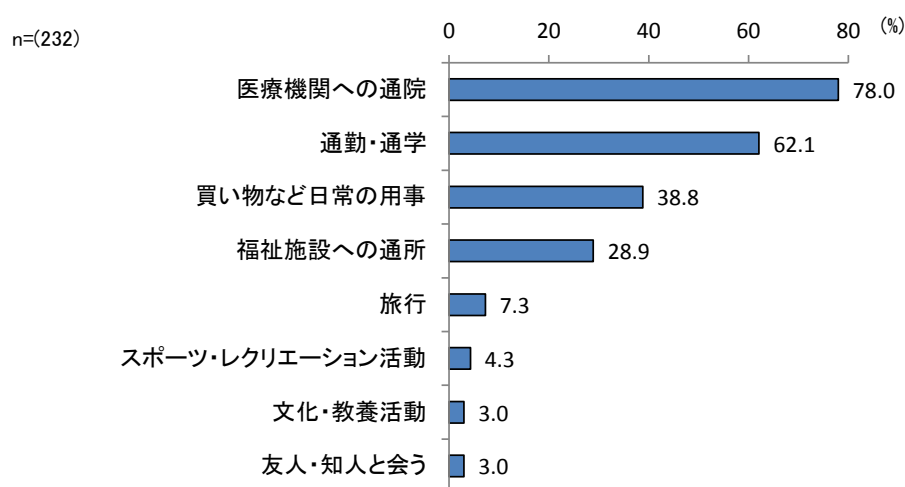
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「医療機関への通院」が 78.0%で最も多く、次いで「通勤・通学」が 62.1%となっています。

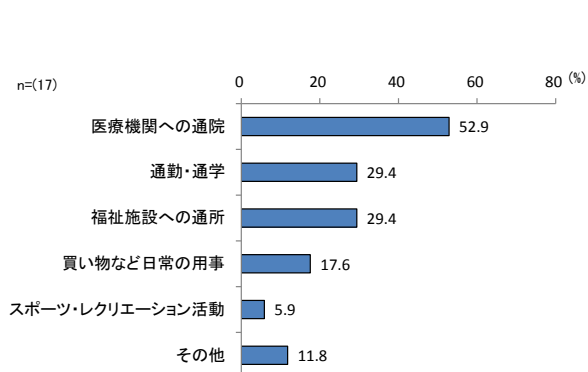
また、「医療機関への通院」、「通勤・通学」ともに自動車燃料券の使用が特に多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「医療機関への通院」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「買い物など日常の用事」が、他の障害のある方より多くなっています。

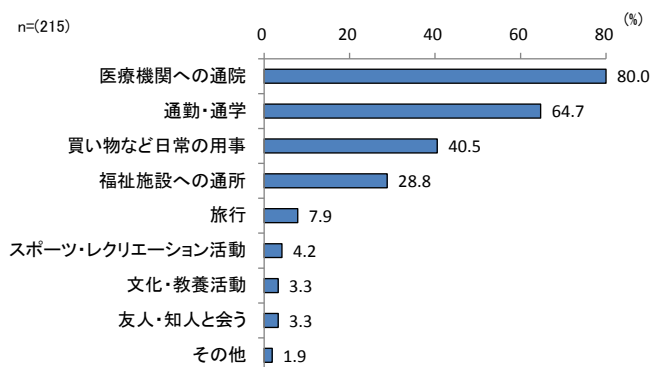
●全体



A. 福祉タクシーの主な使い道



B. 自動車燃料券の主な使い道



●障害種別

A. 福祉タクシーの主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	17 100.0	5 29.4	5 29.4	9 52.9	3 17.6	- -	1 5.9	- -	- -	2 11.8
身体障害	12 100.0	2 16.7	3 25.0	8 66.7	2 16.7	- -	6 50.0	- -	- -	2 16.7
知的障害	9 100.0	4 44.4	4 44.4	4 44.4	2 22.2	- -	- -	- -	- -	- -
精神障害	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
難病	3 100.0	- -	2 66.7	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

B. 自動車燃料券の主な使い

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	215 100.0	139 64.7	62 28.8	172 80.0	87 40.5	7 3.3	9 4.2	17 7.9	7 3.3	4 1.9
身体障害	162 100.0	102 63.0	45 27.8	139 85.8	56 34.6	3 1.9	5 3.1	9 5.6	6 3.7	3 1.9
知的障害	114 100.0	78 68.4	33 28.9	82 71.9	57 50.0	5 4.4	7 6.1	14 12.3	2 1.8	3 2.6
精神障害	8 100.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5	4 50.0	- -	- -	- -	1 12.5	- -
難病	92 100.0	53 57.6	26 28.3	77 83.7	31 33.7	3 3.3	3 3.3	7 7.6	3 3.3	3 3.3

(11) 自動車燃料券を選ぶ理由

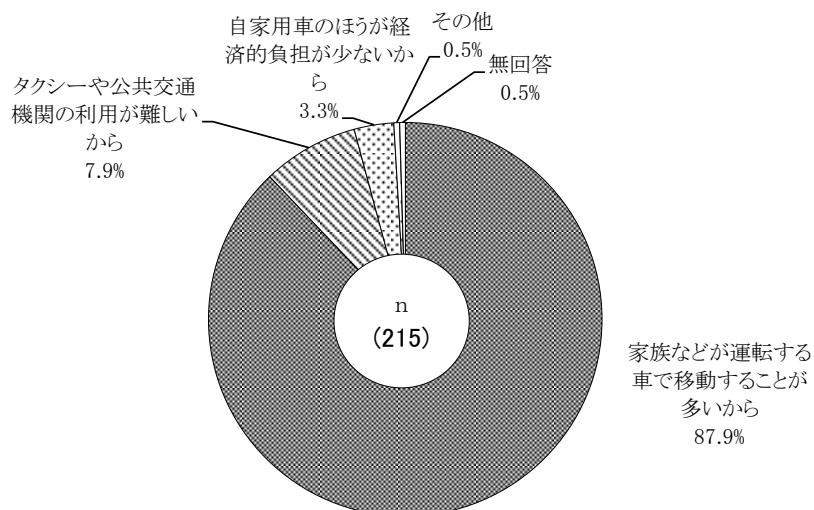
問 81 【問 79 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

（○は 1 つ）

全体では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 87.9%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	215 100.0	189 87.9	17 7.9	7 3.3	—	1 0.5	1 0.5
身体障害	162 100.0	144 88.9	13 8.0	4 2.5	—	1 0.6	—
知的障害	114 100.0	97 85.1	11 9.6	4 3.5	—	1 0.9	1 0.9
精神障害	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	—	—	—
難病	91 100.0	80 87.9	7 7.7	4 4.4	—	—	—
無回答	1 100.0	1 100.0	—	—	—	—	—

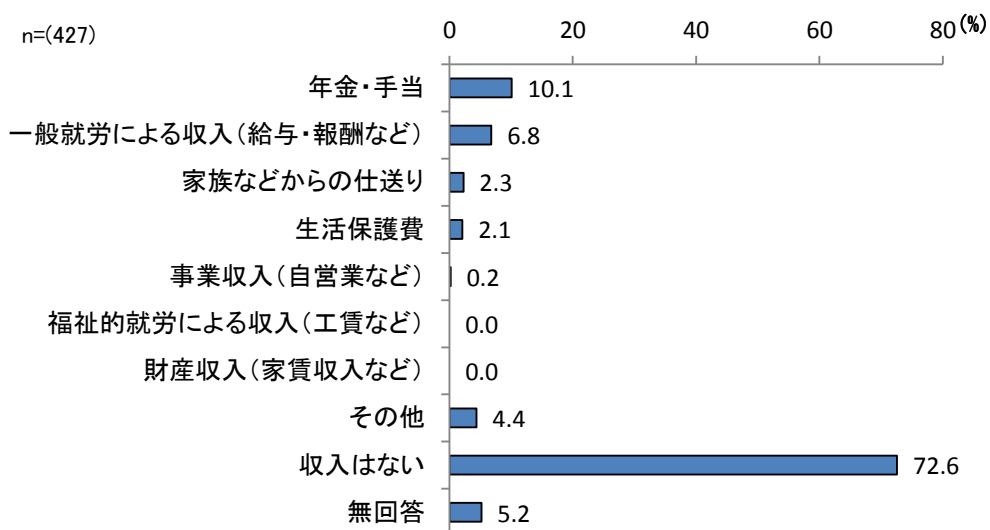
14. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 82 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

全体では、「収入はない」が72.6%で最も多くなっています。

●全体



●障害種別

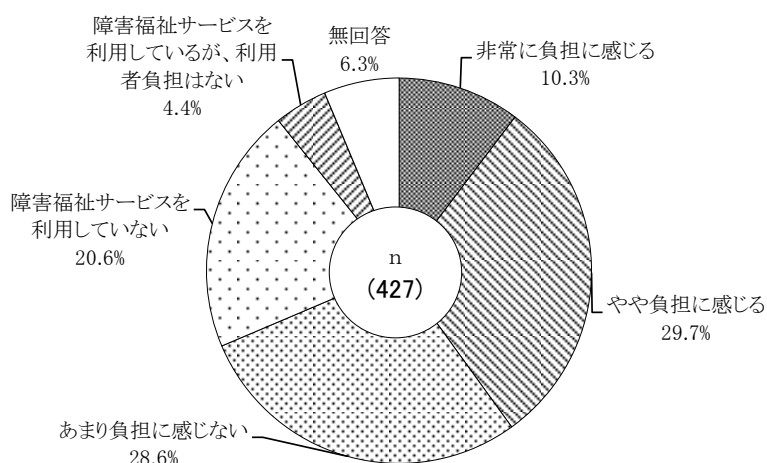
	調査数	一般就 労による 収入(給 与・報酬 など)	福祉的 就労に よる収入 (工賃な ど)	事業収 入(自営 業など)	財産収 入(家賃 収入な ど)	年金・手 当	生活保 護費	家族な どから の仕送 り	収入は ない	その他	無回答
全 体	427 100.0	29 6.8	- -	1 0.2	- -	43 10.1	9 2.1	10 2.3	310 72.6	19 4.4	22 5.2
身体障害	239 100.0	20 8.4	- -	1 0.4	- -	31 13.0	5 2.1	5 2.1	171 71.5	7 2.9	9 3.8
知的障害	264 100.0	15 5.7	- -	1 0.4	- -	25 9.5	6 2.3	7 2.7	190 72.0	13 4.9	17 6.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	- -	- -	- -	4 33.3	3 25.0	- -	4 33.3	2 16.7	2 16.7
難病	143 100.0	14 9.8	- -	- -	- -	11 7.7	1 0.7	3 2.1	109 76.2	2 1.4	6 4.2
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0	- -	- -

(2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 83 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

全体では「非常に負担に感じる」が10.3%、「やや負担に感じる」が29.7%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が28.6%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	427	44	127	122	88	19	27
	100.0	10.3	29.7	28.6	20.6	4.4	6.3
身体障害	239	25	79	65	44	12	14
	100.0	10.5	33.1	27.2	18.4	5.0	5.9
知的障害	264	31	72	86	47	12	16
	100.0	11.7	27.3	32.6	17.8	4.5	6.1
精神障害	12	2	3	2	1	2	2
	100.0	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	16.7
難病	143	16	37	42	31	7	10
	100.0	11.2	25.9	29.4	21.7	4.9	7.0
無回答	3	—	1	—	2	—	—
	100.0	—	33.3	—	66.7	—	—

15. 市の障害者施策について

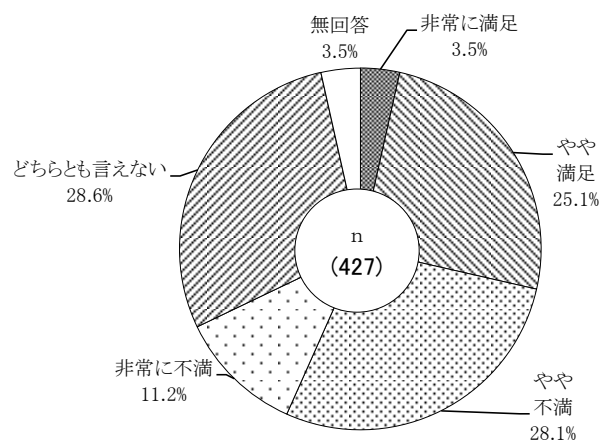
(1) 市の障害者施策についての満足感

問 84 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

全体では、「非常に満足」が3.5%、「やや満足」が25.1%となっています。

一方、「やや不満」は28.1%、「非常に不満」は11.2%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	427	15	107	120	48	122	15
	100.0	3.5	25.1	28.1	11.2	28.6	3.5
身体障害	239	7	57	75	23	69	8
	100.0	2.9	23.8	31.4	9.6	28.9	3.3
知的障害	264	10	74	68	36	66	10
	100.0	3.8	28.0	25.8	13.6	25.0	3.8
精神障害	12	—	4	3	—	3	2
	100.0	—	33.3	25.0	—	25.0	16.7
難病	143	5	30	41	19	44	4
	100.0	3.5	21.0	28.7	13.3	30.8	2.8
無回答	3	1	1	—	—	1	—
	100.0	33.3	33.3	—	—	33.3	—

16. 自由意見

問 85 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 214 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	49	22.9
2	医療・健康	9	4.2
3	生活環境	10	4.7
4	療育・教育	29	13.6
5	将来について	24	11.2
6	経済事情・経済的支援	14	6.5
7	行政・制度	60	28.0
8	その他	19	8.9

計 214 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

1. 福祉サービス

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
母子家庭のため、母親はフルタイム（8時30分～17時15分）で働いています。今はデイサービス、日中一時支援、移動支援、ショートステイを組み合わせ利用し、子の介助と仕事をなんとか両立していますが、残業や出張などは他の人並みにはできず、職場の配慮を受けています。今、子どもは中学生ですが、高等部を卒業後、どんな生活になるか不安です。日中は作業所などで過ごせても、児童のような放課後デイサービスは利用できず、子どもが一人で留守番することもできず、母親は今の仕事を続けられなくなってしまうのではないかと思います。入所施設やグループホームが卒業の時に見つかるかどうか分かりません。成人用にも夕方まで預ってくれるサービスができないでしょうか。	知的障害	14	男性	家族
学校卒業後に通える生活介護してくれる施設等をふやしてほしいです。それと、1日の預かる時間が短いので、働ける時間がいまよりも少なくなり、今後の生活に不安を感じています。卒業後も放課後デイサービスみたいに預かってくれるところなどあったらいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。	知的障害	16	男性	家族
お泊まり保育みたいな、障害の程度により泊まり会ができたらうれしいです。家の中だけだと、保護者もストレスがたまり犯罪行為にならないように。	知的障害	17	男性	家族

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
差別解消法施行以降、サービス利用の敷居がかなり低くなった印象があります。しかし、従前の状況からサービス利用をあきらめていた方々も多くあります。そういった方々に対し現況どのようなサービス利用が可能なのかをアピールしていくことが重要かと思います。	身体障害 知的障害	4	男性	家族
福祉タクシー等、もっと安く利用できる様にしてほしい。保護者の体調不良等、安心して預けられる病院(ショートステイ)を増やしてほしい。	身体障害	3	女性	家族
送迎サービスを充実させて頂きたい。特別支援学校は遠方にあり、登下校は親の付き添いが必要です。下校時は放課後デイの利用で自宅へ遅い時間になるが帰宅可能。ただし、登校時は親の付き添いが必須となるのが(多くの)現状だと思います。他の兄弟の世話がある中で、学校又はスクールバスのバス停へ付き添うのは簡単ではありません。朝の送迎サービスをお願いしたいと切に願います。学校卒業後に利用する様々な事業所も、毎日のことなので送迎サービスがあることが望まれます。送迎について、利用者負担額が利用しやすい設定だと助かります。	知的障害	13	男性	家族
日常生活用具でおむつを支給していただいていると、ごみ袋の支給もあり助かっていますが、新生児が一番数が多く、年を経る毎に枚数が少なくなるのは何故だろうと思います。おむつの大きさも大人に近づくといくぶん大きくなるし、むしろ枚数を増やすべきなのでは、と思います。また、重度の障害があり医療ケアもたくさんあると、その分ゴミも増えるので、そのへんも考慮していただけるとありがたいです。	身体障害	8	男性	家族
移動支援を以前利用していましたが、支援内容のわくが少なく、利用する機会が少ない。家族(保護者)が高齢のため、通院の移動支援は今後負担が多いので考えていただければと思います。	知的障害 自立支援医療	16	男性	本人
利用したいサービスが定員がいっぱいで受けられない。必要な時にサービスを受けたいのに、待機になってしまい受けられない。福祉サービスの充実を望みます。よろしくお願いいたします。	知的障害	12	男性	家族
バスや電車で定期でなくスイカで一回ずつ支払う場合、障害手帳を見せて半額処理をしてもらわなければならない。予め、手帳の級を反映したスイカならとても便利なのと思う。子供が一人で通学する時、毎回運転手さんに手帳を見せるのは大変。	身体障害	10	女性	家族
重度の短期入所ができる施設が少ない。介護者が病気や身内の不幸などのとき、何ヶ月も前から予約していなければ短期入所ができない現状を改善してほしい。	身体障害 知的障害	15	女性	家族
ガソリン給油券の金額を増やしてほしい→あつという間に無くなってしまう。税金、公共料金(保護者が払っている)、乗り物の割引(電車等)、障害者手当の収入限度額が低く設定されているので、わずかな差で、もらえる人とももらえない人の(収入の)逆転が起きると思うので公平にしてもらいたい。プライバシーを守る強化対策(町内会の人にも知られる可能性が有る。)受けられる手当などの説明を分かりやすくしてほしい。→もっと皆が受けられる工夫をしてもらいたい。(収入制限とかがネック)障害者用用具・器具が高すぎる。(機種が少ないのも残念)	身体障害 知的障害	9	男性	家族
放課後デイサービスの利用日数が、改定されて減りました。本人も家の中で過ごすよりも、サービス事業所で過ごすことを楽しみにしていたので、納得できません。また、家族の仕事にも影響が出ます。日数が減った分、こどもルームを利用しろとのことですが、こどもルームでは、障害に配慮した対応が不十分だと思います。障害児の居る親は世間からの視線も気にしています。その上、仕事まで制限をかけられるのでしょうか？家の中では常に介護や介助ばかりで、社会に出て、1人で自分の仕事をがんばる充実感を味わうこともできずに、子供を預けられないと働けません。普通の子は成長すればお留守番できますが、障害児は成長しても無理です。これでは改悪です。何のための改定でしょうか？誰のためですか？	知的障害	11	男性	家族

2. 医療・健康

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
医療的ケアが必要な児童・生徒の放課後デイサービスの充実を図って欲しいです。	身体障害 知的障害	12	女性	不明
スクールメディカルサポートについて、遠足や校外学習先でも看護師を派遣し医療ケア児のサポートをお願いしたい。医療ケア児（導尿）が幼稚園、保育園、小学校で医療ケアをサポートしてもらえるサービスを導入してほしい。（週5日＋土曜日）	身体障害	6	女性	家族
健常の人とは違い、通院が多く必要となります。自動車の燃料券のようなバラマキではなく、障害者用の受給券にし、医療費の負担を軽減してほしい。救急など自閉には負担のかかることなので、医療機関にも勉強して、対策を考えてほしい。	知的障害	7	男性	家族
医療的ケアのある障害児者は災害時、非常時においては最弱者なので、災害時のシミュレーション等をしてもらいたいです。避難所は近所にあっても到底行くことも、そこで過ごすこともできません。子供も体格は小さい方ですが、高2で27.8kgになってきて、1人でお風呂に入れることも多く、なかなか大変になってきたので、入浴のサービスの相談をしたいと思っています。頼りにしている短期入所先が流行性の病気で一時的に閉鎖になったりすると、他にアテがないのでとてもヘコみます。短期入所のベッドをもっと増やしてほしいです。ヘルパー事業所に療の吸引をお願いしていましたが、はっきりは言われませんでした。事業所さんの事情で打ち切られてしまいました。理解のある事業所さんが増えるように、市からも呼び掛けてもらいたいです。	身体障害	17	男性	不明
同行援護を、通勤・通学にも認めて欲しい。特別支援学校で、吸引が必要な子は、母親がずっと学校にいて吸引しなくてはいけないそうですが、なんとかありませんか？訪問看護を学校へも可にするなど…。小学生以上の発達支援がほしいです。	身体障害	6	男性	家族
医療ケアがある障害者（児）の施設でデイサービスを増やしてほしい。	身体障害	6	男性	家族

3. 生活環境

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
公園の遊具利用時、順番待ちになったりすると、きちんと列になっていないと利用が難しいので、次に使いたい人はここに並ぶといった決まりと標示がほしいです。例えばブランコなど。すべり台は逆走防止など。ラインや足丸があるだけで理解が容易になります。	知的障害	7	男性	家族
スーパーやお店で車イス駐車場に健常者が平気で停めていることが多く困る。トイレも小さい子のオムツ替えに時間がかかって、なかなか出てこなく、車イスで使う人は他のトイレは使えないので待つしかなく困る。	身体障害	13	女性	本人
車イス用トイレ表示のあるトイレは手すりの付いた、自分でトイレへ移動出来る人のものがほとんどで、身長150～160cm位の人がオムツを替える為に横になるベッドが設置されている公共施設があまりにも少ないと思う（今は折りたたみの簡易ベッドがあるので、ぜひ設置して欲しい）。車イス利用者イコール自分で車イスを漕いで移動出来る人との固定概念からのトイレで、横にならないとトイレが出来ない人もいる事をもっと知ってもらいたい。	身体障害	14	男性	家族
駅に障害者用ベンチがほしい（雨にぬれない場所）。電車に乗っている時、事故や遅れる時は字幕で知らせるシステムがほしい（ホームにもほしい）。	身体障害	12	男性	家族

4. 療育・教育

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
・学校と保護者の間に入ってくれる相談機関が欲しい。・療育を受けられる公的施設を増やして欲しい。・学校の補助の先生の数を増やして欲しい。	知的障害	9	男性	家族
中学卒業後の進路の選択の幅をもっと広げて欲しい。高等特別支援学校をもっと増やして欲しい。入学希望者を学力のみでふるいにかけないで欲しい。いろいろな方面(福祉・農業等)の専門学校を設立もしくは門戸を開いて欲しい。	知的障害	12	男性	家族
現在、療育センターを利用しています。今後の就学を考えた際、養護学校に通うことになると思うが、選択する数もないし近くにもないため、送迎等を考えると不安。送迎バス等の充実を切に希望。もっと障がい児が利用選択できる学校や施設を増やしてほしい。	身体障害	2	女性	家族
受けたい療育が空きがなく、受けられません。指導員を増やしてほしい。言語指導員が少なすぎる。	知的障害	2	女性	不明
軽度の知的障害や自閉症スペクトラム障害の幼少期の診断から療育まで全ての段階において、場・人員ともに圧倒的に不足しています。人員配置や医療機関の発達障害外来設置の推進など改善を希望します。	知的障害	7	男性	家族
支援学級に通っています(小5女子)。入学時にでも、説明会等で支援学級についての説明(こんなふうに指導している、どういう子ども達がいるなど)を入学する子どもと親に知識として話をしてほしいです。子ども(1年生など、小さい子)の無邪気な質問に娘が答えに困ることが多々あります。「どうして(支援)学級にいるの?」など。ちなみに今まで入学説明会で、支援学級に関する説明を受けたことはありません。知っているのと知らないのでは、やはり違うと思います。	知的障害	11	女性	家族
子どもの進学に関する情報は共有していいと思います。サマリーみたいなもので療育センター→小学校→中学校…へと、提供してほしいです。学校だけでなく、本人をとりまく環境が情報を共有して(病院とか、施設とか)くれたらなー。タクシーがロンドンタクシーみたいにかんたんに車いすでも乗り降りできるといいのと思います。福祉タクシーじゃなく、ふつうのタクシーで誰でも同じ料金で使える…。	身体障害 知的障害	11	女性	家族
子どもは小4です。中学生になったら放課後等デイサービスを使いたと思っていますが、新規にできてもすぐいっぱい、大きくなってからは入りづらい状況です。軽度の子は特に入りづらいです。ダウン症で軽度の知的障害ですが、福祉は重度の方や身体障害に重点をおいているように思えます。軽度の障害、自閉症のように一見障害があると見えない人に対する福祉も必要です。学校教育において、もっとインクルーシブを進めてほしい。障害に対する理解を深めることで、社会がよくなると思う。	知的障害	9	女性	不明

5. 将来について

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
保護者が亡くなった後の人生をどう過ごしていくのかの見通しが、保護者が亡くなる前についてほしい。	知的障害	16	女性	家族
まだ本人が小学生という事もあり、将来の事などまだ正直何も考えていなかったもので、障害福祉に関して初めて聞くものばかりでした。親が居なくなった時、本人がどうやって生活をしていくのか、私が元気なうちに考えておく必要があると改めて感じました。(母記入)	知的障害	12	女性	家族
学校卒業後の通所施設の職員を増やして、利用者が希望の所へ通所できる様にしてほしいです。	身体障害 知的障害	16	男性	不明
高校を卒業した後の受け入れ先があるのか心配です。情報提供の場や相談の場を作してほしいです。よろしくお願いします。	知的障害	14	男性	家族
障害を持つ子供の親として不安なことは、「親が亡くなったら、子供は大丈夫なのか」ということを常に不安に思っています。目先のサービスよりも長期的に本人及び家族がサポートを受けれたらと思います。	身体障害	8	男性	家族

6. 経済事情・経済的支援

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
わが子だけに関してですが、重複障害を持っているのですが、それぞれの障害はかるいのです。だが、病院に行く回数も多く、単一障害の重い子には特別手当はあるのに、小さい障害が重なっている子には手当がなく、経済的に不安です。かるい障害が3つ以上でも重なると手当ができるとうれしいです。	身体障害 知的障害	13	男性	家族
人工内耳への補助を経済的にしてほしい。補聴器は補助して人工内耳になると全て自己負担は苦しい。60～100万(片耳)するし、保険も高い。電池代も毎日かかる。今は親が働いて支払うことができるが、私が死んだら障害のあるこの子が支払うことができずに、音を失ってしまうと不安だらけ。お願いします。支援が始まりますように！！	身体障害	11	女性	家族
リハビリや手術などでの施設入所を含め、入所時の特別児童扶養手当などが中止になることに疑問を感じます。入所中に面会に行きますし、外泊もします。外泊時のオムツ等は自己負担ですし、施設への支払いもあります。経済的に負担なので、リハビリ目的の入所をあきらめる方も現実にあります。現在、家庭の事情で施設入所していますが、とても大変になりました。	身体障害	12	女性	不明
障害福祉サービスの利用者負担金の上限をもう少し段階をつけてほしい。親の収入が上がるとほぼ全ての上限が急に上がり、福祉手当もなくなり、急に負担が増えるのは大変困る。(収入↑といっても単身赴任手当によるもので、家庭では逆に支出が増えてしまう状況下で、障害関係の利用料や医療費など一度に負担となると、日常生活を切り詰めてはならない)	身体障害	12	男性	家族

7. 行政・制度

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害者が社会生活を円滑に送ることができるよう、学校や職場への働きかけが必要である。具体的には、施設面の整備(バリアフリー)を含めた受け入れ体制を整えられるよう、調整役となっていたきたい。病気や障害があっても自立した生活ができること、成人後は納税者となれることが目標である。保護者が仕事に復帰できないでいるケースも多いのではないだろうか。障害の程度に応じ、本人や家族が自立に近づけるよう、町や施設の整備、介助要員の確保に努めていただきたい。	身体障害	14	女性	本人
もっと区役所の窓口担当の方のレベルUPをしてほしい。区役所内での情報共有ができていない。どの家庭に障害者がいるのか区役所ではわかっているのだから、災害時の対応の仕方や色々な情報を発信してほしい(区役所側から)。こちらから問い合わせしないと情報が無い。障害を持っている人も嫌な思いすることなく、健常者と同じ生活ができる市にしてほしい。	身体障害 知的障害	12	男性	家族
新しい情報を知る機会がない。困ったと思った時に、その事を役所に相談してから知るのではなく、障害福祉の最新情報がその都度知る事の出来る広報誌などがあるとわかりやすい。(知らずに利用出来ないサービス等が無い様に)	知的障害	8	男性	家族
手続きがバラバラでめんどう、手間がかかる。こちらから聞かないとわからないサービスだらけでは、意味がない。	身体障害 知的障害	7	男性	家族
障害があるとわかって療育手帳を交付された時に、どんなサービスが受けられるのか分からなかった。最近まで税金が控除されることも知らず、5年分遡って手続きをしました。受けられえるサービスを案内して頂けるとうれしいです。	知的障害	16	女性	不明
障害児に対してのスポーツ教室を開催してほしい。学校などでサッカー教室などあるが、もっと他のスポーツがあればよいと思います。	知的障害	13	男性	家族
千葉市では今後、重度肢体不自由の方が入所したり、デイで通ったりする施設を造る予定は無いとききました。様々な利用者負担が増えてもよいので、大きな受け入れ施設をつくってくれるとありがたい。予算不足であるのなら、利用者の負担額が増えるのは納得できるので、目先の金銭負担の軽減よりも、将来が明るく展望できる事を望む。	身体障害	11	男性	家族

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
肢体不自由児が入浴サービスを受けられる入浴専門の福祉サービス事業所を作れないでしょうか。自宅の風呂ではせまい上シャワーベッドもおけず、また居宅介護の方がみえても、親が結局いれることが多いのが現状です。中学生になると体格が親より大きくなったりして、苦勞しております。生活介護で入浴サービスを実施している事業所に、就学児も利用できるサービスが出来れば簡単だと思うのですが…。	身体障害 知的障害	14	男性	家族

8. その他

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
“QOL”という言葉介護・介助するようになって初めて耳にし、意味を知りました。「障害をもっている人だから…」と、これを目指さなければ！という風な話をしてくる方もいらっしゃいます。「予後が不安だから」とか「先がないから」というような見方で接する事業者や従事者の方もまだ多く見うけます。「全ての人と同じように…」は、まだ遠い道なのだと思いますが、理解を深めたり、その人に思いをはせるなど、「興味をもつ」「知ろう」とする気持ちが失われることのないように願いたいと日々思う次第です。	身体障害 知的障害	3	女性	家族
胸を張って生きて欲しいと思います。一瞬一瞬に喜びを感じながら、人の負い目を感じることなく生活してもらえればと。なので、まわりの理解は不可欠です。	知的障害	6	男性	家族